

「緑の基本計画改定」アンケート調査結果

目次

1. アンケート目的.....	1
2. アンケート調査内容.....	1
3. アンケート結果総括.....	2
4. アンケート結果.....	3
【緑の現状】.....	3
問1. 緑の基本計画について.....	3
問2. 全地域における緑の総量.....	4
問3. 居住地域の緑の多さ.....	5
問4. 日ごろ接したり目にふれる緑.....	8
問5. 周辺の緑の量.....	9
問6. 緑の魅力.....	10
問7. 緑の満足度.....	13
【今後の緑のまちづくり】.....	19
問8. どのような緑を守ったり増やしたりすべき.....	19
問9. 緑の景観で今後残しておきたいと思う緑.....	20
問10. あなたにとって、緑に求めるもの.....	21
【緑のまちづくりの参加】.....	22
問11. 緑に関する活動の参加意向.....	23
問11-1. 「参加したい」と回答した方の参加条件.....	23
問11-2. 「良いことだが参加できない」と回答した方の理由.....	24
問12. 緑のまちづくりや緑に関するイベントについての参加.....	25
【緑のまちづくりの参加】.....	27
問13. これまでに実践した活動.....	27
今後実践したいと思う活動.....	28
問14. 緑を守り増やしていくための重要度.....	29
問15. 利用されていない空き地や農地があった場合、有効活用すべきか(民地).....	35
利用されていない公園などがあった場合、有効活用すべきか(官地).....	35
問15-1. どのように活用したいか(民地).....	36
どのように活用したいか(官地).....	37
問16. 古くなった公園施設があった場合、市民のニーズ（置き換えや 利用スペースなど）をとりいれ、適正な配置をするべきか.....	38
問17. 生産緑地地区において、農産物等の販売所やレストランなどの 施設があった場合の利用.....	38
【自由意見】	
自由意見.....	39

1. 目的

春日部市緑の基本計画改定にあたり、緑に関する市民ニーズや満足度などを把握するとともに、調査した市民アンケート結果を反映させた計画とするため実施するものである。

2. アンケート調査内容

調査対象：春日部市民 3,000 人（無作為抽出）7月20日現在 対象年齢：10歳以上 調査方法：調査用紙を対象者に郵送し、郵便で回収 調査日程：2018年（平成30年）9月7日～14日（〆切9月14日） 回答数： <u>977部（回収率約32.6%）</u>
--

アンケートの概要

アンケート項目	設問内容
1. 緑の現状	<ul style="list-style-type: none">・ 緑の基本計画の把握度調査（設問①）・ <u>現状の緑</u>に関する市民の意識・認識を確認（設問②～⑥）・ 現状の緑の<u>満足度</u>を確認（設問⑦）
2. 今後の緑のまちづくり	<ul style="list-style-type: none">・ 市民が求めている<u>緑の保全や推進</u>に関する調査（設問⑧～⑨）・ <u>緑の要望</u>に関する調査（設問⑩）
3. 緑のまちづくりの参加	<ul style="list-style-type: none">・ 緑の<u>活動の参加意向調査</u>（設問⑪）・ 緑の<u>イベントに参加するための要望調査</u>（設問⑫）
4. 緑のまちづくりの取組	<ul style="list-style-type: none">・ これまでに<u>実施した活動</u>と今後<u>実施したい活動</u>（設問⑬）・ 緑の<u>重要度調査</u>（設問⑭）・ 利用されていない場所の<u>有効活用</u>に関する調査（設問⑮）・ 老朽化した公園施設の<u>あり方</u>（設問⑯）・ 法改正による<u>情報提供と利用の有無</u>（設問⑰）

3. アンケート結果総括

■アンケート郵送数

アンケート郵送数 3,000 (無作為抽出)

■アンケート郵送数 (旧計画H23)

アンケート郵送数 2200 (無作為抽出)

■アンケート回収状況

アンケート回収数 977
アンケート回収率 32.6%

■アンケート回収状況 (旧計画H23)

アンケート回収数 832
アンケート回収率 37.8%

■年代別回収状況

	回収数	構成比 (%)	【参考】人口割合
10代	109	11.2	8.7
20代	70	7.2	9.7
30代	119	12.2	11.2
40代	141	14.4	15.9
50代	145	14.8	12.1
60代	161	16.5	14.9
70代以上	203	20.8	20.5
無回答	29	3.0	-
合計	977	100.0	-

■地区別回収状況

	回収数	構成比 (%)	【参考】人口割合
粕壁地区	209	21.4	19.8
幸松地区	82	8.4	9.3
内牧地区	48	4.9	5.7
武里地区	204	20.9	23.2
豊春地区	175	17.9	18.2
豊野地区	83	8.5	8.0
南桜井地区	90	9.2	15.7
庄和北地区	17	1.7	
庄和中央地区	26	2.7	
庄和南地区	15	1.5	
無回答	28	2.9	
合計	977	100.0	100.0

■地区別回収状 (旧計画H23)

	回収数	構成比 (%)
粕壁地区	161	19.4
幸松地区	71	8.5
内牧地区	41	4.9
武里地区	172	20.7
豊春地区	69	8.3
豊野地区	114	13.7
庄和地区(国道16号北)	28	3.4
庄和地区(国道16号南)	113	13.6
無回答	63	7.6
合計	832	100.0

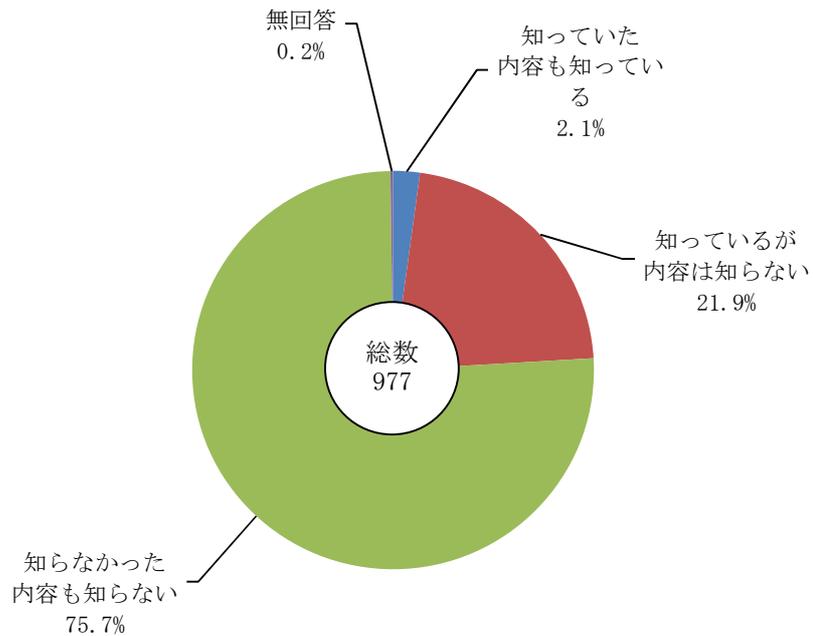
回収率は32.6%であり、約1000通回収できた。

年代毎・地域毎の回収数は、異なるが、人口割合で見ると、回収数の構成比と同程度となっている。

4. アンケート結果

【緑の現状】

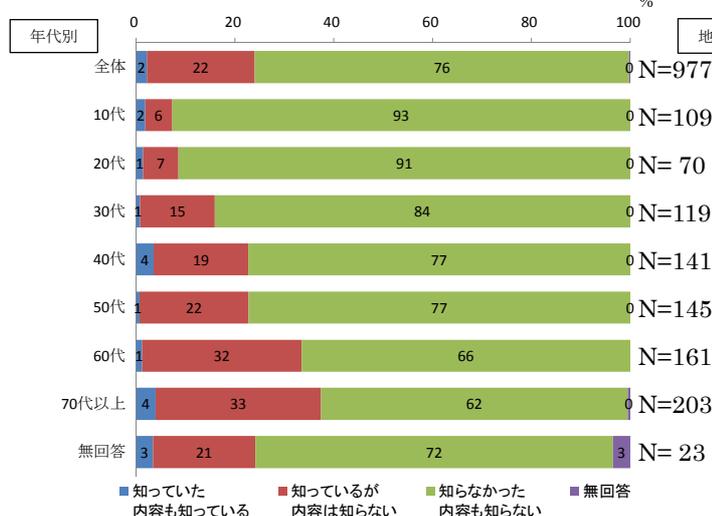
問1. 緑の基本計画について



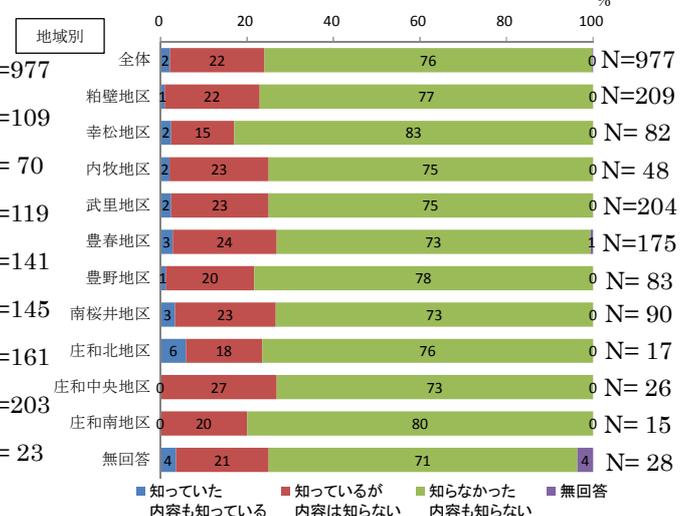
「知らなかった 内容も知らない」が約 76%であり、「知っているが内容は知らない」を合わせると約 98%で、緑の基本計画の認知度は低いことがわかった。

自由意見では、「アンケートを実施して、緑の基本計画を知った」という意見が多数あった。まずは、緑の基本計画を市民に知ってもらうことが重要である。

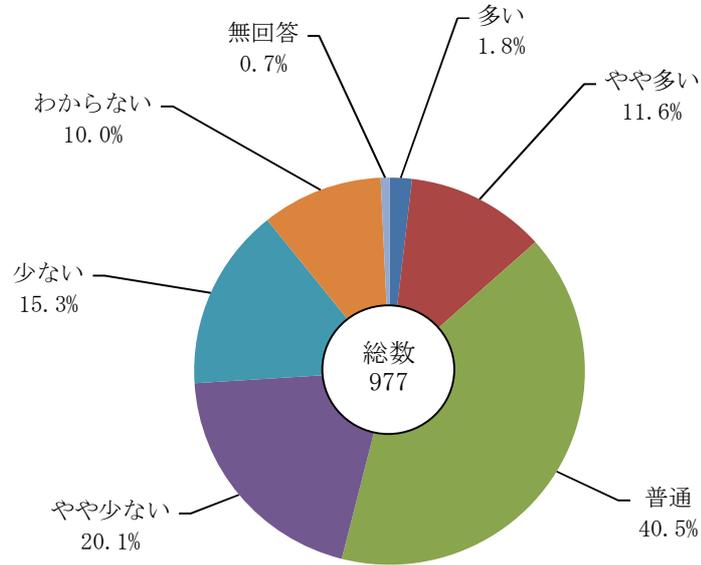
問1. 緑の基本計画について



問1. 緑の基本計画について



問2. 全地域における緑の総量

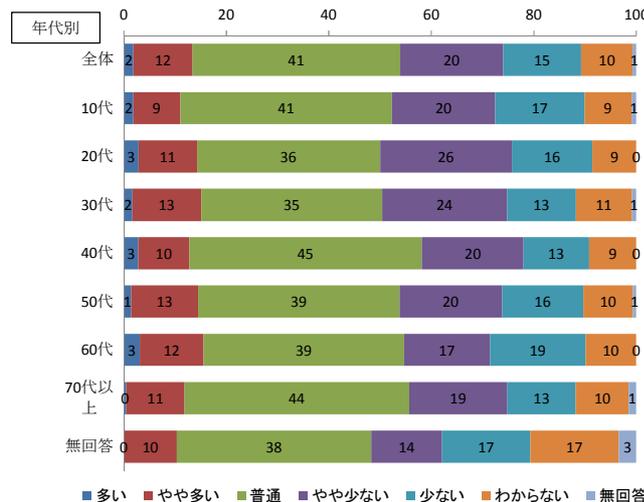


「普通」が約41%で最も多く、「多い」、「やや多い」と合わせると約55%であった。

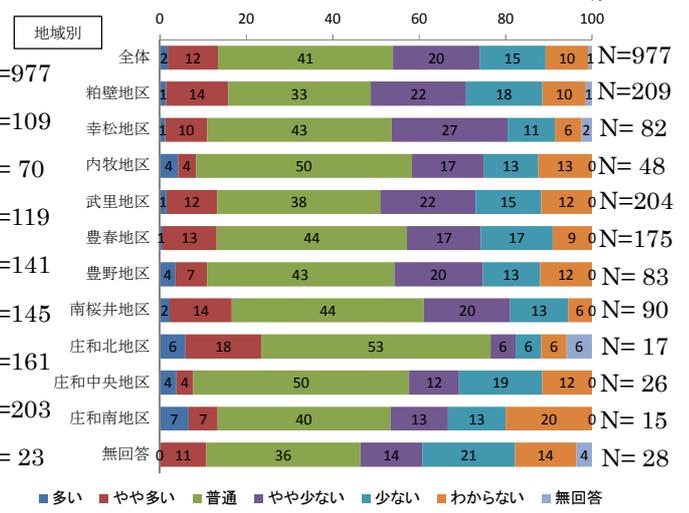
一方、「やや少ない」と「少ない」を合わせて約35%であった。

自由意見では、「緑を増やすよりも、既存のあるものをしっかりと管理・保全・保存してほしい」という意見が多数あった。

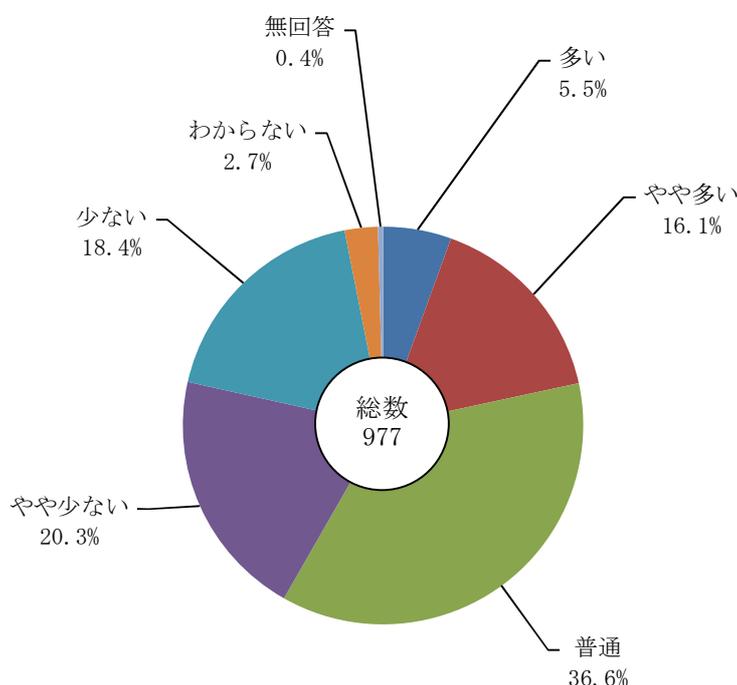
問2. 全地域における緑の総量



問2. 全地域における緑の総量



問3. 居住地域の緑の多さ

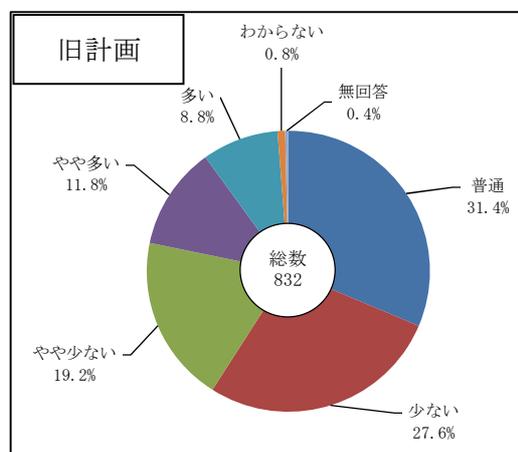
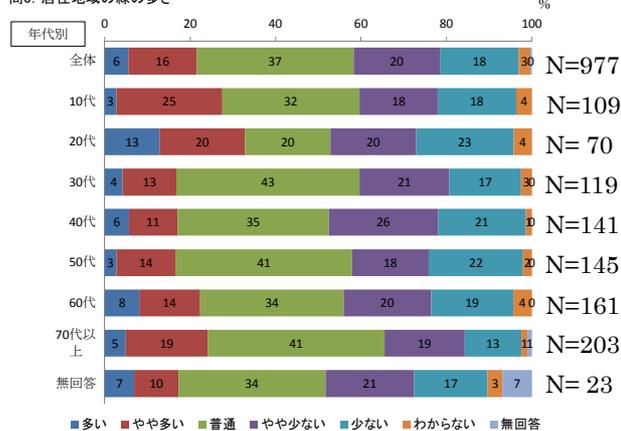


「普通」が約37%で最も多かった。

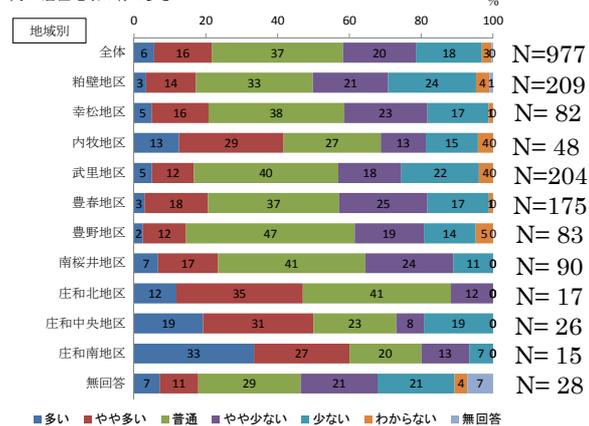
続いて、「やや少ない」が約20%、「少ない」が約18%で、合わせて約38%であった。

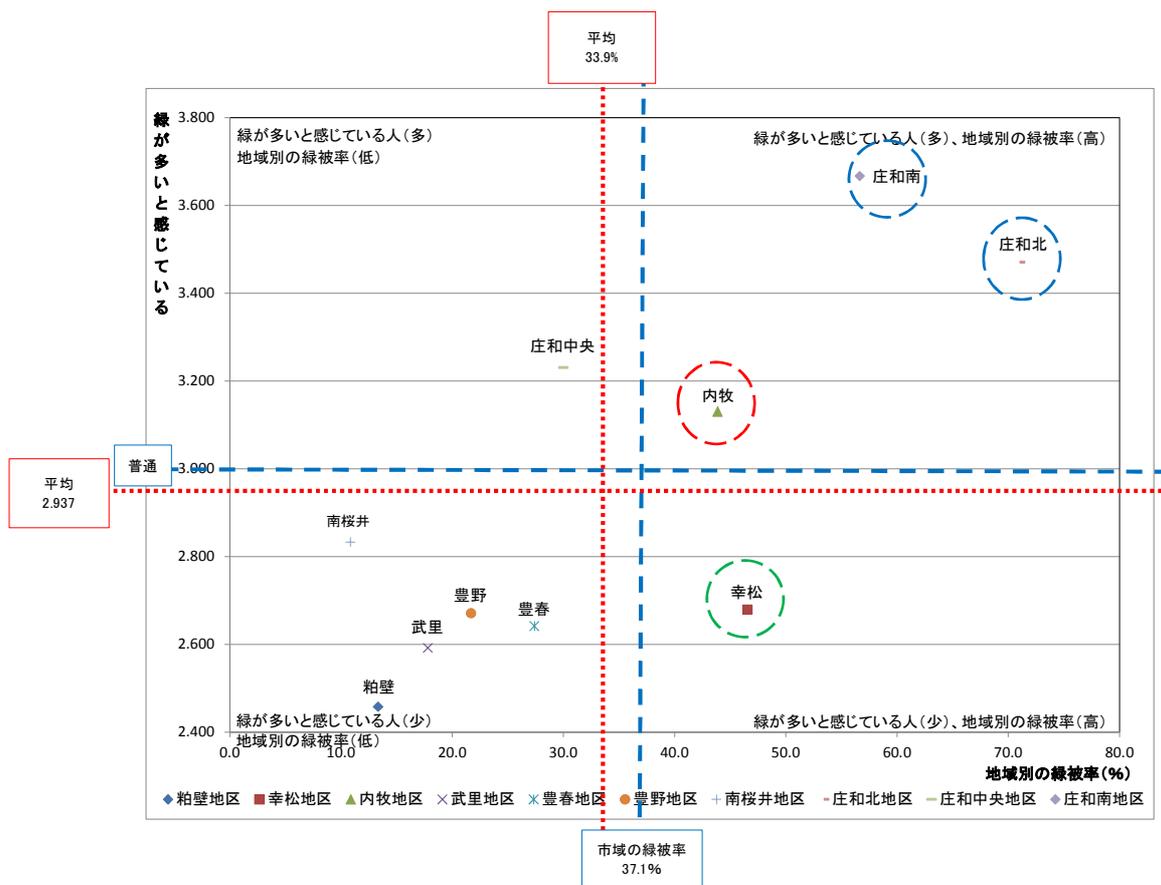
地域別にみると、内牧地区と庄和地区は、「多い」、「やや多い」の回答が多く占めている。

問3. 居住地域の緑の多さ

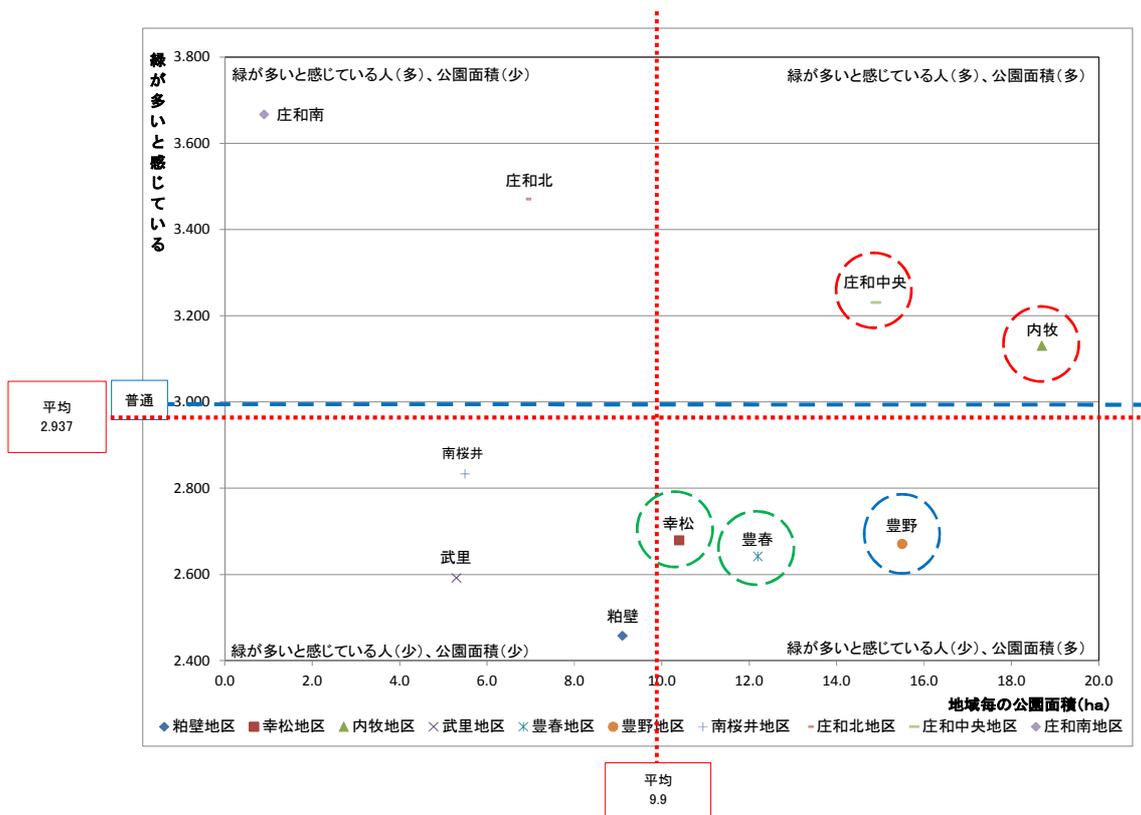


問3. 居住地域の緑の多さ



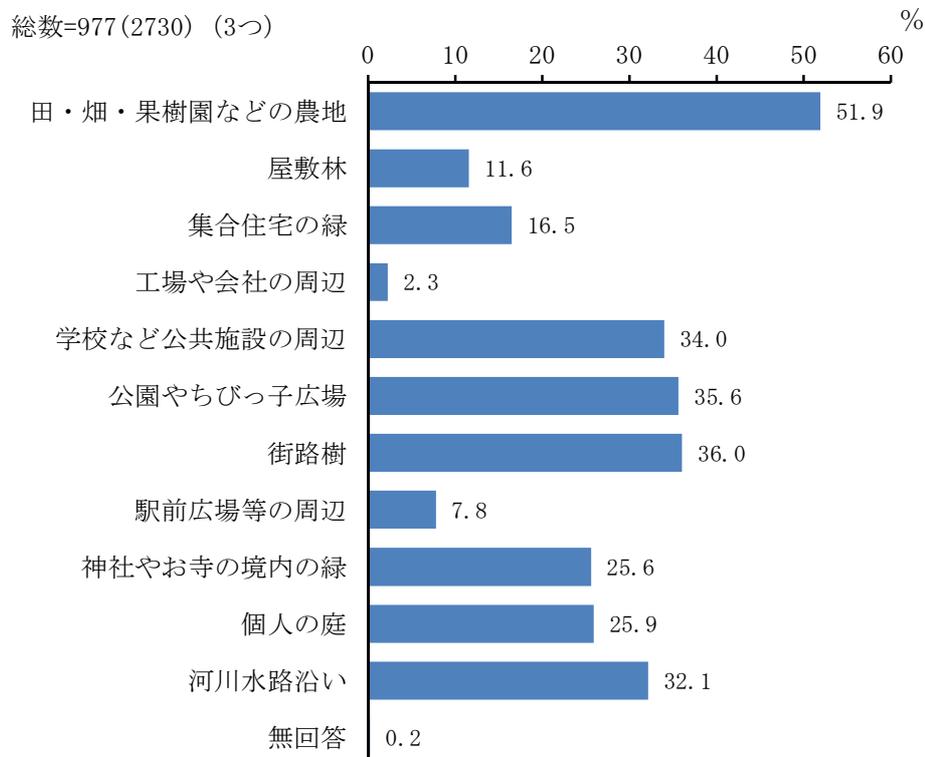


- ・縦軸に、5段階評価で算出した「緑が多く感じている」とし、横軸に「地域別の緑被率」を表した図で、赤点線は地区の平均値を示している。
- ・図の右上のプロットされている「庄和南」、「庄和北」、「内牧」は、「緑が多く」感じていて、かつ、「地域別の緑被率」が高い地区である。
- ・一方、図の右下にプロットされている、「幸松」は、「緑が少なく」感じているが、「地域別の緑被率」が高い地区である。

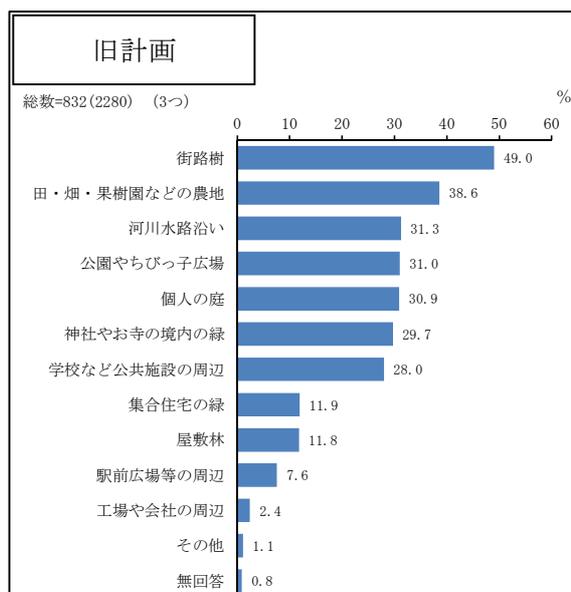


- ・縦軸に、5段階評価で算出した「緑が多く感じている」とし、横軸に「地域別の公園面積」を表した図で、赤点線は地区の平均値を示している。
- ・図の右上のプロットされている「庄和中央」、「内牧」は、「緑が多く」感じていて、かつ、「地域別の公園面積」が多い地区である。
- ・一方、図の右下にプロットされている、「幸松」、「豊春」、「豊野」は、「緑が少なく」感じているが、「公園面積」が多い地区である。

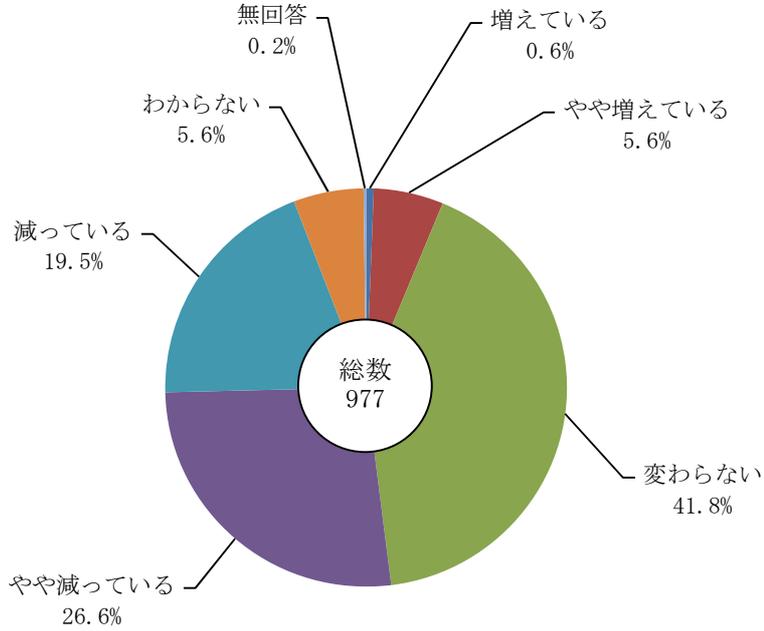
問4. 日ごろ接したり目にふれる緑



「農地」が約 52%であり、続いて「街路樹」、「公園やちびっ子広場」であった。
2人に1人は、農地にふれている。



問5. 周辺の緑の量

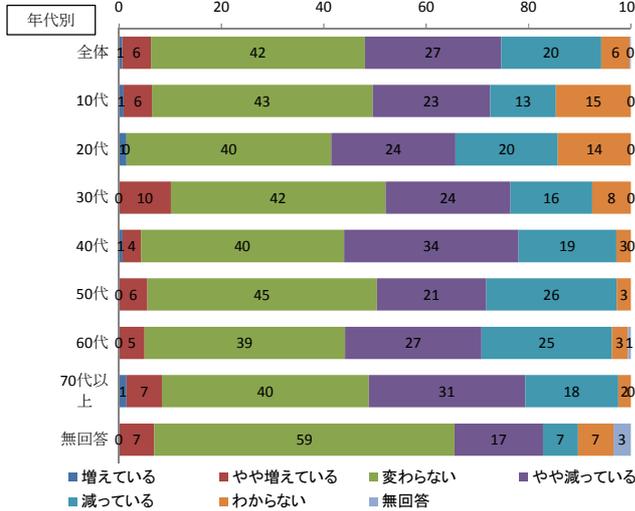


「変わらない」が約42%であった。

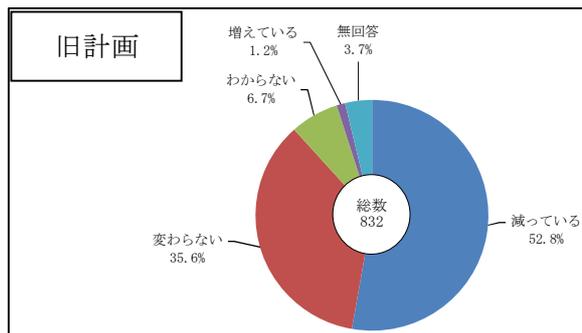
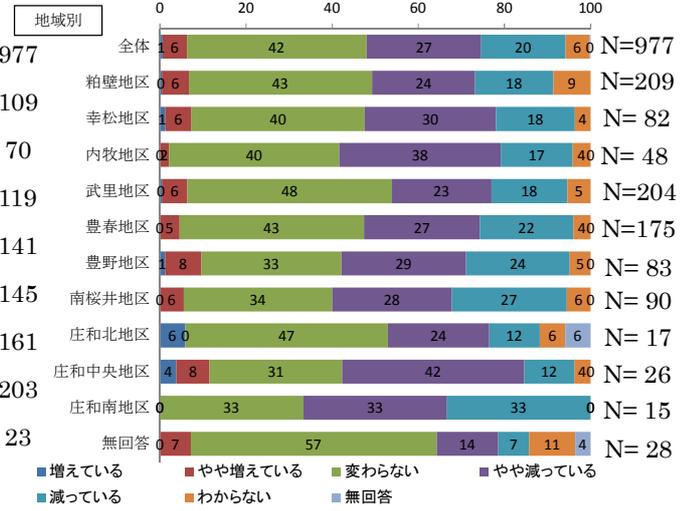
一方、「やや減っている」と「減っている」を合わせて約46%であった。

現行計画と比較すると「減っている」が約53%であり、減少の割合が少なくなっている。

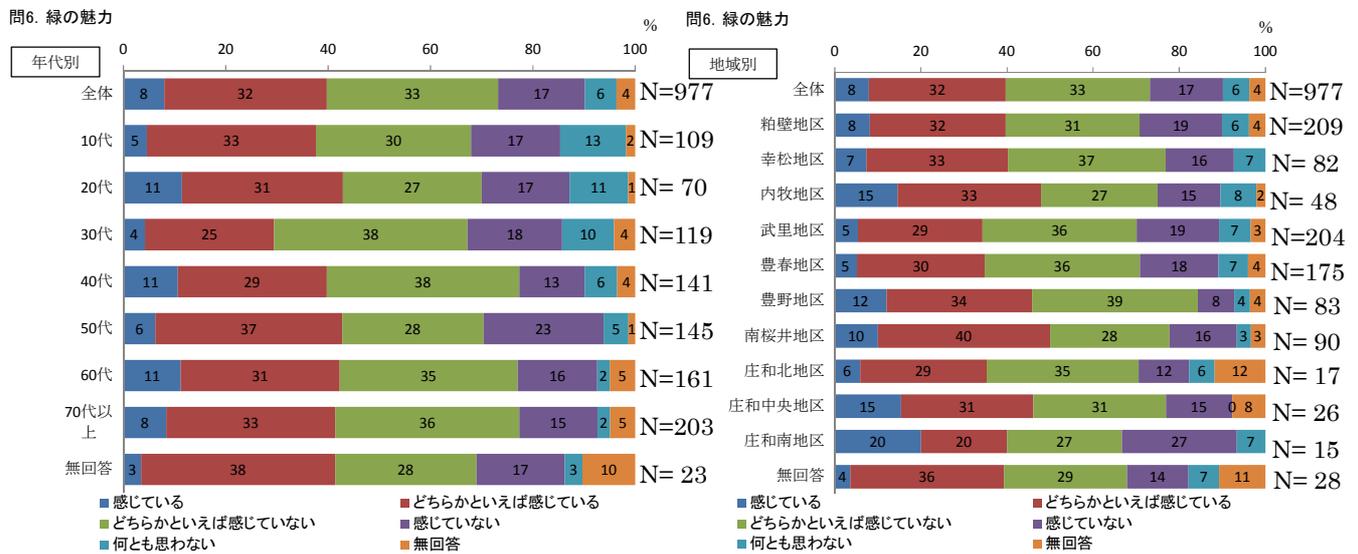
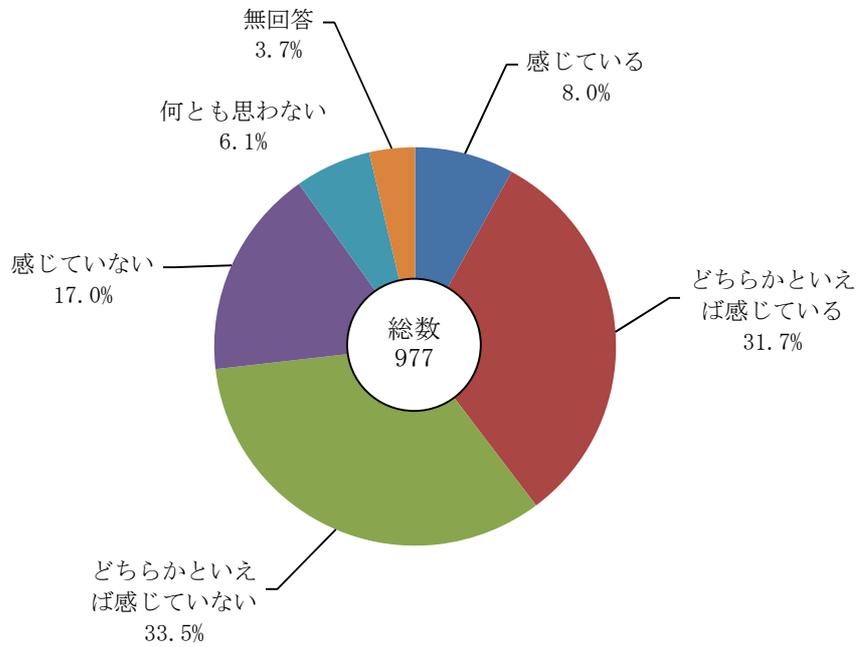
問5. 周辺の緑の量



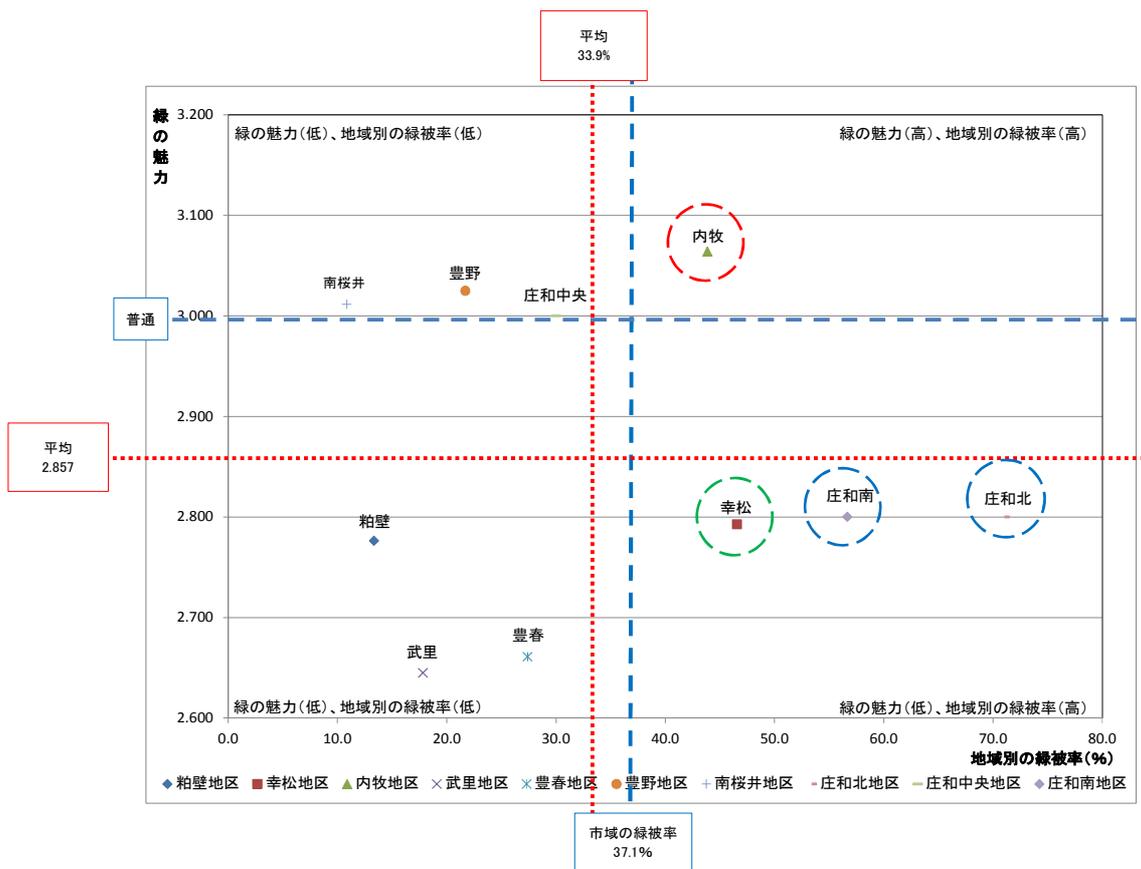
問5. 周辺の緑の量



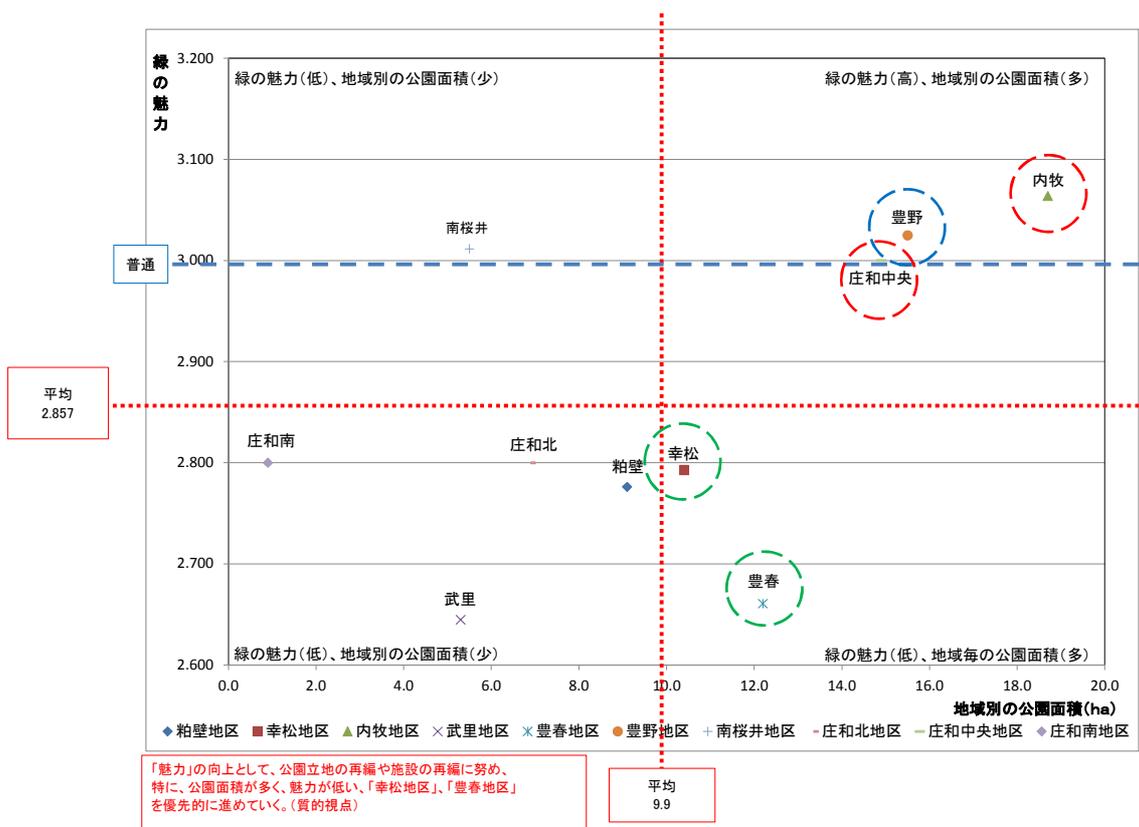
問6. 緑の魅力



「感じている」、「どちらかといえば感じている」が約40%であり、「感じていない」、「どちらかといえば感じていない」が約50%であった。自由意見では、「緑はあるものの、魅力が感じられていない」という意見が多数あった。

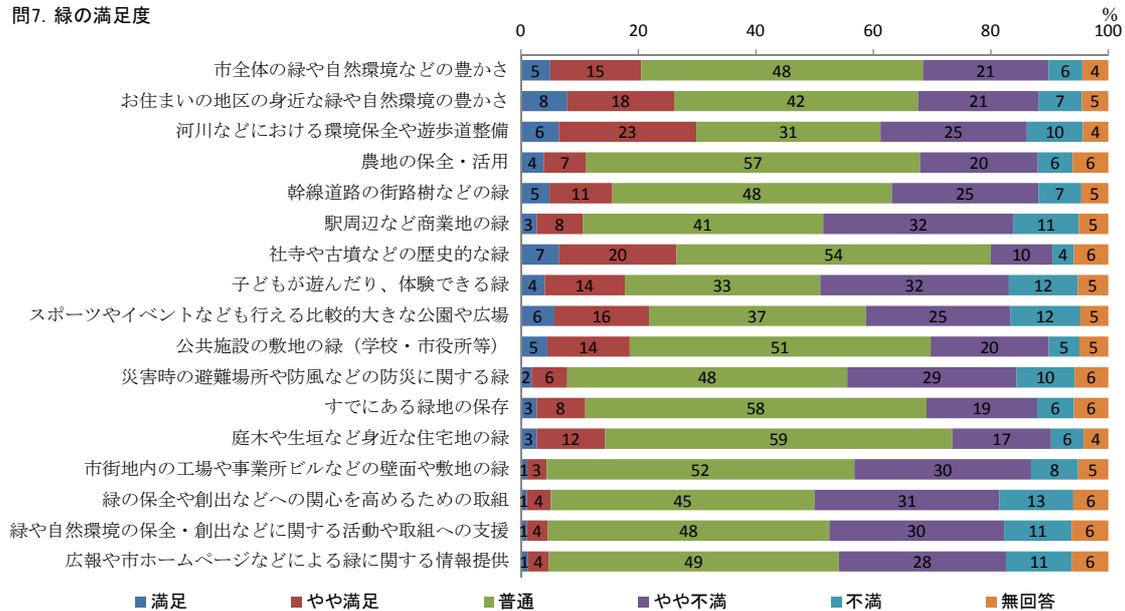


- ・縦軸に、5段階評価で算出した「緑の魅力」とし、横軸に「地域別の緑被率」を表した図で、赤点線は地区の平均値を示している。
- ・図の右上のプロットされている「内牧」は、「緑の魅力」感じていて、かつ、「地域別の緑被率」が高い地区である。
- ・一方、図の右下にプロットされている、「幸松」、「庄和南」、「庄和北」は、「緑の魅力」が低いと感じているが、「地域別の緑被率」は高い地区である。



- ・縦軸に、5段階評価で算出した「緑の魅力」とし、横軸に「地域別の公園面積」を表した図で、赤点線は地区の平均値を示している。
 - ・図の右上のプロットされている「内牧」、「豊野」、「庄和中央」は、「緑の魅力」を感じていて、かつ、「地域別の公園面積」が多い地区である。
 - ・一方、図の右下にプロットされている、「幸松」、「豊春」は、「緑の魅力」が低いと感じているが、「地域別の公園面積」は多い地区である。
- この地区については、魅力向上の対策として、地域のニーズに合った公園立地や公園施設の再編に努め、優先的に行っていく必要がある。

問7. 緑の満足度



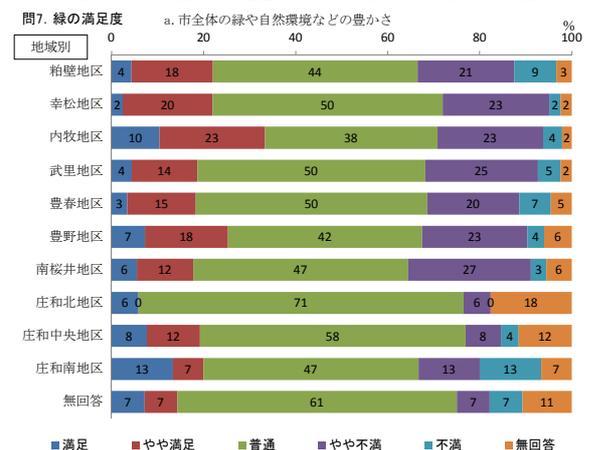
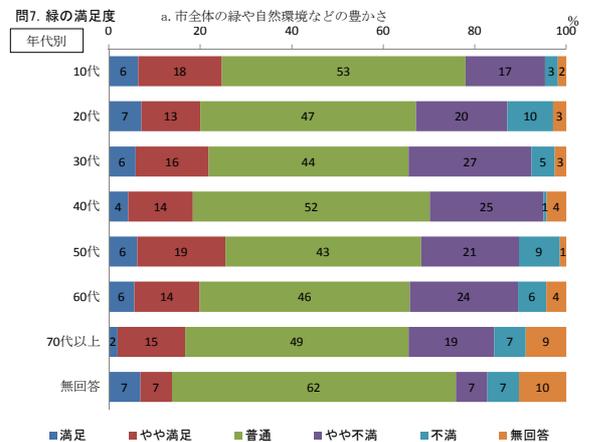
「社寺や古墳などの歴史的な緑」は、「普通」、「やや満足」、「満足」が約81%であり最も高かった。

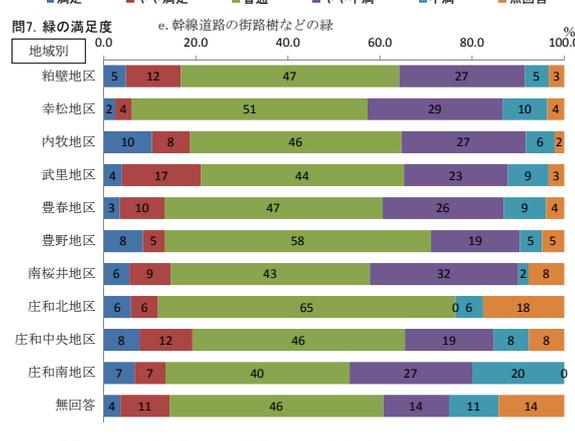
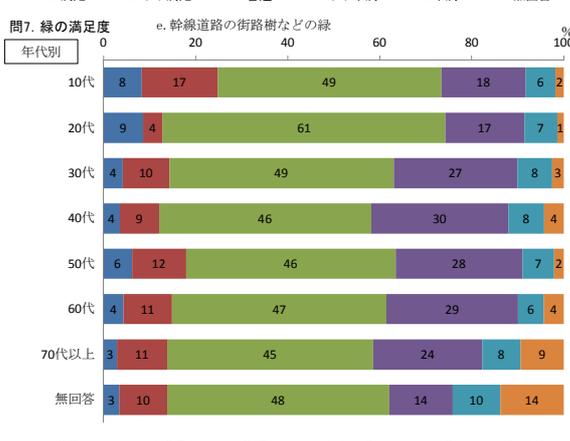
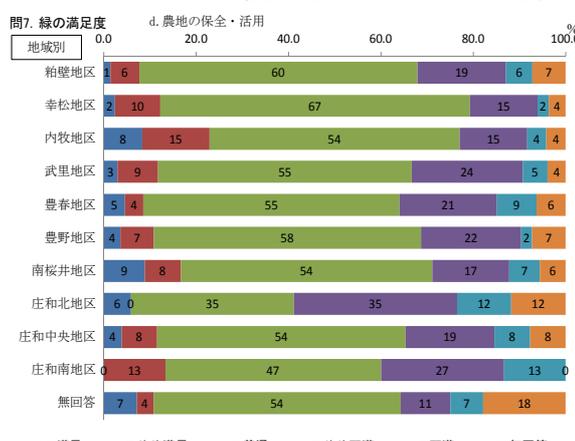
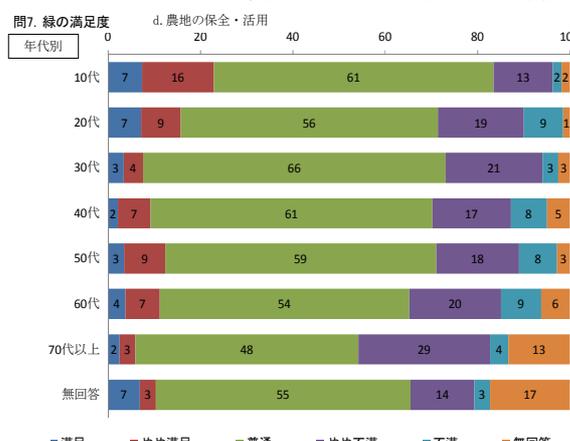
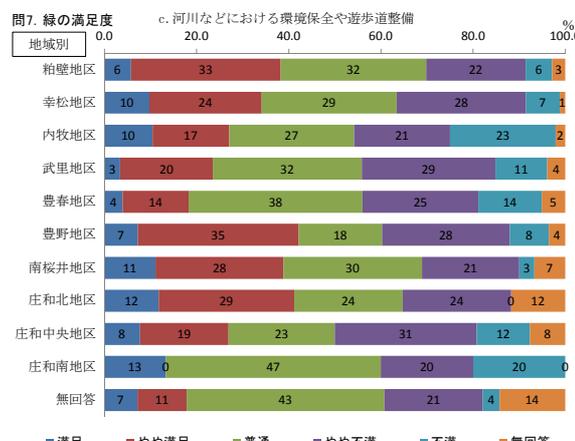
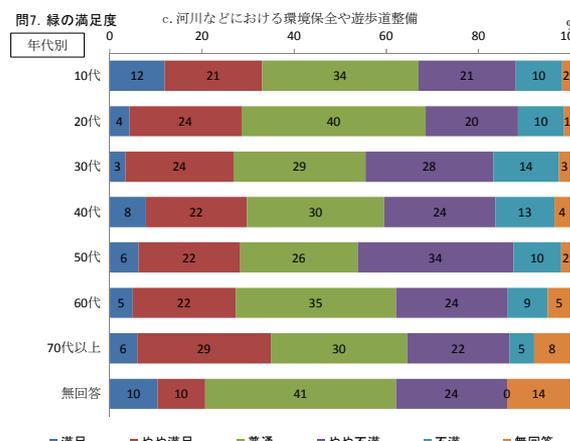
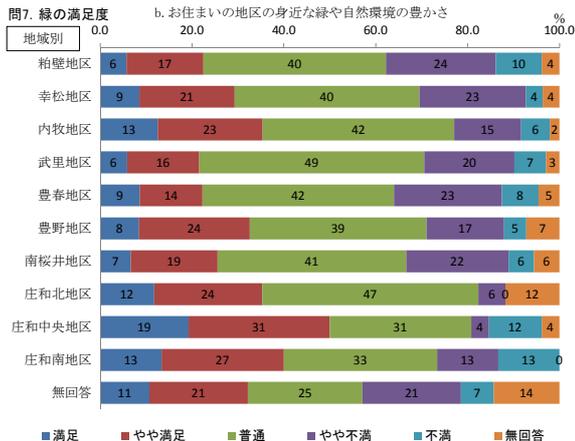
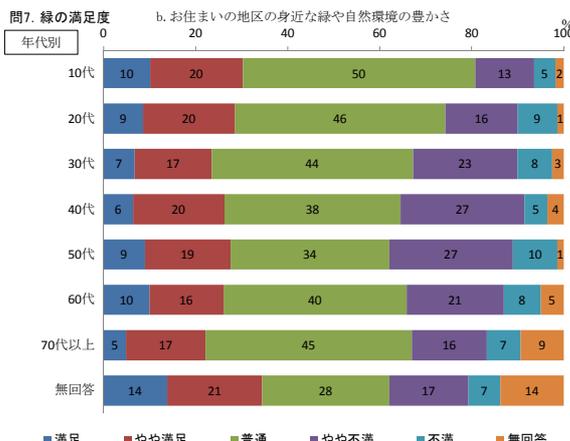
一方、「緑の保全や創出などへの関心を高めるための取組」、「子どもが遊んだり、体験できる緑」については、「やや不満」、「不満」が約44%であり最も低かった。

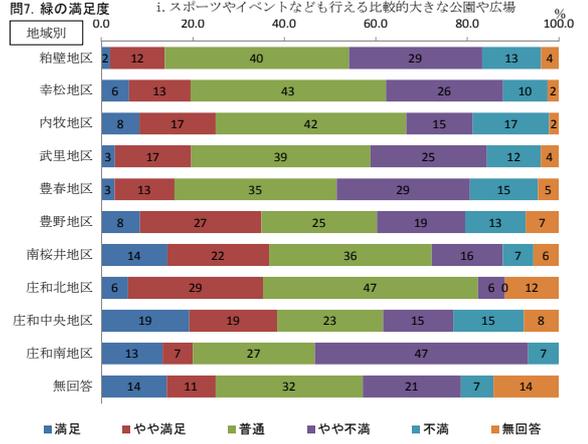
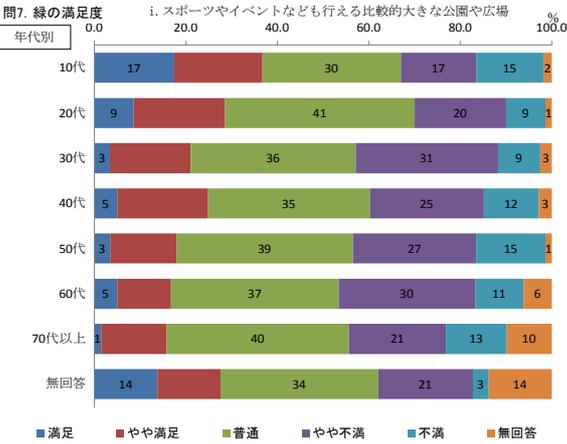
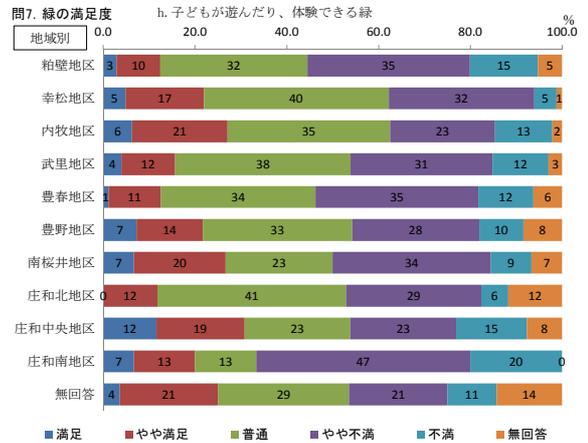
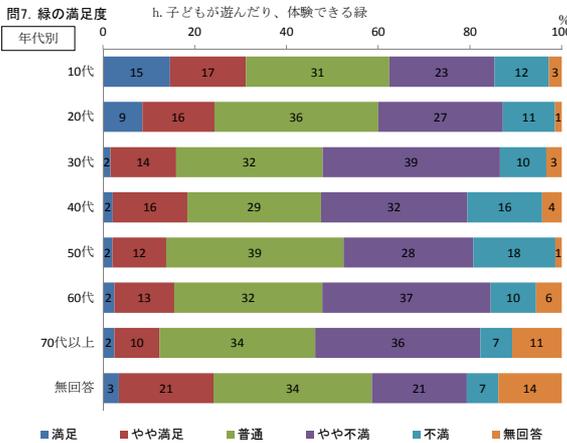
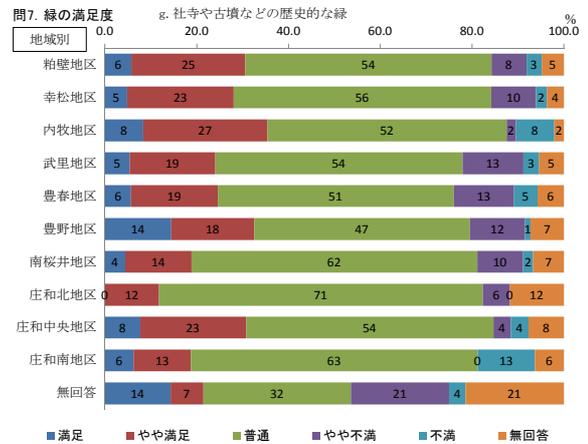
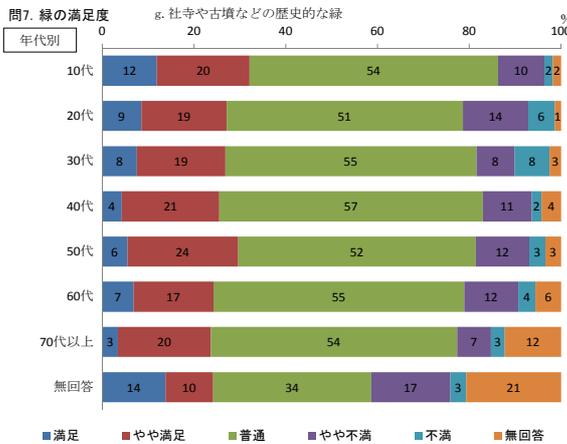
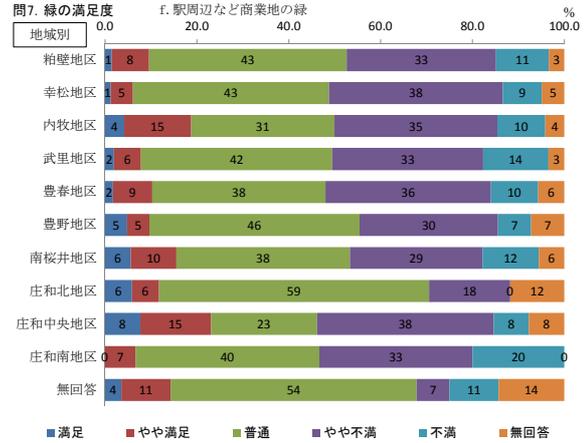
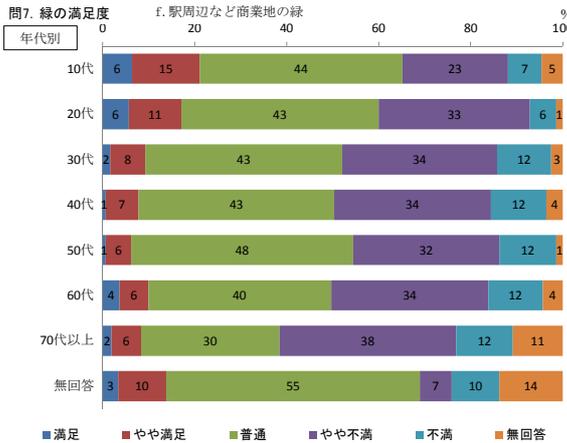
「緑の保全や創出などへの関心を高めるための取組」については、現行の施策の取組状況とも踏まえ、課題の一つとして、挙げられる。

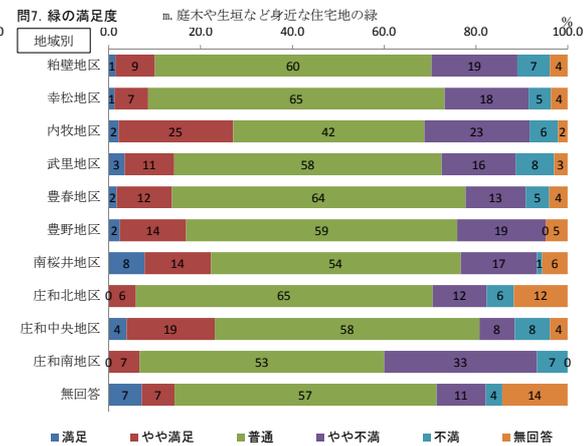
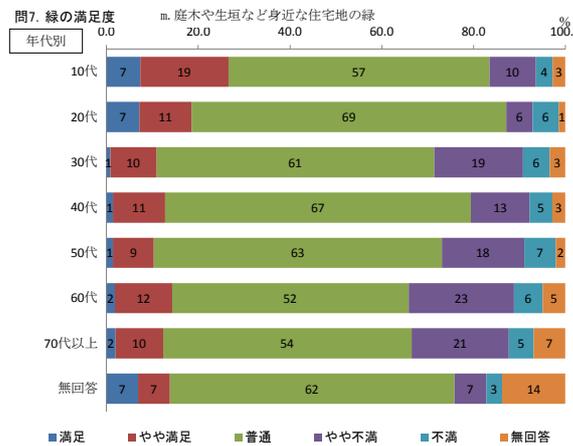
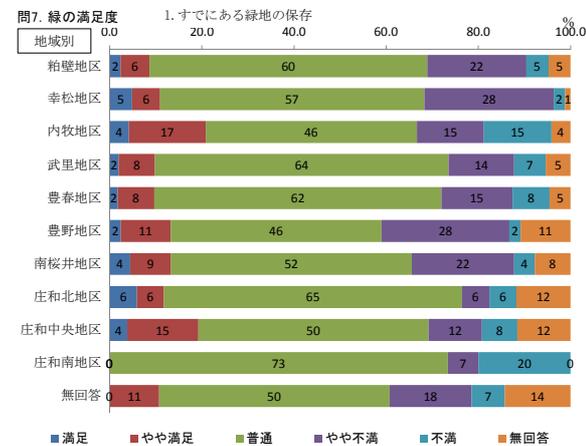
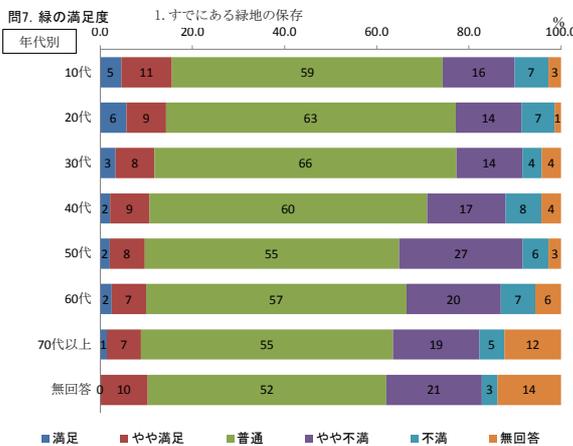
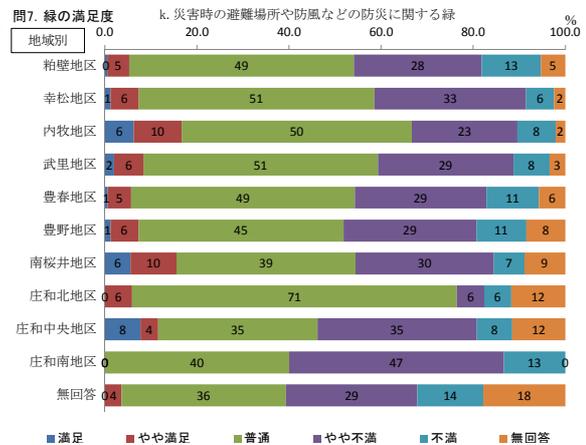
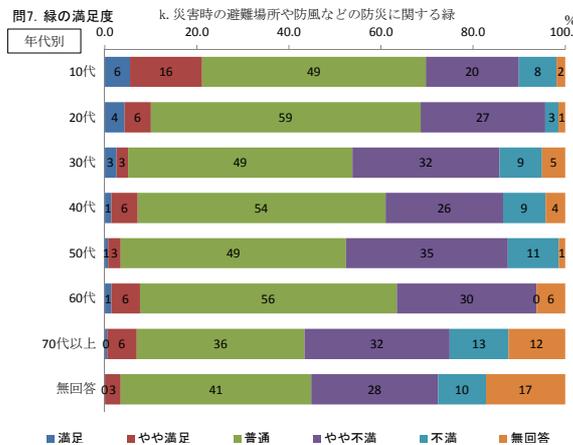
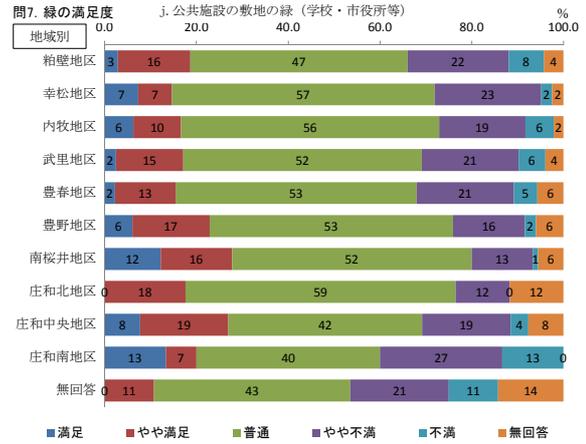
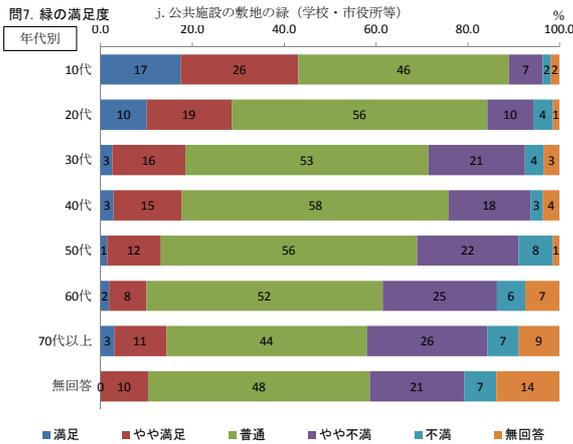
【満足度】

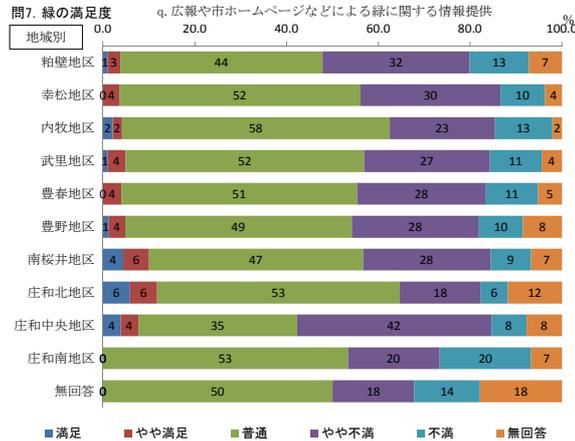
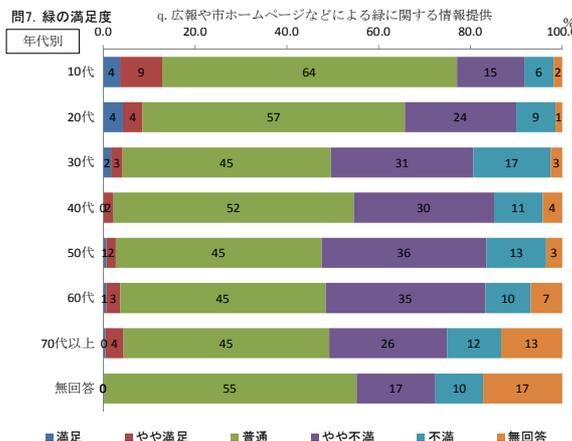
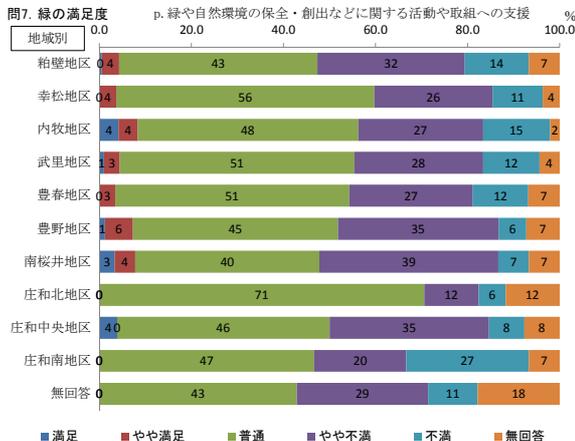
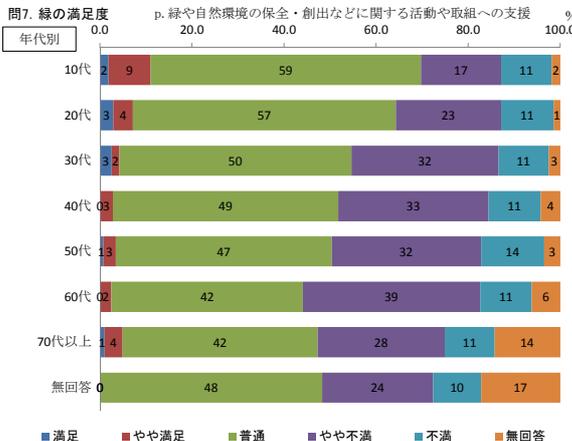
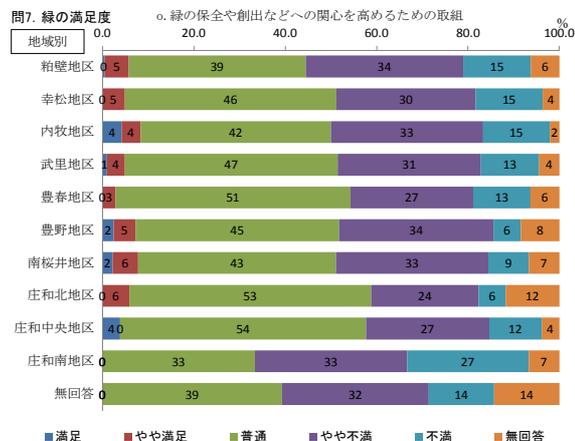
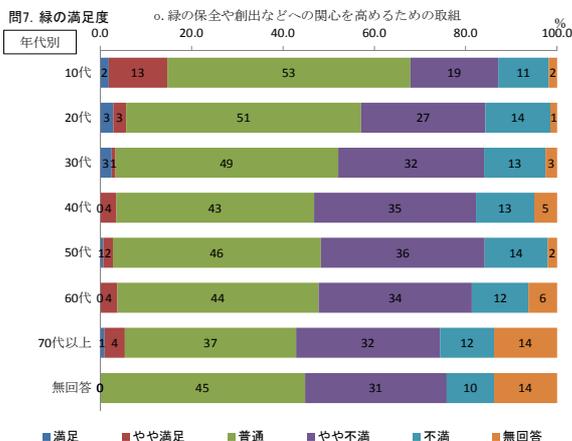
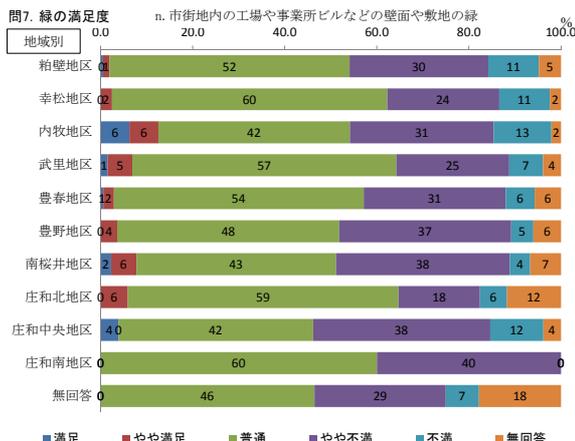
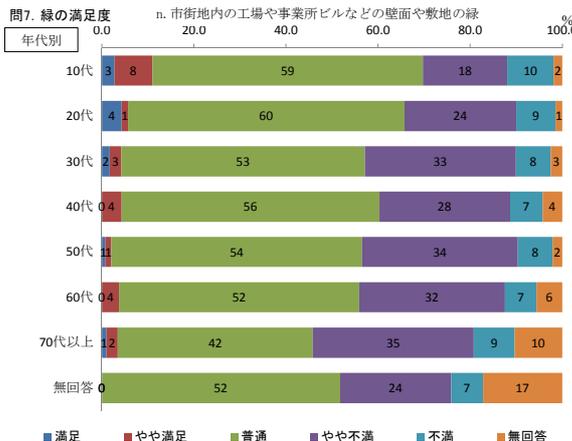
順位	評価項目	満足度
1	g. 社寺や古墳などの歴史的な緑	3.162
2	b. お住まいの地区の身近な緑や自然環境の豊かさ	2.988
3	a. 市全体の緑や自然環境などの豊かさ	2.923
4	j. 公共施設の敷地の緑(学校・市役所等)	2.921
5	c. 河川などにおける環境保全や遊歩道整備	2.920
6	m. 庭木や生垣など身近な住宅地の緑	2.888
7	d. 農地の保全・活用	2.820
8	l. すでにある緑地の保存	2.812
9	e. 幹線道路の街路樹などの緑	2.800
10	i. スポーツやイベントなども行える比較的大きな公園や広場	2.780
11	h. 子どもが遊んだり、体験できる緑	2.645
12	k. 災害時の避難場所や防風などの防災に関する緑	2.588
13	n. 市街地内の工場や事業所ビルなどの壁面や敷地の緑	2.573
14	f. 駅周辺など商業地の緑	2.565
15	q. 広報や市ホームページなどによる緑に関する情報提供	2.521
16	p. 緑や自然環境の保全・創出などに関する活動や取組への支援	2.498
17	o. 緑の保全や創出などへの関心を高めるための取組	2.464



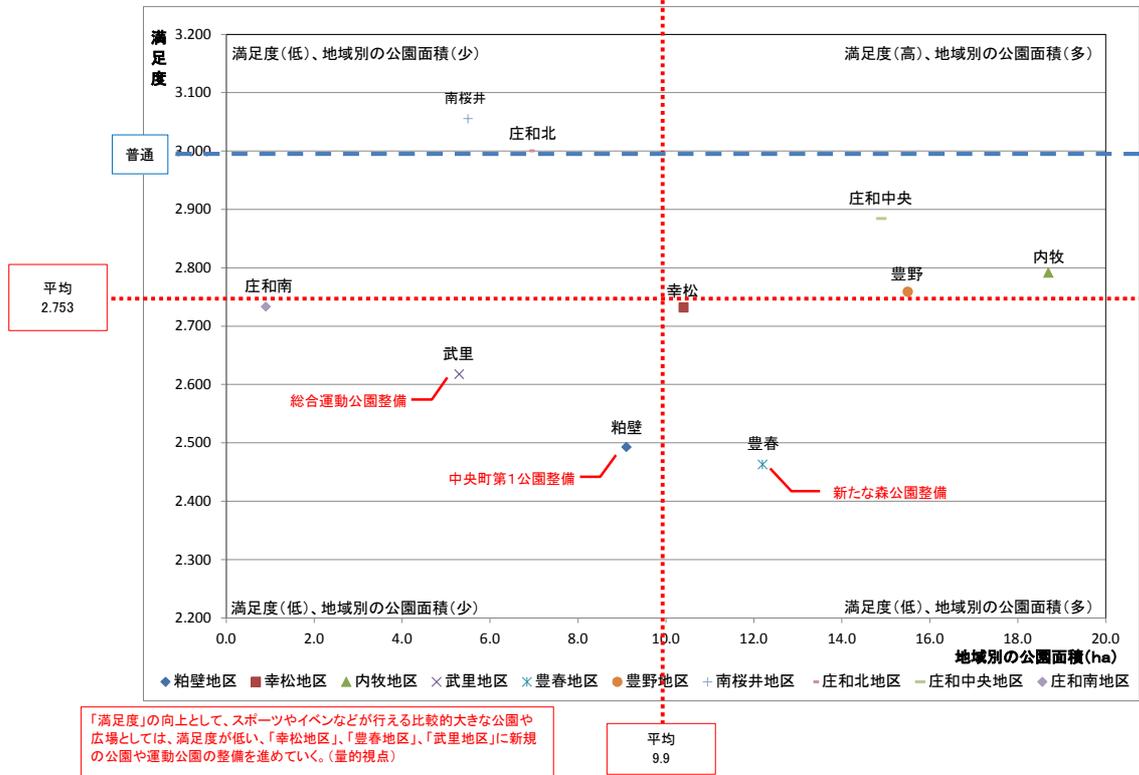








i. スポーツやイベントなども行える比較的大きな公園や広場

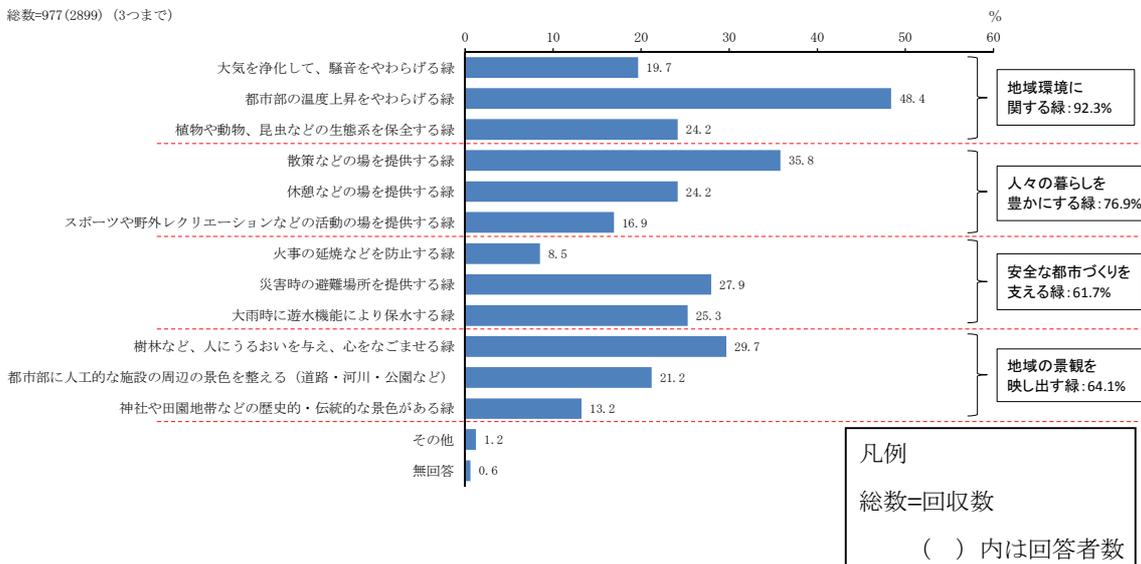


- ・縦軸に、5段階評価で算出した「満足度」とし、横軸に「地域別の公園面積」を表した図で、赤点線は地区の平均値を示している。
- ・図の右上のプロットされている「内牧」、「豊野」、「庄和中央」は、「満足度」が高く、かつ、「地域別の公園面積」が多い地区である。
- ・一方、図の右下にプロットされている、「幸松」、「豊春」は、「満足度」が低いと感じているが、「地域別の公園面積」は多い地区である。
- ・平均よりも満足度が低い地区（武里・粕壁・豊春）については、満足度向上の対策として、新規の公園や運動公園の整備を進めていくとともに、地域の活性化や魅力にもつながる整備に努めていく必要がある。

【今後の緑のまちづくり】

問8. どのような緑を守ったり増やしたりすべき

総数=977(2899) (3つまで)

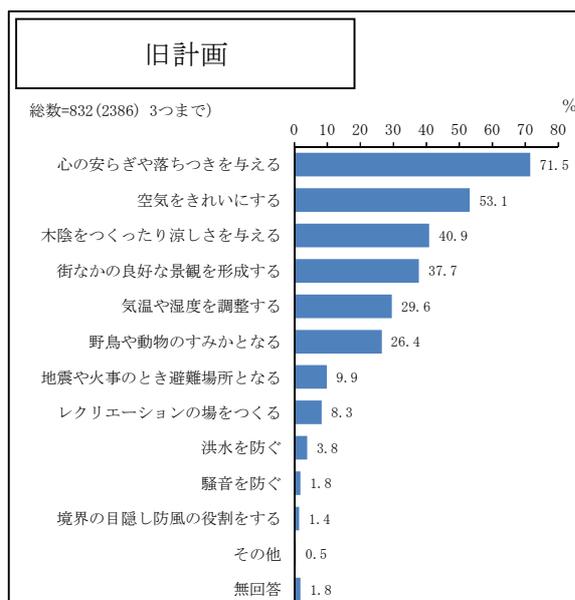


「都市部の温度上昇をやわらげる緑」は、約 48%であり最も高かった。

続いて、「散策などの場を提供する緑」が約 36%で、「樹林など人々にうるおいを与え、心をなごませる緑」が約 30%であった。

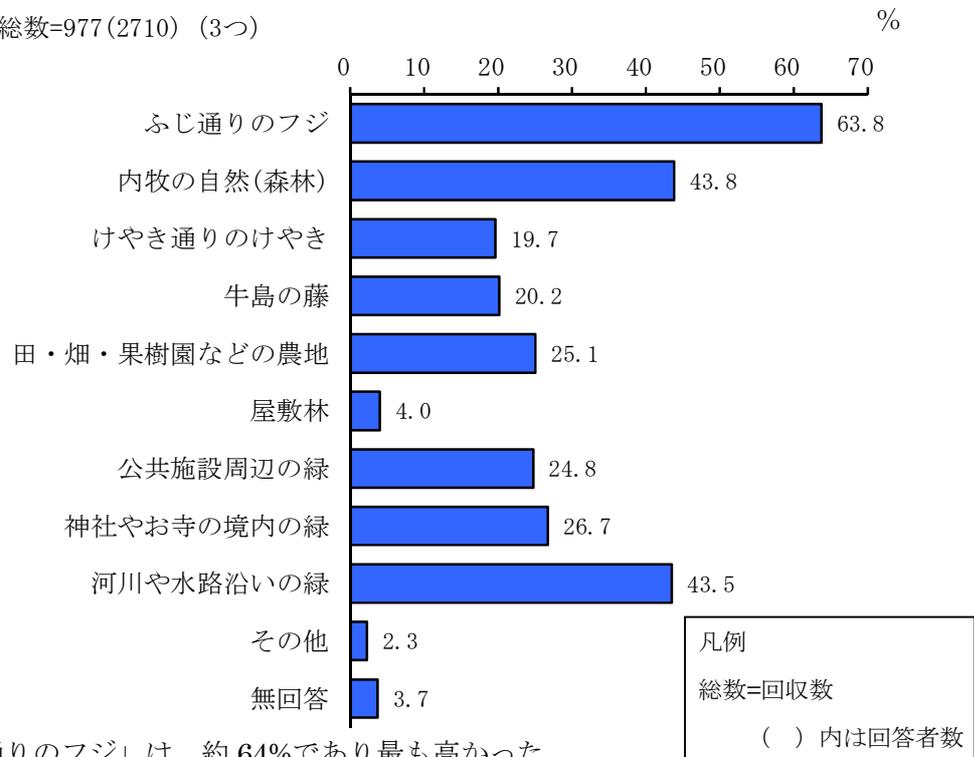
原稿計画と比較すると、「人に安らぎやうるおいを与える緑」に関する項目は、約 7 割から約 3 割に減っている。一方で、「気温」に関する項目は、約 2 割の人が、増えている。

これについては、近年の気候変動によるものと考えられ、特に、今年（2018 年）の夏は猛暑であったためと思われる。



問9. 緑の景観で今後残しておきたいと思う緑

総数=977(2710) (3つ)

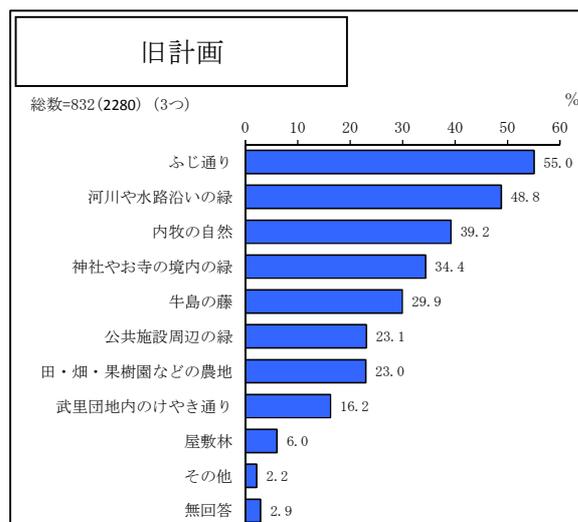


「ふじ通りのフジ」は、約64%であり最も高かった。

続いて、「内牧の自然」、「河川や水路沿いの緑」が約44%であった。

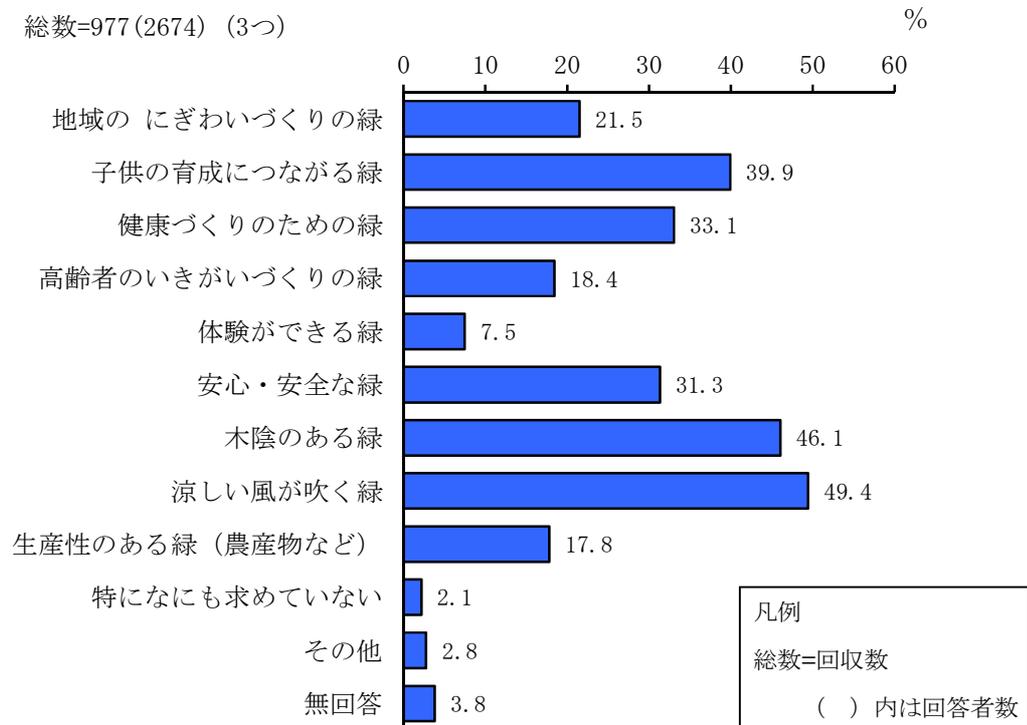
自由意見では、「ふじ通りのフジや古利根沿いの桜は、毎年楽しみにしているので、残してほしい」という意見が多数あった。

現行計画と比較すると、ふじ通りが最も多く、市のフジは、市民にとって、春日部市らしさの一つであると考えられる。



問10. あなたにとって、緑に求めるもの

総数=977(2674) (3つ)



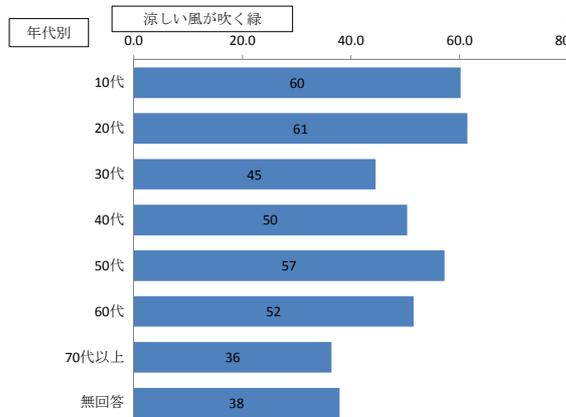
「涼しい風が吹く緑」は、約 49%であり最も高かった。

続いて、「木陰のある緑」が約 46%、「子供の育成につながる緑」が約 40%であった。

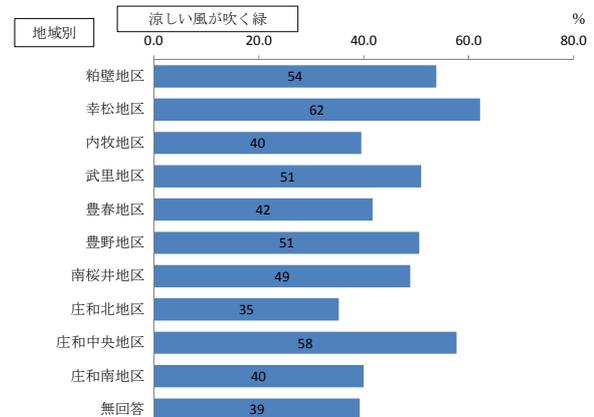
現行計画の基本理念 (『豊かな水と緑に恵まれ、*風光る我がまち春日部』) である『風』と市民が緑に求めている「涼しい風」との調和が図られているため、基本理念は継続して基本計画を進めていく。

※風光るは季語で「春風が吹くさま」を現している。

問10. あなたにとって、緑に求めるもの

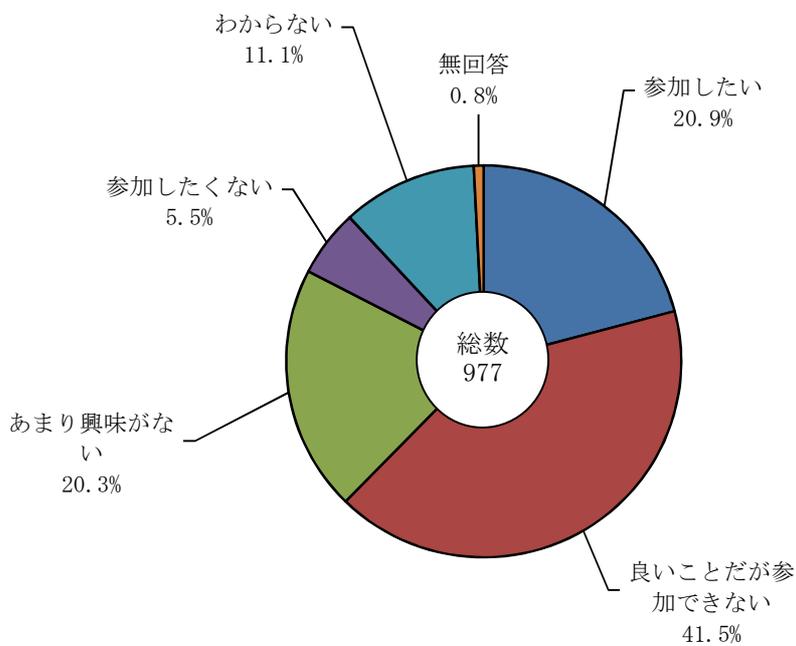


問10. あなたにとって、緑に求めるもの

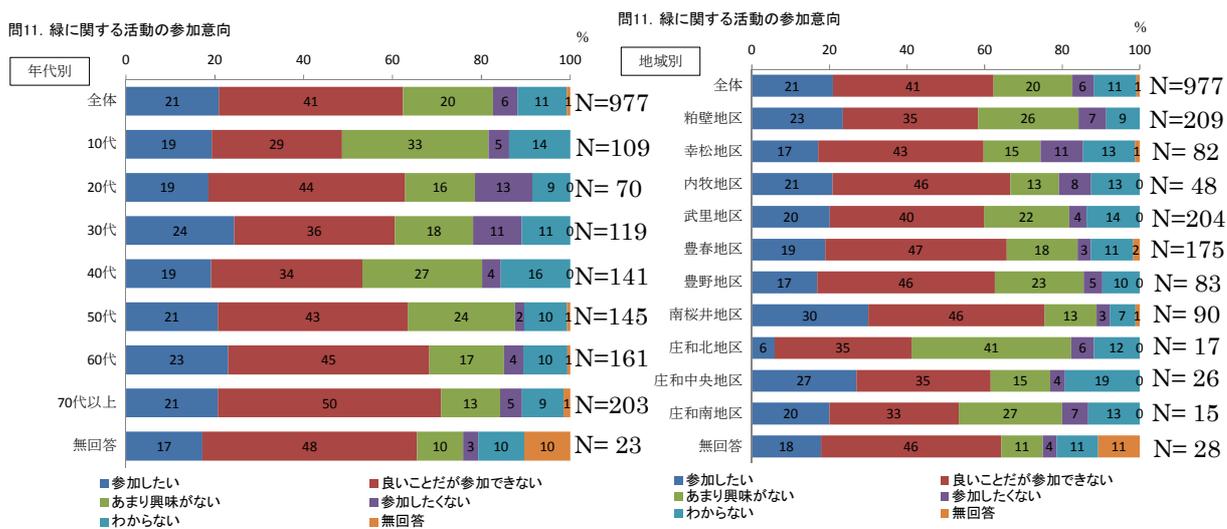


【緑のまちづくりの参加】

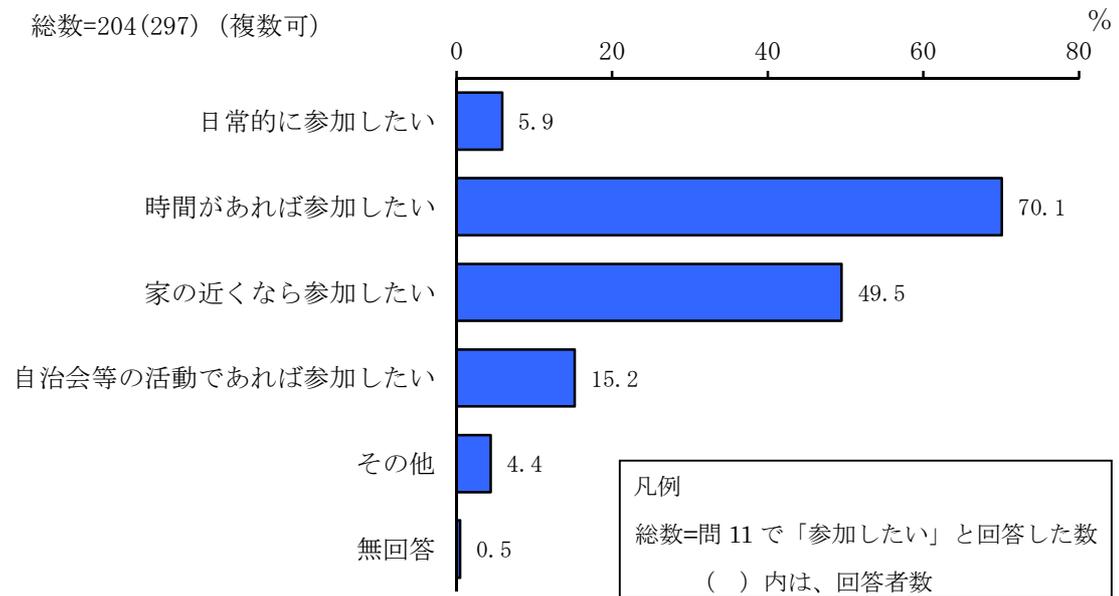
問11. 緑に関する活動の参加意向



「良いことだが参加できない」が、約 42%であり最も高かった。
 続いて、「参加したい」が約 21%、「あまり興味がない」が約 20%であった。
 「良いことだが参加できない」に着目して調査（原因把握）する必要がある。

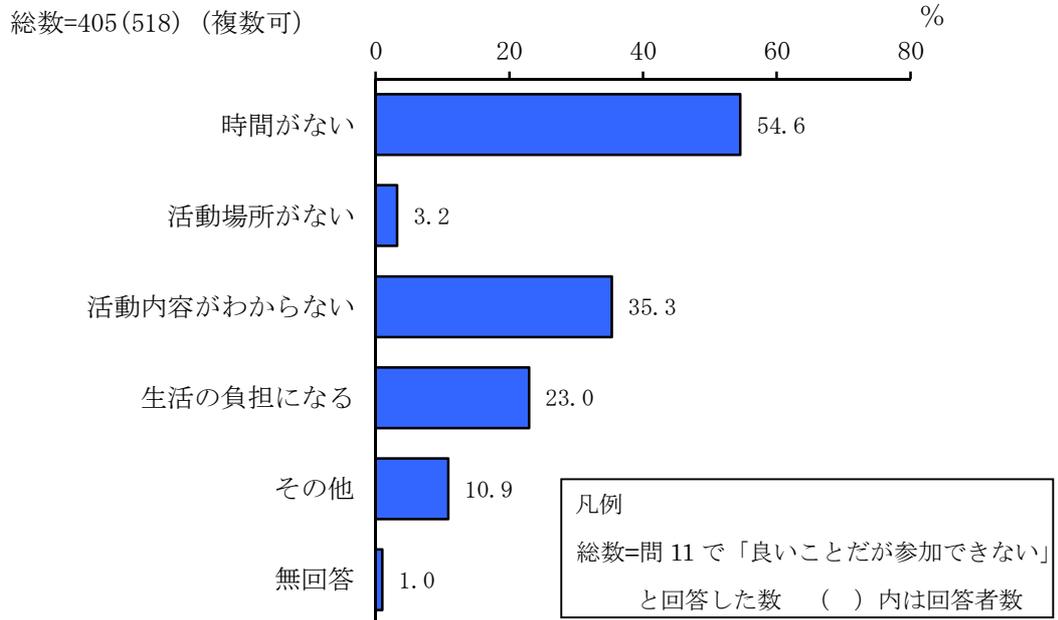


問11-1.「参加したい」と回答した方の参加条件

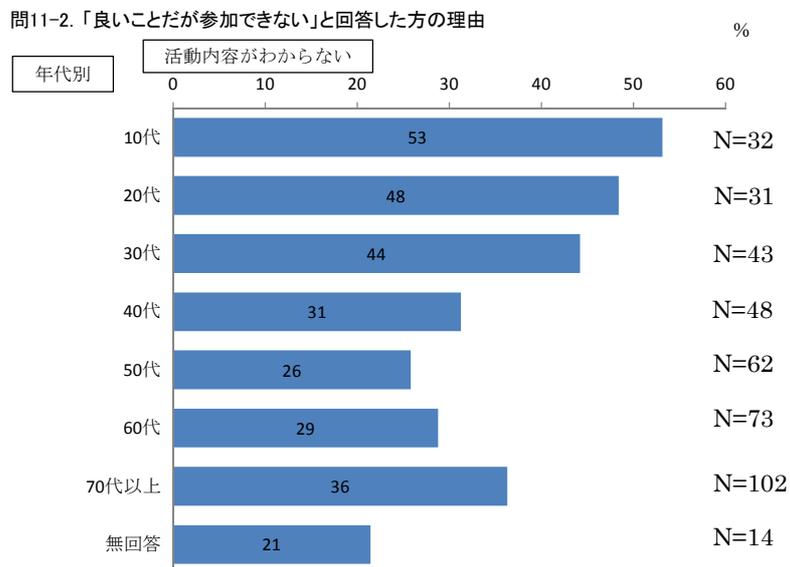


「時間があれば参加したい」が約 70%、「家の近くなら参加したい」が約 50%であった

問11-2. 「良いことだが参加できない」と回答した方の理由

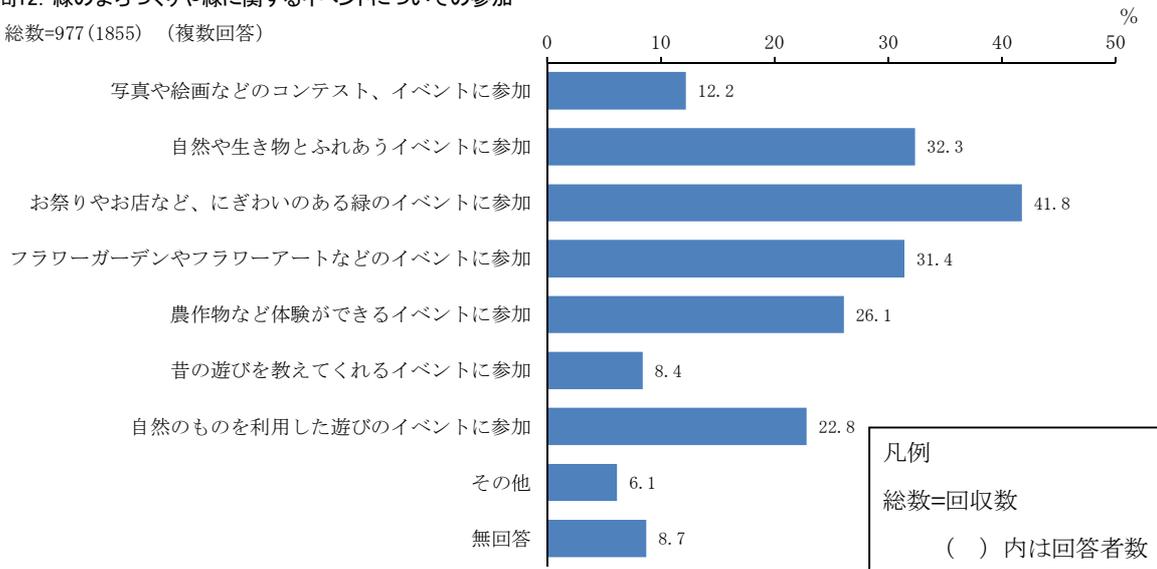


「時間がない」が、約 55%であり、「活動内容がわからない」が、約 35%であった。
 「活動内容がわからない」を年代別にみると、10代、20代は、約 5割であり、活動内容を周知するとともに、活動内容次第では、「参加したい」に繋がると考えられる。



問12. 緑のまちづくりや緑に関するイベントについての参加

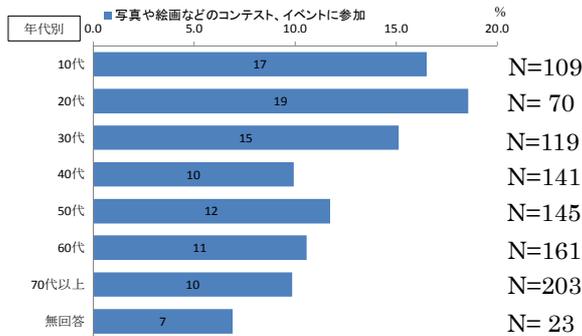
総数=977 (1855) (複数回答)



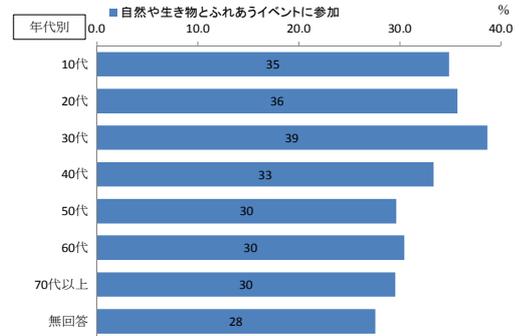
「お祭りやお店など賑わいのある緑のイベントに参加」が、約 42%であり、最も高かった。続いて、「自然や生き物とふれあうイベントに参加」、「フラワーガーデンやフラワーアートなどのイベントに参加」、「農作物など体験ができるイベントに参加」の順になっている。

イベントへの参加は、約 2 個/人となっており、様々なイベントに関心があることがわかる。

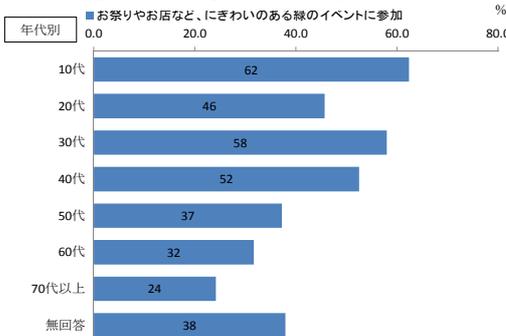
問12. 緑のまちづくりや緑に関するイベントについての参加



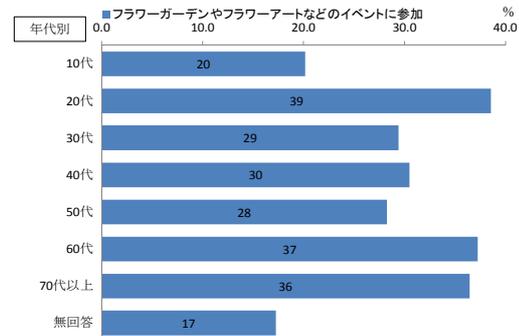
問12. 緑のまちづくりや緑に関するイベントについての参加

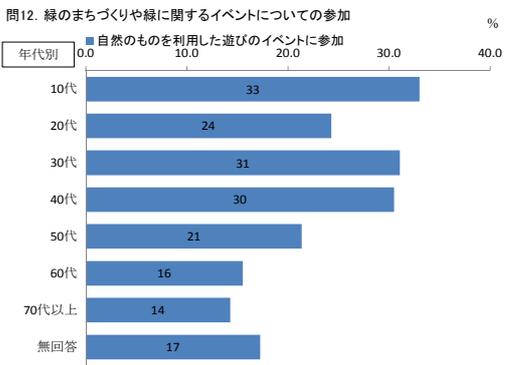
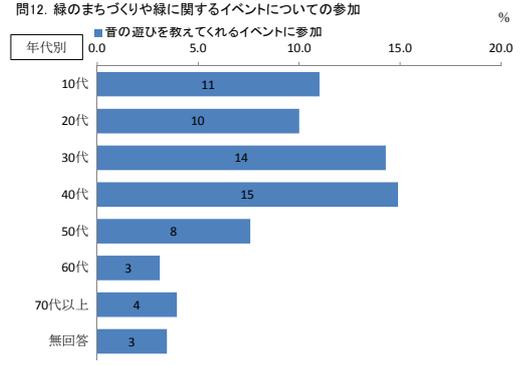
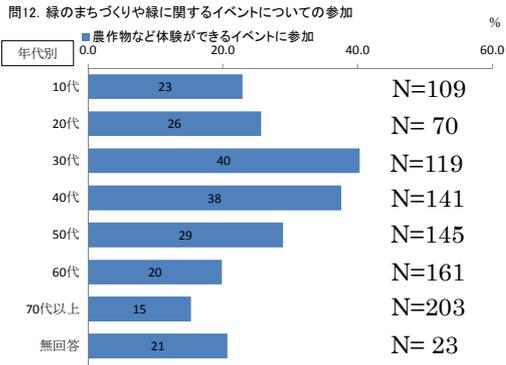


問12. 緑のまちづくりや緑に関するイベントについての参加

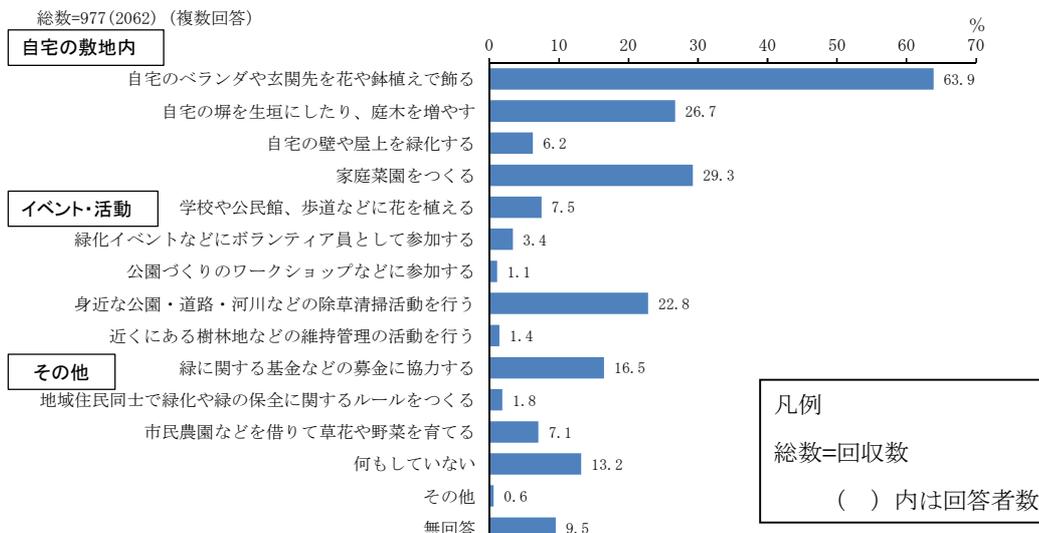


問12. 緑のまちづくりや緑に関するイベントについての参加



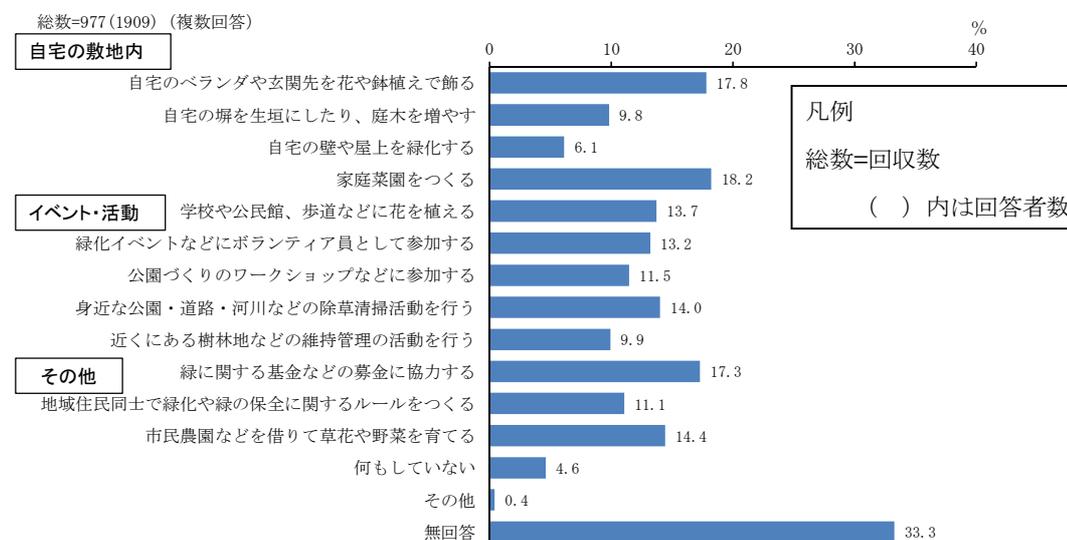


問13. これまでに実践した活動



「自宅のベランダや玄関先を花や鉢植えて飾る」が、約 64%であり、最も高かった。続いて、「家庭菜園をつくる」、「自宅の塀を生垣にしたり、庭木を増やす」「身近な公園・道路・河川などの除草清掃活動」の順になっている。自宅の敷地内で実践している人が多いことがわかる。

問13. 今後実践したいと思う活動

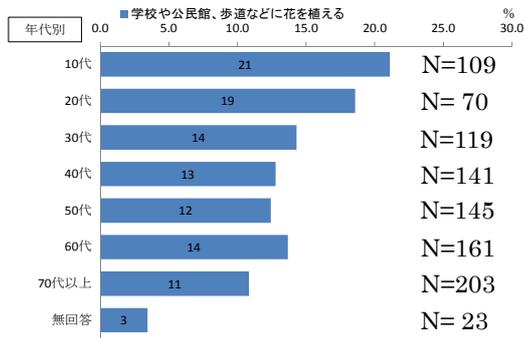


「家庭菜園をつくる」、「自宅のベランダや玄関先を花や鉢植えて飾る」、「緑に関する募金に協力する」が、約 18%であった。続いて、「市民農園などを借りて草花や野菜を育てる」が、約 14%であった。

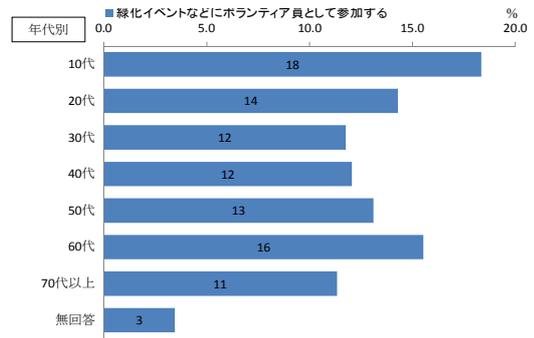
『イベント・活動』については、これまでは、実践していなかった人も、「今後は実践したい」と思っている人が多く、年代別にみても、世代問わず、5割以上であることがわかる。

今後は、『イベント・活動』や『その他』の市民農園など、幅広く活動したいと思う人がいるので、如何に、情報提供や情報伝達していくのかが必要となる。

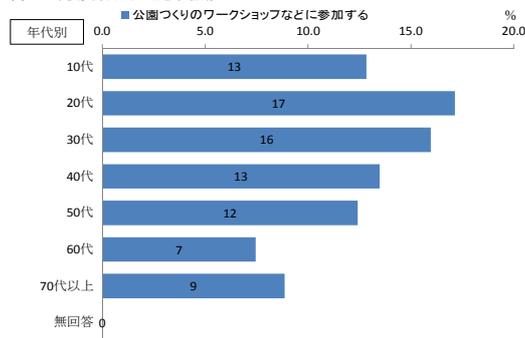
問13. 今後実践したいと思う活動



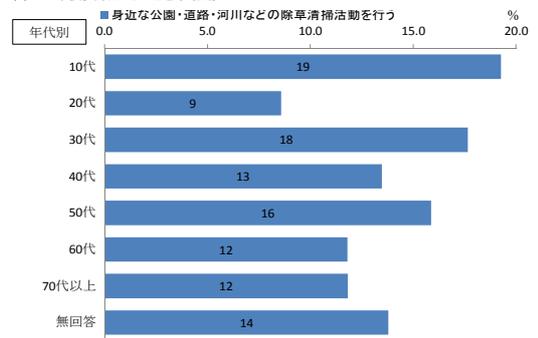
問13. 今後実践したいと思う活動



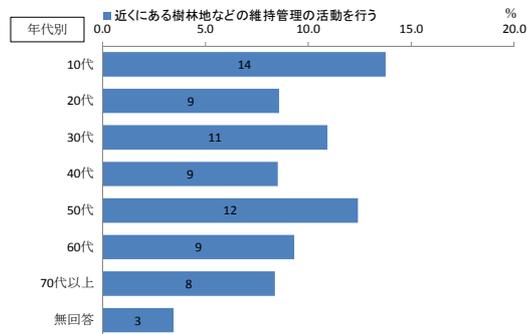
問13. 今後実践したいと思う活動



問13. 今後実践したいと思う活動

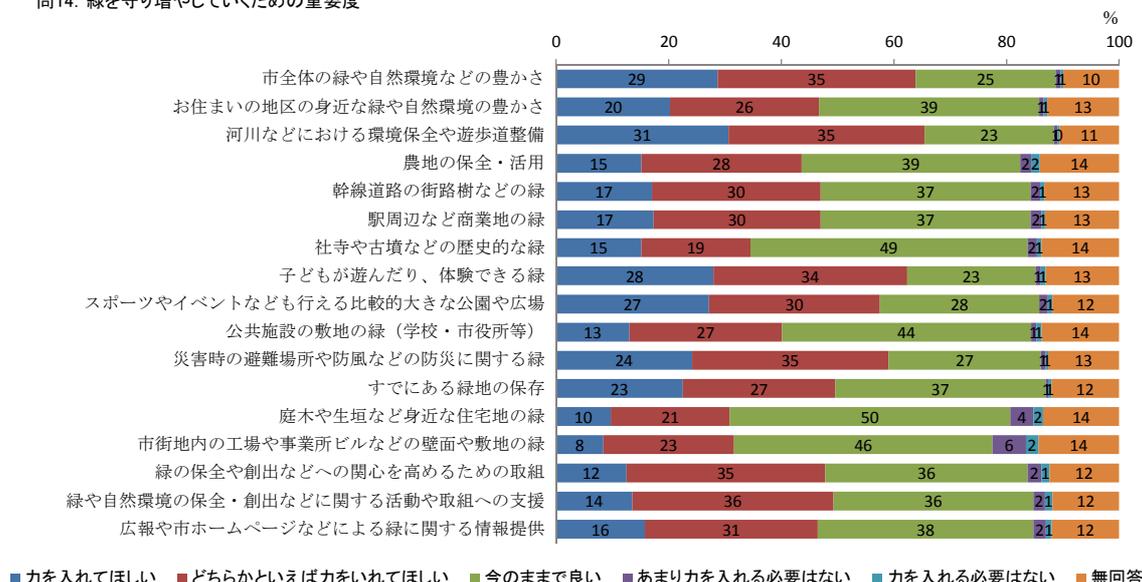


問13. 今後実践したいと思う活動



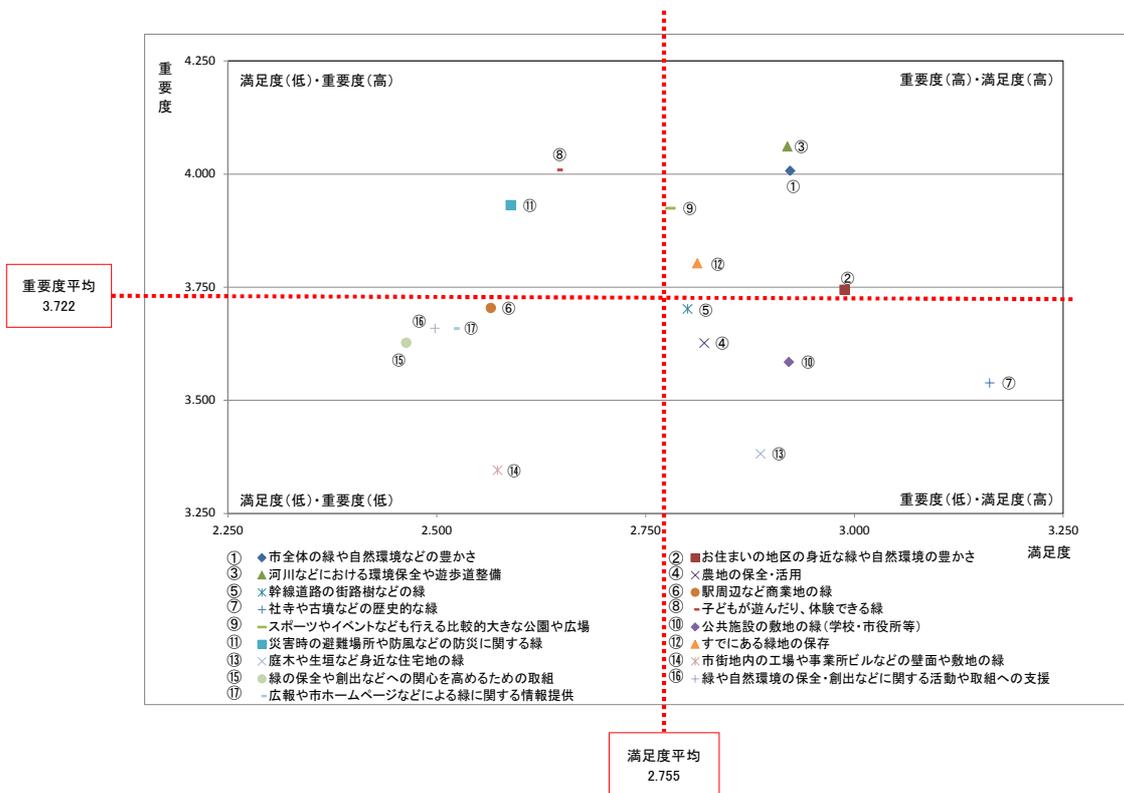
【緑のまちづくりの取組】

問14. 緑を守り増やしていくための重要度



■力を入れてほしい ■どちらかといえば力をいれてほしい ■今のままで良い ■あまり力を入れる必要はない ■力を入れる必要はない ■無回答

「河川などにおける環境保全や遊歩道整備」について、「力を入れてほしい」、「どちらかといえば力を入れてほしい」が66%であり最も高かった。続いて、「市全体の緑や自然環境等の豊かさ」、「子どもが遊んだり、体験できる緑」であった。ニーズ度をみると、「緑の保全や創出などへの関心を高めるための取組」が高いことがわかる。



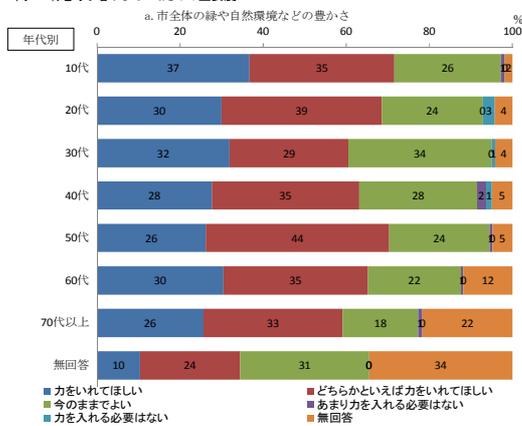
【重要度】

順位	評価項目	重要度
1	c. 河川などにおける環境保全や遊歩道整備	4.061
2	h. 子どもが遊んだり、体験できる緑	4.009
3	a. 市全体の緑や自然環境などの豊かさ	4.007
4	k. 災害時の避難場所や防風などの防災に関する緑	3.931
5	i. スポーツやイベントなども行える比較的大きな公園や広場	3.925
6	l. すでにある緑地の保存	3.802
7	b. お住まいの地区の身近な緑や自然環境の豊かさ	3.744
8	f. 駅周辺など商業地の緑	3.704
9	e. 幹線道路の街路樹などの緑	3.701
10	p. 緑や自然環境の保全・創出などに関する活動や取組への支援	3.659
11	q. 広報や市ホームページなどによる緑に関する情報提供	3.658
12	o. 緑の保全や創出などへの関心を高めるための取組	3.627
13	d. 農地の保全・活用	3.626
14	j. 公共施設の敷地の緑(学校・市役所等)	3.584
15	g. 社寺や古墳などの歴史的な緑	3.538
16	m. 庭木や生垣など身近な住宅地の緑	3.381
17	n. 市街地内の工場や事業所ビルなどの壁面や敷地の緑	3.345

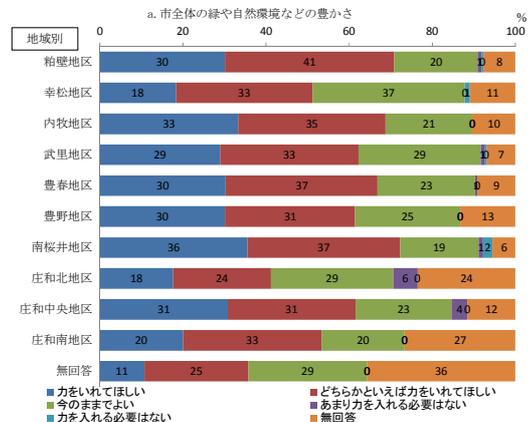
【ニーズ度】

順位	評価項目	満足度	重要度	ニーズ度
1	h. 子どもが遊んだり、体験できる緑	2.645	4.009	1.365
2	k. 災害時の避難場所や防風などの防災に関する緑	2.588	3.931	1.342
3	o. 緑の保全や創出などへの関心を高めるための取組	2.464	3.627	1.164
4	p. 緑や自然環境の保全・創出などに関する活動や取組への支援	2.498	3.659	1.161
5	i. スポーツやイベントなども行える比較的大きな公園や広場	2.780	3.925	1.145
6	c. 河川などにおける環境保全や遊歩道整備	2.920	4.061	1.141
7	f. 駅周辺など商業地の緑	2.565	3.704	1.139
8	q. 広報や市ホームページなどによる緑に関する情報提供	2.521	3.658	1.137
9	a. 市全体の緑や自然環境などの豊かさ	2.923	4.007	1.084
10	l. すでにある緑地の保存	2.812	3.802	0.990
11	e. 幹線道路の街路樹などの緑	2.800	3.701	0.901
12	d. 農地の保全・活用	2.820	3.626	0.805
13	n. 市街地内の工場や事業所ビルなどの壁面や敷地の緑	2.573	3.345	0.772
14	b. お住まいの地区の身近な緑や自然環境の豊かさ	2.988	3.744	0.756
15	j. 公共施設の敷地の緑(学校・市役所等)	2.921	3.584	0.663
16	m. 庭木や生垣など身近な住宅地の緑	2.888	3.381	0.493
17	g. 社寺や古墳などの歴史的な緑	3.162	3.538	0.376

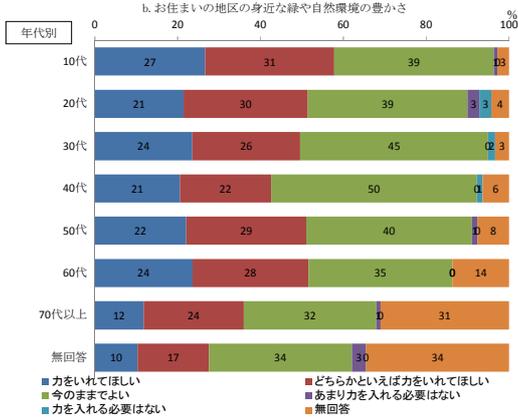
問14. 緑を守り増やしていくための重要度



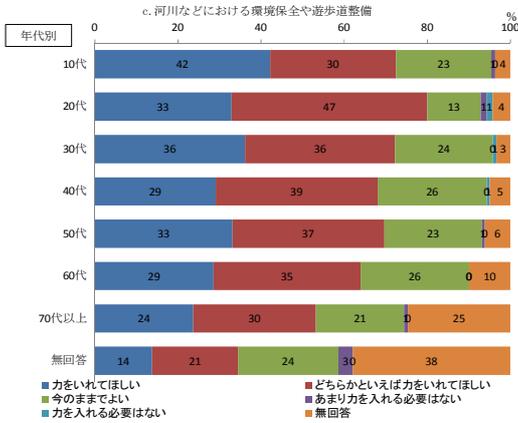
問14. 緑を守り増やしていくための重要度



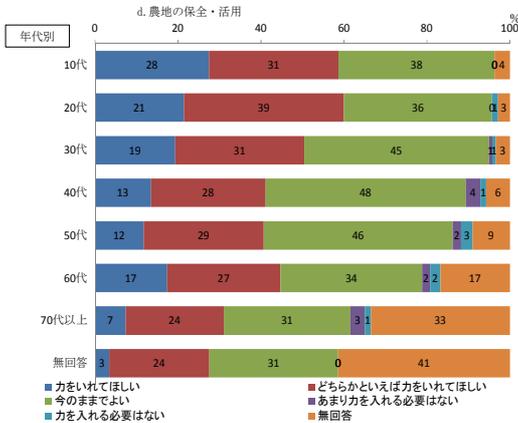
問14. 緑を守り増やしていくための重要度



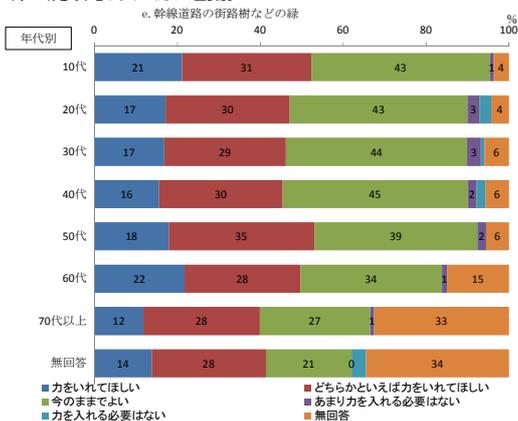
問14. 緑を守り増やしていくための重要度



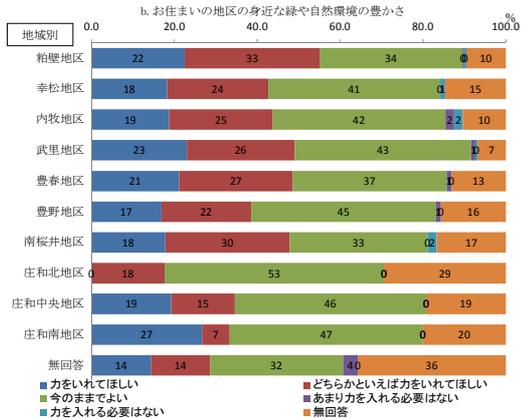
問14. 緑を守り増やしていくための重要度



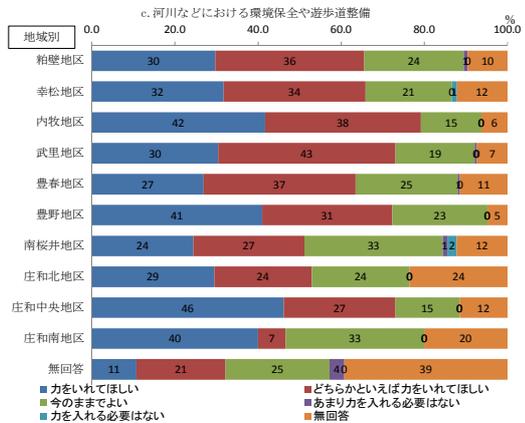
問14. 緑を守り増やしていくための重要度



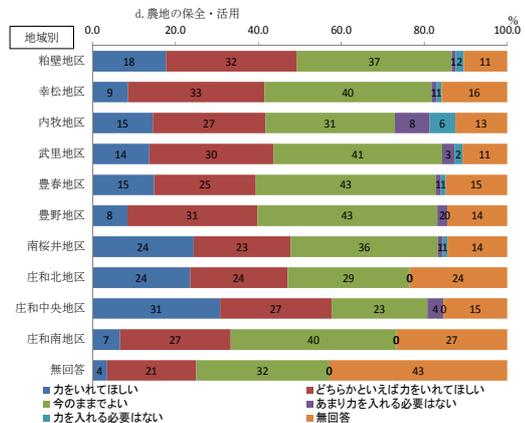
問14. 緑を守り増やしていくための重要度



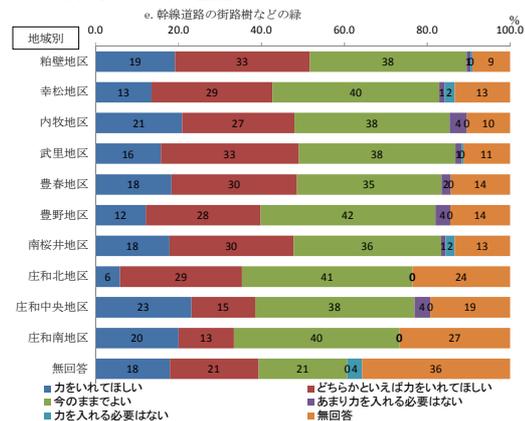
問14. 緑を守り増やしていくための重要度

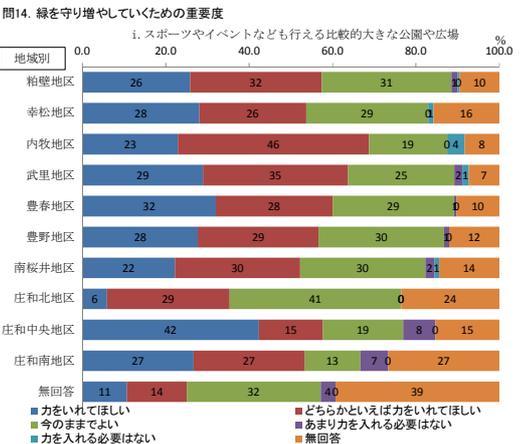
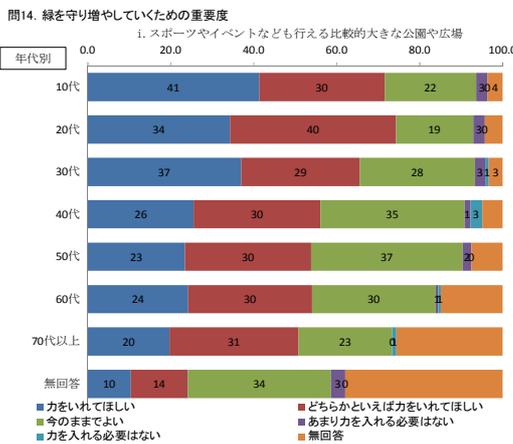
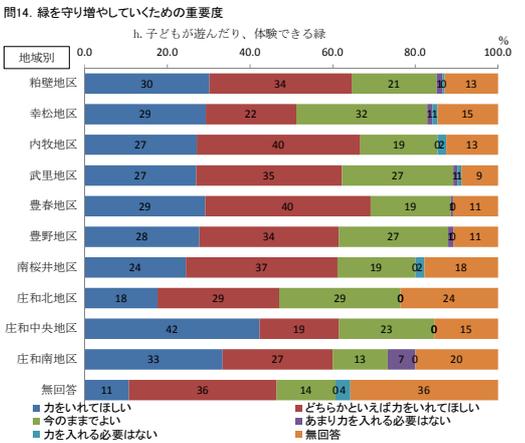
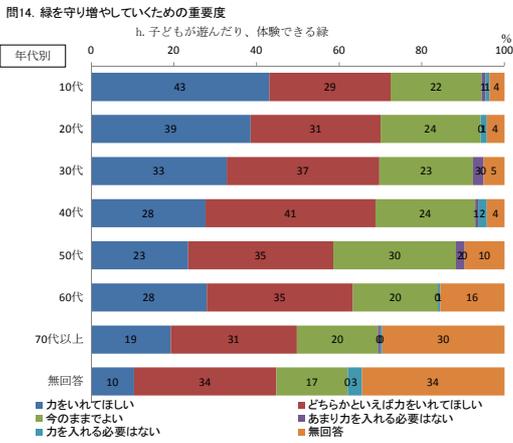
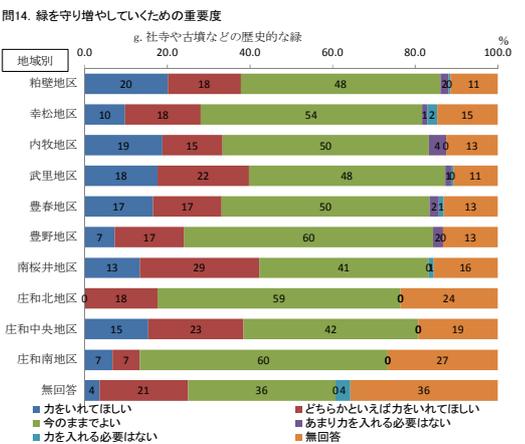
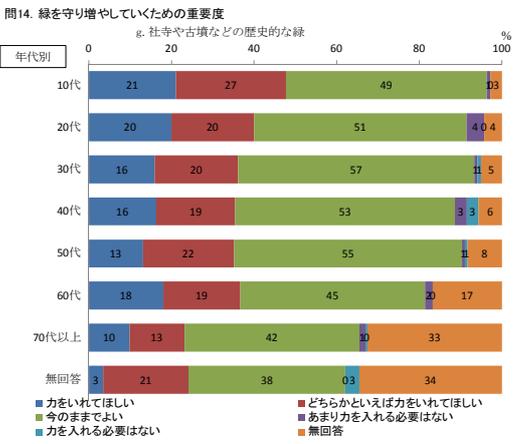
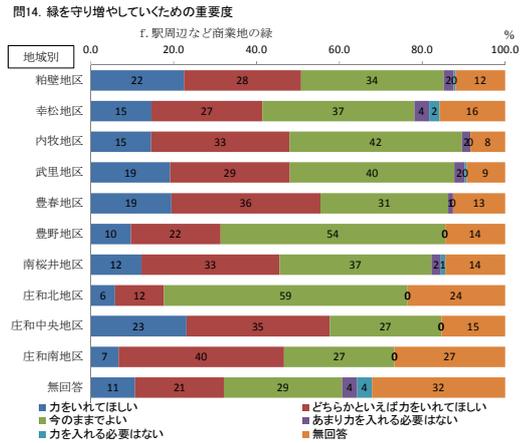
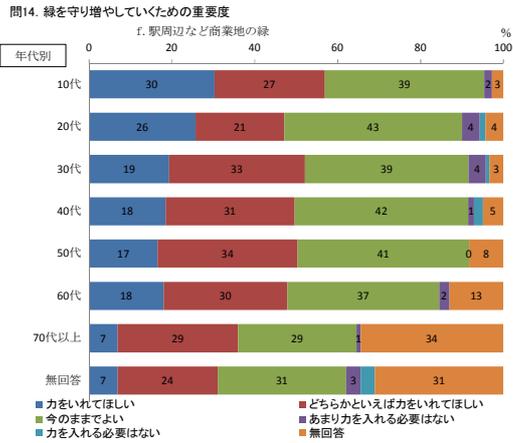


問14. 緑を守り増やしていくための重要度

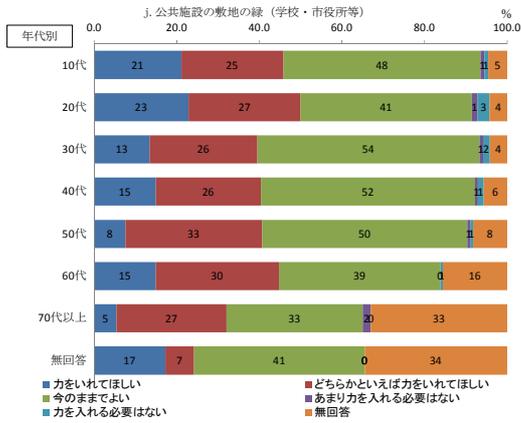


問14. 緑を守り増やしていくための重要度

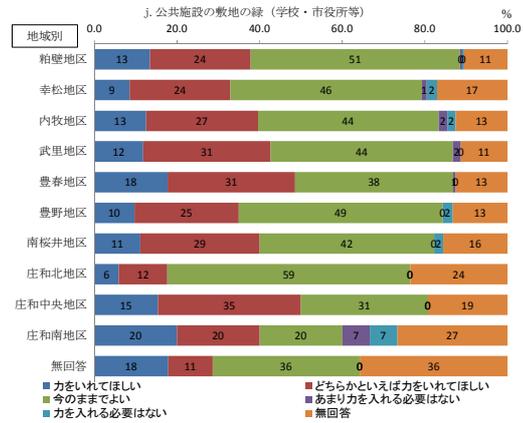




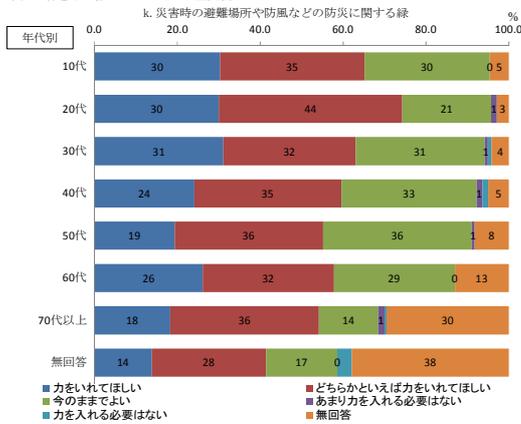
問14. 緑を守り増やしていくための重要度



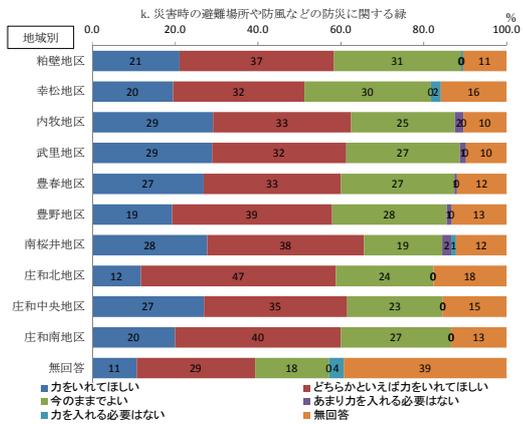
問14. 緑を守り増やしていくための重要度



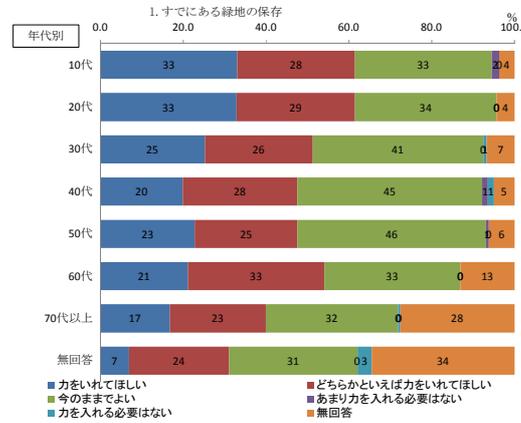
問14. 緑を守り増やしていくための重要度



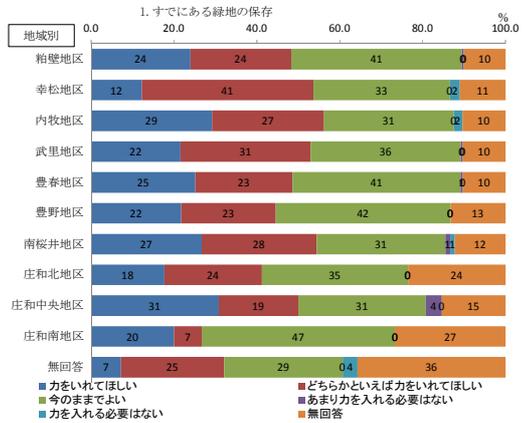
問14. 緑を守り増やしていくための重要度



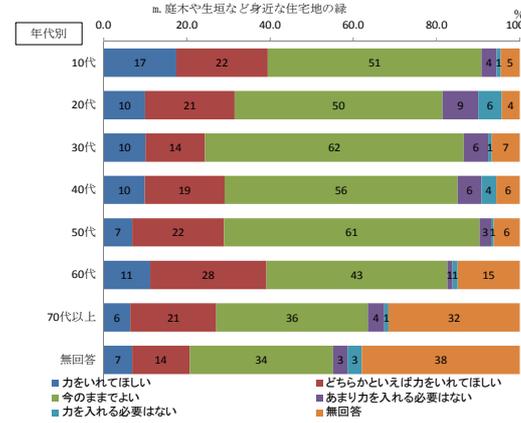
問14. 緑を守り増やしていくための重要度



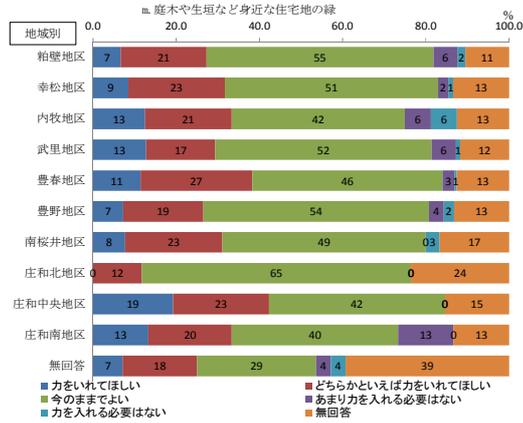
問14. 緑を守り増やしていくための重要度



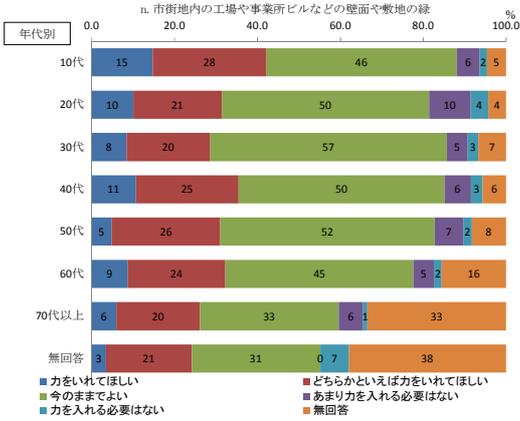
問14. 緑を守り増やしていくための重要度



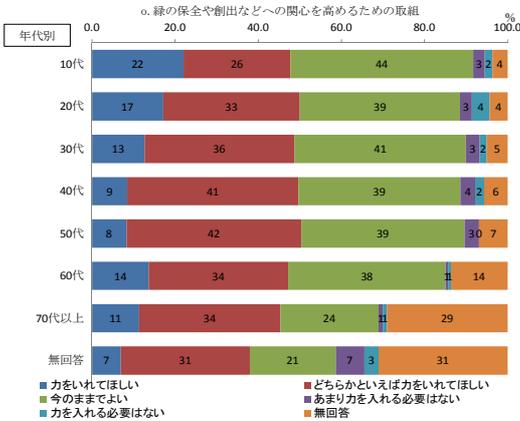
問14. 緑を守り増やしていくための重要度



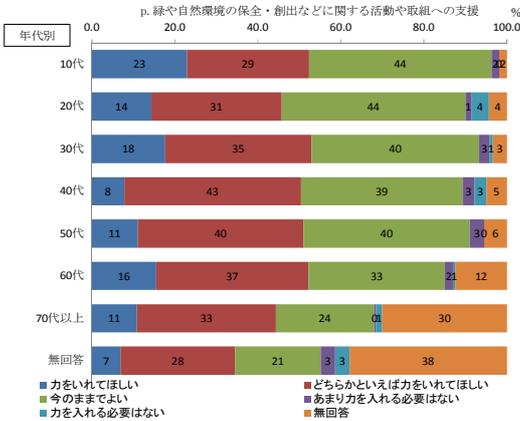
問14. 緑を守り増やしていくための重要度



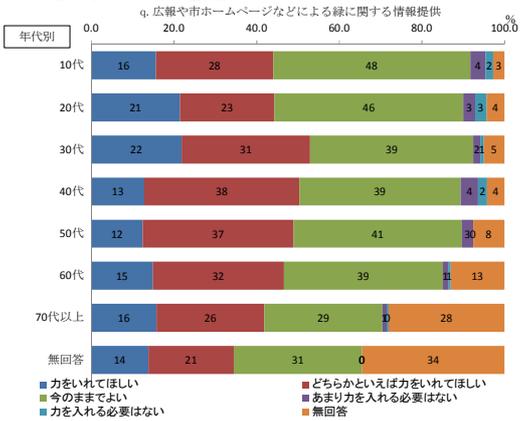
問14. 緑を守り増やしていくための重要度



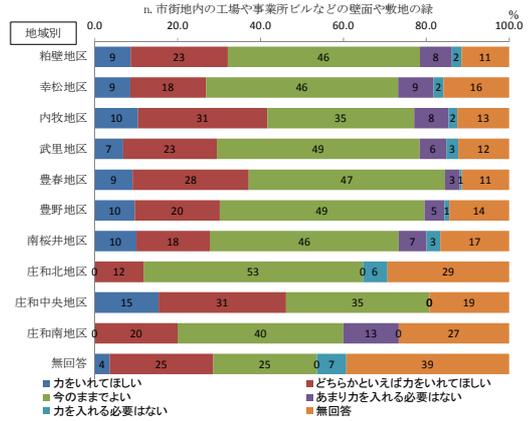
問14. 緑を守り増やしていくための重要度



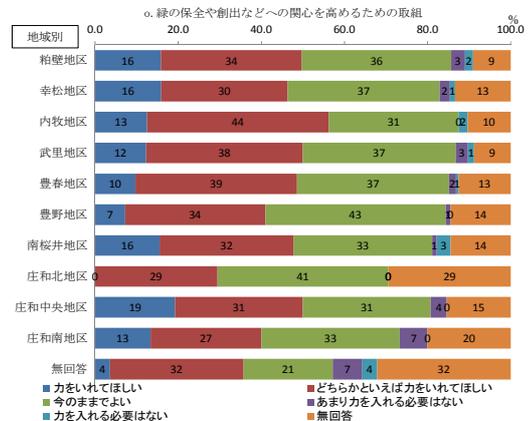
問14. 緑を守り増やしていくための重要度



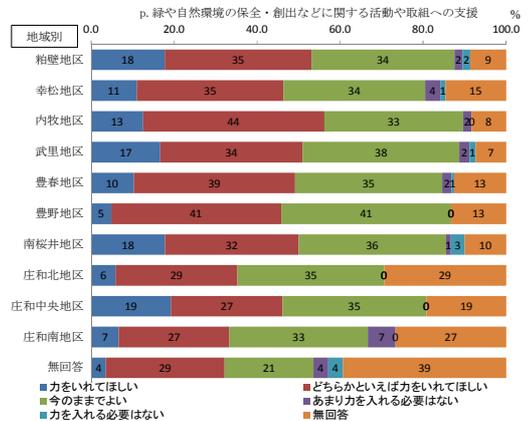
問14. 緑を守り増やしていくための重要度



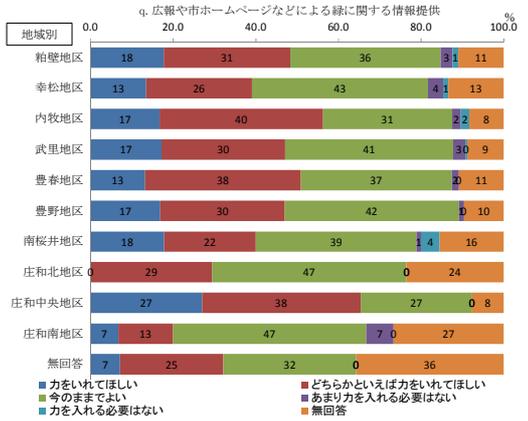
問14. 緑を守り増やしていくための重要度



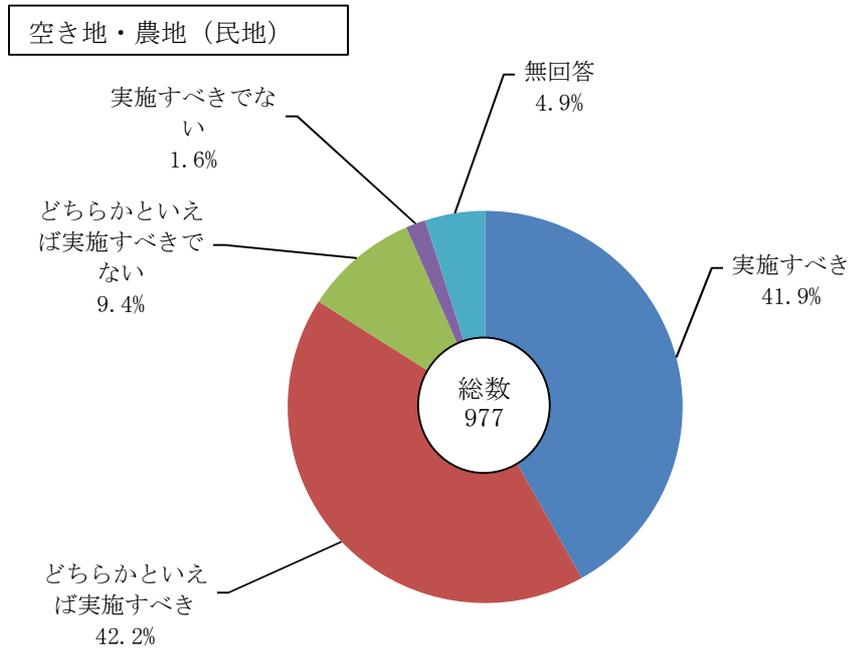
問14. 緑を守り増やしていくための重要度



問14. 緑を守り増やしていくための重要度

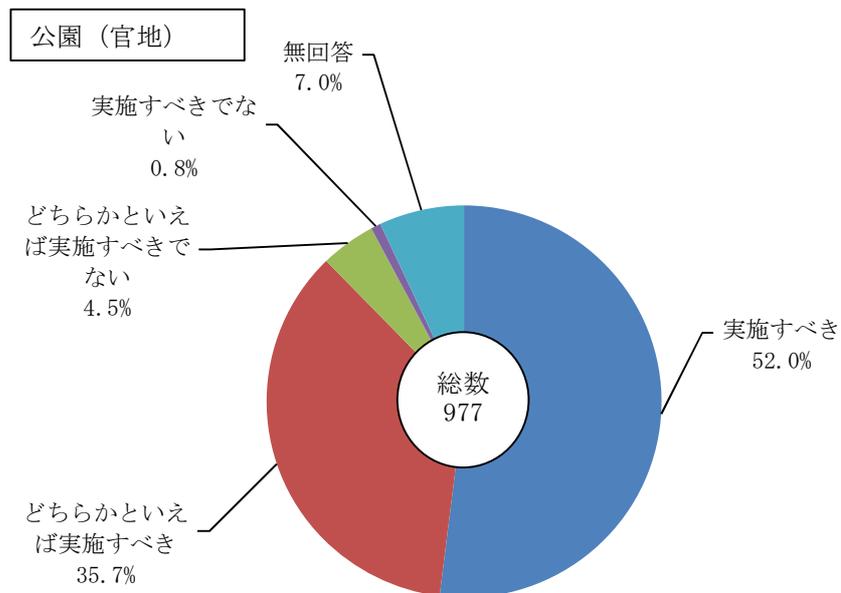


問15. 利用されていない空き地や農地、
公園などがあった場合、有効活用すべきか



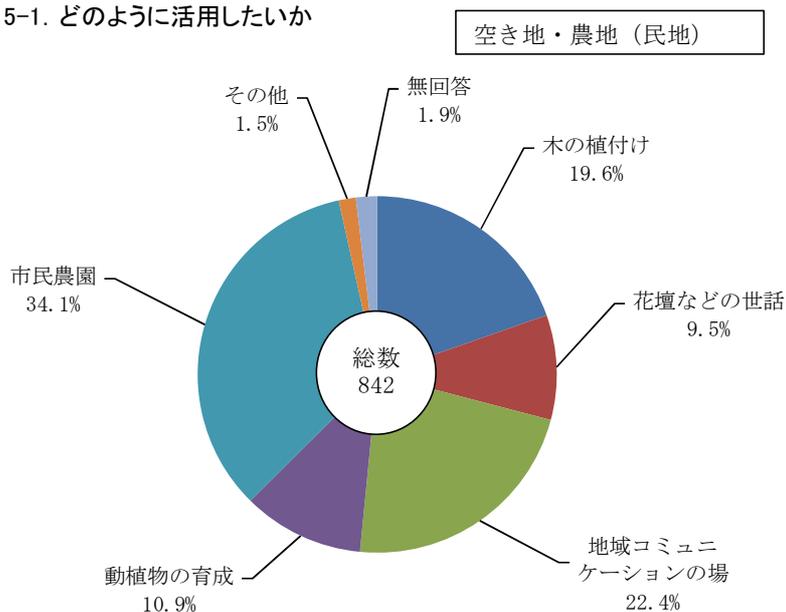
「実施すべき」、「どちらかといえば実施すべき」が約 84%であった。
空き地や農地は民地であるため、地権者と協働で有効活用していくこと必要となる。

問15. 利用されていない空き地や農地、
公園などがあった場合、有効活用すべきか



「実施すべき」、「どちらかといえば実施すべき」が約 88%であった。

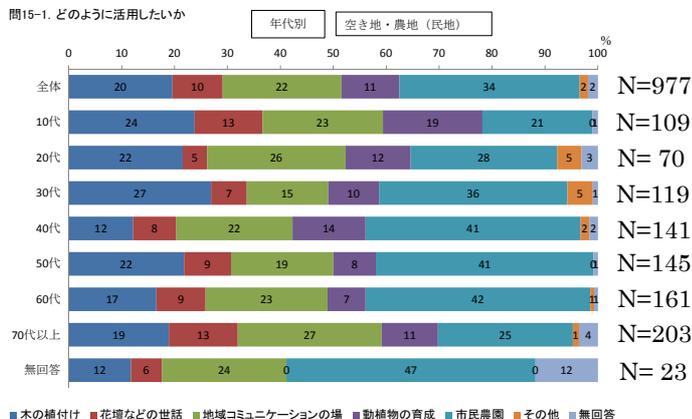
問15-1. どのように活用したいか



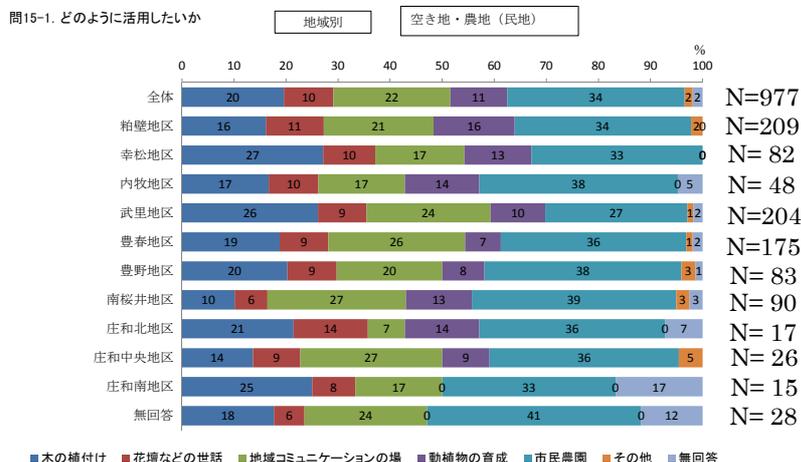
「市民農園」が約34%で最も高かった。続いて、「地域コミュニケーションの場」、「木の植付け」となっている。

民地の跡地利用については、市民農園として、子供の体験学習や地元産を使用した料理教室、高齢者は、これまでの経験を活かし、指導する立場となることで、子供と高齢者が触れ合う機会場の場づくり等を提供することにより、地域のコミュニケーションの場としても利用できる。

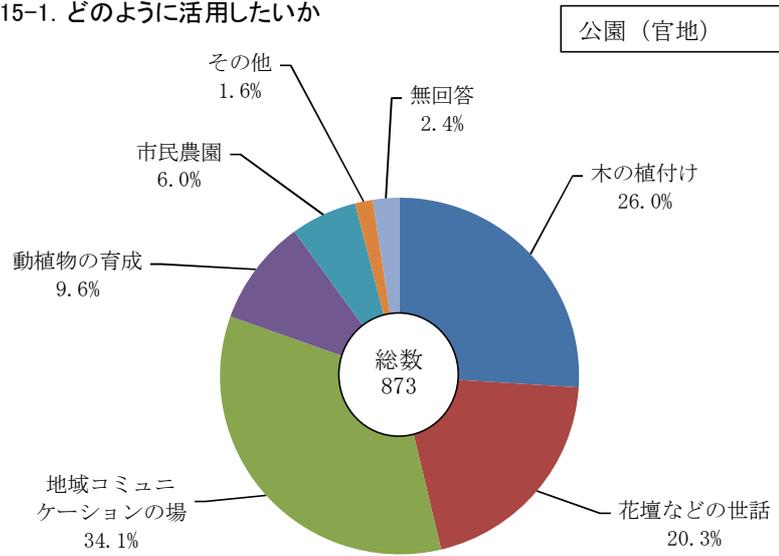
問15-1. どのように活用したいか



問15-1. どのように活用したいか



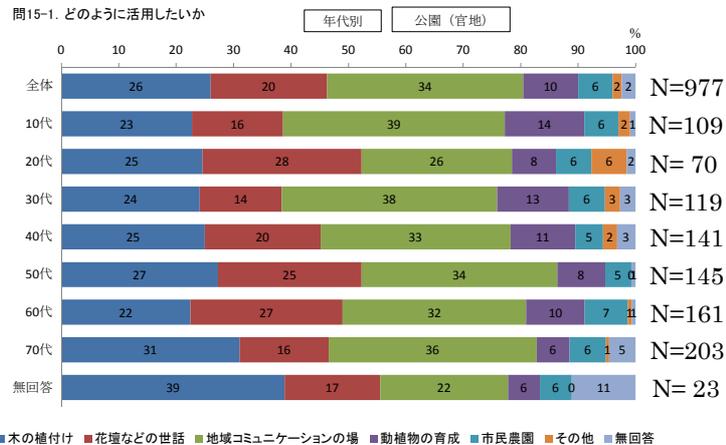
問15-1. どのように活用したいか



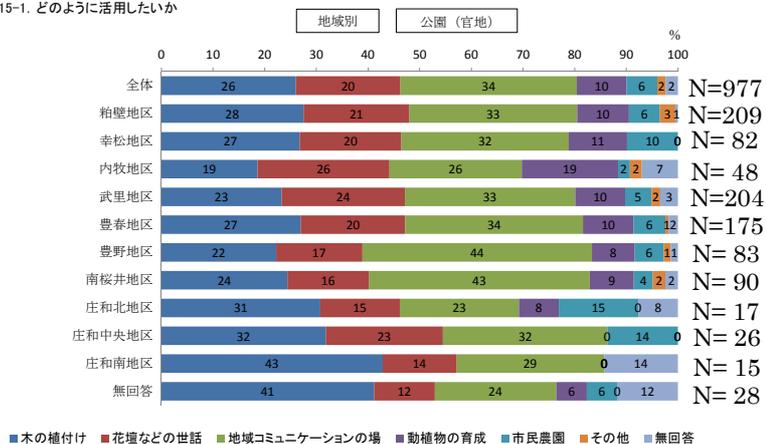
「地域コミュニケーションの場」が約34%で最も高かった。続いて、「木の植付け」、「花壇などの世話」となっている。

官地の跡地利用については、地元の意見交換会などを行い、市民ニーズに合わせた、利用しやすい環境づくりやそれに必要となる再整備を進めることが必要となる。

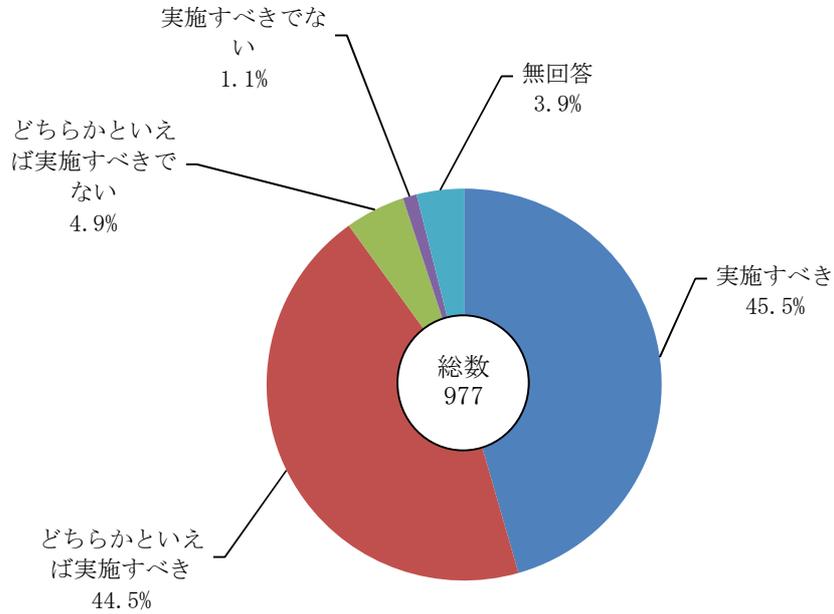
問15-1. どのように活用したいか



問15-1. どのように活用したいか

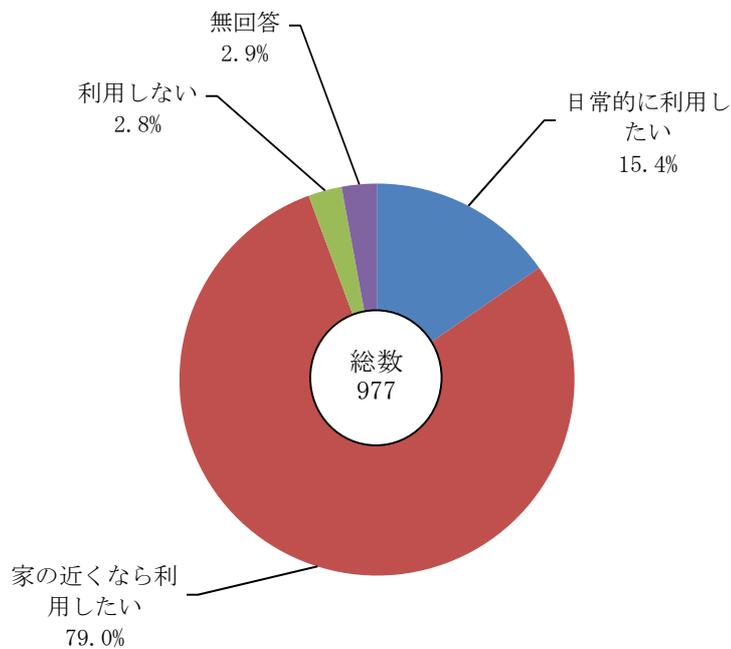


問16. 古くなった公園施設があった場合、市民のニーズ(置き換えや利用スペースなど)をとりいれ、適正な配置をするべきか



「実施すべき」、「どちらかといえば実施すべき」が約 89%であった。
公園再編などにより適切な配置を進めていく必要がある。

問17. 生産緑地地区において、農産物等の販売所やレストランなどの施設があった場合の利用



「家の近くなら利用したい」が 79%であり、「日常的に利用したい」が約 15%であった。

【自由意見】

○自由意見の総項目数と総回答数は、以下の通りである。

主な項目数	134
総回答数	615

○自由意見の総括

『春日部らしい取組みに関する自由意見』

- ・空地の利活用に関する意見が多く、市民農園として活用すべきとの声が多かった。
- ・市民参加の重要性に関する意見が多く、行政の役割としては、企業や市民間の「つなぎ役」を担うべきとの意見があった。
- ・緑の整備に関する意見については、春日部駅周辺の緑化を推進すべきという意見が多数を占めた。一方で、既存の緑の量は、十分あるため、しっかりと保全すべきとの意見も同程度あった。
- ・フジの花の植栽や保全に取り組むべきという声が多かった。
- ・公園に関する意見では、公園の用途をはっきりさせるべきだという意見があった。
- ・生活環境における緑については、一年中、楽しめるような緑を望む声が多かった。
- ・防災の意見もあったが、本設問での回答総数は少なかった。

『その他自由記載に関する自由意見』

- ・はなみずき通りやふじ通り等の道路において、「街路樹」と「通り名」がリンクしているという意見が多くあった。【良い点】
- ・樹木の枝による宅地への越境、雑草、落ち葉などで困っている近隣住民からは、そもそも緑に対するイメージが悪いという声もあった。【悪い点】

○各問の自由意見における主な項目および回答数については、以下の通りである。

問4. 日ごろ接したり目にふれる緑

No	自由意見	回答数	備考
1	野鳥が集まる庄和総合公園	1	
2	内牧地区の林	1	

問8. どのような緑を守ったり増やしたりすべき

No	自由意見	回答数	備考
3	自然に鳥が集まってくるような緑あふれる公園	1	
4	四季の移ろいを楽しめる緑	1	
5	涼しさを与える緑	1	
6	家の敷地にある木、民家の生垣	1	
7	市民の交流の場となる緑	1	
8	日陰になるような緑	1	
9	しっかり管理がなされた、整備されている緑	1	
10	宅地のなかにある緑の空間	1	
11	観光資源となる緑	1	
12	ハーブ畑（市民緑地）	1	
13	人が立ち入れる森	1	

問9. 緑の景観で今後残しておきたいと思う緑

No	自由意見	回答数	備考
14	庄和総合公園の緑	1	
15	川沿いの桜並木	1	
16	桜川小学校周辺の桜	1	
17	春日部の公園	1	
18	庄和地区の土手	1	
19	一ノ割周辺の桜並木	1	
20	江戸川の河川敷	1	

問10. あなたにとって、緑に求めるもの

No	自由意見	回答数	備考
21	美しい景観	1	
22	温暖化抑止効果	1	
23	心に安らぎを与える緑	1	
24	環境保全	1	
25	季節の変化を感じることができる	1	
26	目に優しい緑	1	
27	川遊びなど、河川と触れ合える緑	1	
28	酸素を提供してくれる緑	1	
29	災害時の避難場所	1	
30	生活の一部となってほしい	1	

問1 1-1. 緑に関する活動で「参加したい」と回答した方の参加条件

No	自由意見	回答数	備考
31	公園を自分たちできれいにする活動	1	

問1 1-2. 緑に関する活動で「良いことだが参加できない」と回答した方の理由

No	自由意見	回答数	備考
32	体調不良のため	1	
33	仕事をしているため	1	
34	高齢のため	1	
35	緑のまちづくり自体が重要とは個人的には感じないから	1	
36	小さい子供を連れては難しい	1	

問1 2. 緑のまちづくりや緑に関するイベントについての参加

No	自由意見	回答数	備考
37	農作物の販売会	1	
38	貸農園	1	
39	専門家を交えた市民向けの植物教室（四季ごと）、即売会。	1	
40	ボランティア活動	1	
41	市街地における緑の必要性・重要性を知るイベント（体験学習など）	1	
42	苗木配布があるイベント	1	
43	各家庭でできる植栽のお手入れ講座、ガーデニング講習	1	
44	子供たちが集まれるイベント	1	
45	雑草の草刈り	1	
46	生態系保全に関するイベントで、専門家の監修があるもの	1	
47	内牧公園や河川沿いのハイキング	1	
48	災害に役立つ自然が学べるイベント	1	
49	子どもの居ない家庭でも楽しめるイベント	1	
50	子供から大人まで楽しめるイベント	1	
51	昔と今の緑の状況変化を体感できるようなイベント	1	
52	植樹イベント	1	
53	イベントにするのではなく、日常の中で緑を楽しめる環境が必要	1	
54	行政主体のイベントよりも、行政は人が来る環境作りをすべき	1	
55	既存のイベント（藤まつり）を活用した取組みでよい	1	

問13. これまでに実践した活動

No	自由意見	回答数	備考
56	市の植樹祭に参加	1	
57	龍Q館まわりの植樹イベントに参加した	1	
58	市から借りた土地を花壇にした	1	
59	自宅前の道路の清掃をしている	1	

問13. これまでに実践した活動

No	自由意見	回答数	備考
60	用水路の除草を市民ボランティアで行う	1	

問15. 利用されていない空き地や農地などがあった場合、有効活用すべきか（民地）

No	自由意見	回答数	備考
61	畑を作りたい人への提供、斡旋	1	
62	一般開放し公園に（ある程度の広さがあれば）	1	

問15. 利用されていない公園などがあった場合、有効活用すべきか（官地）

No	自由意見	回答数	備考
63	アスレチック、懸垂鉄棒など、運動施設の設置	1	
64	散歩ができる遊歩道（園路）	1	

5. その他（春日部らしさの取組に関する自由意見）

(1)春日部の花、藤や桐に関する自由意見

No	自由意見	回答数	備考
65	藤の花を各公園に咲かせて、春日部らしさをPRしたらよい	1	
66	春日部市の藤をPRするため、藤の苗木配布をしたらどうか	1	
67	ふじ通りの藤、牛島の藤など、春日部市の売りとなっているものの保全	1	
68	藤をアピールできる場を提供したらよい（たとえばジャズデイなど）	1	
69	市のシンボルである藤や桐をもっと植えたらどうか	1	

(2)春日部の花、藤や桐に関する自由意見

No	自由意見	回答数	備考
70	自宅ではできないが意欲のある人が植栽活動を通して親しめる公園があるとよい	48	公園
71	緑の基本計画をもっと市民にってもらい取り組みをするべき	6	緑の基本計画
72	藤棚の藤の管理を意欲ある高齢者にボランティアとして任せたらどうか	4	ボランティア
73	個人が自分の土地以外に植樹したものを保全育成していける仕組みづくりをしてほしい	4	仕組みづくり
74	行政は、畑、運動、趣味を提供したい人、楽しみたい人をつなぐ役割を担うべき	3	役割
75	自宅で家庭菜園をやるなど、個人でもできることをやっていったらよいと思う	3	家庭菜園
76	市民参加による維持管理	2	市民参加維持管理
77	役所任せでなく、市民への意識付けが重要ではないか	2	市民への意識づけ

(3)土地活用に関する自由意見

No	自由意見	回答数	備考
78	雑草が伸び放題で放置されている空き地の活用をするとよい	3	有効活用
79	利用されていない小規模公園は、家庭菜園として活用できないか	3	家庭菜園
80	休耕地を市が管理して貸農園として活用したらどうか	1	貸農園
81	空地の公園化	1	空地

(4)防災に関する自由意見

No	自由意見	回答数	備考
82	災害時の避難場所にもなる公園の住民周知をするべき	3	災害時の避難場所の周知
83	災害発生時の一時避難場所の確保	1	一時避難場所
84	災害に強い街を緑の観点から考えてほしい	1	災害に強い

(5)整備方針に関する自由意見

No	自由意見	回答数	備考
85	栄町、北春日部駅間の道路に街路樹を	18	街路樹
86	川沿いの遊歩道整備の拡張	18	遊歩道
87	河川が多い春日部なので、まずは川をきれいに して緑を増やしていったらどうか	17	河川
88	田畑が多いところに緑が多いのは当然。市街地や 駅周辺の緑の確保が緑のまちづくりではないか	6	駅周辺
89	人目線だけでなく、他の生態系にも考慮した緑作 りをお願いする	4	生態系
90	憩いの場となるような公園がない。大公園、小規 模公園の役割を明確にもたせるべき	3	憩いの場
91	駅高架事業のときに緑をとり入れるべき	2	鉄道高架
92	都市部と田舎との住み分けができた整備をのぞむ	1	住み分け
93	春日部への来訪者にとって見所がない。駅前緑化 で町が華やかになると思う	1	春日部の見所
94	市役所の裏の公園はととてもよい環境だったため、 一刻も早い代替公園をのぞむ	1	中央町第1公園

(6)生活環境や景観に寄与する緑に関する自由意見

No	自由意見	回答数	備考
90	町通りに花があるとよい	35	花
91	四季折々の草花が公園で楽しめるるとよい	2	草花
92	ただ植えるのではなく、美観を向上させるもので あってほしい	2	美観
93	市内に緑を増やし、暑い夏でも風を感じられるよ うにしてほしい	1	風
94	自然の風を感じられるような並木を整えてほしい	1	並木
95	ふじ通りに藤以外の花を植え、藤の季節以外にも 楽しめる空間づくりを。	1	空間づくり

(7)保全に関する自由意見

No	自由意見	回答数	備考
96	桜の木は景観に寄与するものであり、できるだけ保全してほしい	39	桜
97	田畑の保全に力を入れてほしい	7	田畑
98	今ある緑は保全してほしい	5	今ある緑
99	けやき通り、ふじ通り、ハクレン通りなどの街路樹を保全し、さらにPRを	1	街路樹
100	今ある緑の施設維持管理を継続してほしい	1	今ある施設

(8)環境教育に関する意見

No	自由意見	回答数	備考
101	小中学生の課外授業を通して緑の重要性を知ってもら	3	小中学生
102	学生参加型のイベントを行い、花の種や苗木を配って教育の場としたらどうか	3	花の種、苗木
103	植物の専門家の講話を開催したらどうか	3	専門家
104	緑の重要性を伝える教育イベント	2	教育
105	施設を整備して終わりではなく、イベントなどソフト面での充実をのぞむ	1	ソフト面

(9)農地活用に関する意見

No	自由意見	回答数	備考
106	田畑の住宅化を防ぐため、市民農園にしたらどうか	4	市民農園
107	農産物直売所を公共施設に設置したらどうか	2	直売所
108	農地の持つ多面的な機能（環境、防災、学習、ふれあい）を發揮できるような取り組みを	1	多面的な機能
109	市民農園は管理者を設置し、道具や苗を揃え気軽に利用できる環境づくりを	1	環境づくり

(10)緑の担い手確保に関する意見

No	自由意見	回答数	備考
110	植物の専門職を育成。そのための予算確保	1	専門職
111	専門家（ガーデンプランナー）等、景観のプロを交えるとよいのでは	1	専門家

5. その他（自由意見）

(1)春日部の良いところ

No	自由意見	回答数	備考
112	春日部市は程よく田舎で、地産地消を実現できる土地である	1	
113	都内（大田区）と比較すると公園や緑は多いと感じる	1	
114	桜並木がきれい	1	
115	春日部はもともと緑の多い街であり、そこまで緑不足を感じていない	1	
116	牛島古川公園のひまわりや桜並木がよい	1	
117	5年以上粕壁地区に住んでいるが、緑が不足している印象はない	1	
118	春日部は四季を通りごとに感じるることができる希少なまち（ゆりのき、はくれん、はなみずき通り）	1	
119	河川近くの遊歩道、公園がドラマのロケ地となっていた。もっと使ってPRしてもらいたい	1	
120	藤通りなどの街路名と街路樹がリンクしていて素晴らしい	1	
121	出産祝いの記念樹はよい	1	

(2)春日部の悪いところ

No	自由意見	回答数	備考
122	緑自体は多いが憩いの場（公園）に緑が少ないと感じる	1	
123	空地の雑草に迷惑を被っており、緑に対するマイナスイメージがある	1	
124	ふじ通りの藤に元気がない	1	
125	田んぼや四季を感じられる植物などが消えてしまった。 都市部になくて、春日部にはあった魅力だと思う。	1	
126	ムクドリ、カラス対策がされていない	1	
127	空き地を利用した広場には何も施設がなく、子供が遊べない	1	
128	田畑の宅地化が進み寂しいと感じる	1	
129	民家の植木が管理できていないところが多い	1	
130	市街地の緑は不足している印象	1	
131	緑が不足しているとは感じない。が管理不足	1	
132	公園遊具の老朽化で遊びにくい印象。大公園だけでも管理を	1	
133	市全体では、緑は多いが、駅前が少ないと感じる	1	

(3)その他

No	自由意見	回答数	備考
134	現代社会における緑はどこか「ぜいたくなもの」に思える	1	

・自由意見一覧

問4. 日ごろ接したり目にふれる緑

通し番号	番号	意見
1	1	野鳥が集まる庄和総合公園
2	2	内牧地区の林

問8. どのような緑を守ったり増やしたりすべき

通し番号	番号	意見
3	1	家の敷地にある木等
4	2	古利根川沿いの桜
5	3	自然に鳥が集まってくるような緑あふれる公園
6	4	日陰になるような緑
7	5	しっかり管理がなされている緑
8	6	宅地のなかにある緑の空間
9	7	個人住宅地の緑
10	8	南桜井駅北口のしだれ桜(今は失われてしまった)
11	9	江戸川の河川敷
12	10	観光資源となる緑
13	11	人々の交流の場となるような緑
14	12	四季の移ろいを楽しめる緑
15	13	ハーフ畑(市民緑地)
16	14	ふじ通りのふじ
17	15	市民の交流の場となる緑
18	16	民家の生け垣
19	17	涼しさを与える緑
20	18	きれいに整備された緑
21	19	四季の移ろいを楽しめる緑
22	20	人が入れる森

問9. 緑の景観で今後残しておきたいと思う緑

通し番号	番号	意見
23	1	桜川小学校周辺の桜
24	2	庄和総合公園の緑
25	3	川沿いの桜並木
26	4	春日部の公園
27	5	桜の木
28	6	庄和地区の土手
29	7	藤通りの藤
30	8	一ノ割周辺の桜並木

問10. あなたにとって、緑に求めるもの

通し番号	番号	意見
31	1	美しい景観
32	2	温暖化抑止効果
33	3	季節の変化を感じることができる
34	4	目に優しい緑
35	5	心に安らぎを与える緑
36	6	川遊びなど、河川と触れ合える緑
37	7	温暖化抑止効果
38	8	酸素を提供してくれる緑
39	9	温暖化抑止効果
40	10	環境保全
41	11	災害時の避難場所
42	12	心に安らぎを与える緑
43	13	心に安らぎを与える緑
44	14	心に安らぎを与える緑
45	15	環境保全
46	16	環境保全
47	17	環境保全
48	18	心に安らぎを与える緑
49	19	生活の一部となってほしい
50	20	環境保全
51	21	心に安らぎを与える緑
52	22	美しい景観
53	23	心に安らぎを与える緑
54	24	緑の景観と機能
55	25	心に安らぎを与える緑
56	26	四季を感じる緑
57	27	心に安らぎを与える緑

問11-1. 緑に関する活動で「参加したい」と回答した方の参加条件

通し番号	番号	意見
58	1	高齢のため遠方だと難しい
59	2	公園を自分たちできれいにする活動

問11-2. 緑に関する活動で「良いことだが参加できない」と回答した方の理由

通し番号	番号	11-2
60	1	体調不良のため
61	2	体調不良のため
62	3	仕事をしているため
63	4	仕事をしているため
64	5	高齢のため
65	6	仕事をしているため
66	7	高齢のため
67	8	高齢のため
68	9	緑、自然はいまのご時世優先度が低いと考えるので。

問12. 緑のまちづくりや緑に関するイベントについての参加

通し番号	番号	意見
69	1	市街地における緑の必要性・重要性を知るイベント(体験学習など)
70	2	あまり興味がない
71	3	イベントにするのではなく、日常の中で緑を楽しめる環境が必要
72	4	子供たちが集まれるイベント
73	5	農作物の販売会
74	6	植樹イベント
75	7	専門家を交えた市民向けの植物教室(四季ごと)、即売会。
76	8	ウォーキングやランニングコース(武里地区にはあまりないので)
77	9	苗木配布があるイベント
78	10	行政主体のイベントよりも、行政は人が来る環境作りをすべき
79	11	各家庭でできる植栽のお手入れ講座、ガーデニング講習
80	12	ボランティア活動

81	13	植樹イベント
82	14	雑草の草刈り
83	15	既存のイベント(藤まつり)を活用した取組みでよい
84	16	生態系保全に関するイベントで、専門家の監修があるもの
85	17	内牧公園や河川沿いのハイキング
86	18	災害に役立つ自然が学べるイベント
87	19	貸農園
88	20	赤ちゃんを連れては難しい
89	21	子どもの居ない家庭でも楽しめるイベント
90	22	植樹イベント
91	23	子供から大人まで楽しめるイベント
92	24	昔(たとえば50年前など)と今の緑の状況変化を体感できるようなイベント
93	25	昔と今の緑の状況変化を体感できるようなイベント

問13. これまでに実践した活動

通し番号	番号	意見
94	1	市の植樹祭に参加
95	2	龍の館まわりの植樹イベントに参加した
96	3	市から借りた土地を花畑に
97	4	自宅前の道路の清掃

問13. これまでに実践した活動

通し番号	番号	意見
98	1	用水路の除草を市民ボランティアで行う

問15. 利用されていない空き地や農地などがあつた場合、有効活用すべきか(民地)

通し番号	番号	意見
99	1	駐輪駐車場を設置する
100	2	懸垂ができる鉄棒
101	3	遊具の設置やメンテナンス
102	4	散歩ができる遊歩道
103	5	散歩ができる遊歩道
104	6	木製アスレチックの施設を設置して自然とのふれあいを

問15. 利用されていない公園などがあつた場合、有効活用すべきか(官地)

通し番号	番号	意見
105	1	ある程度の広さがあるなら、一般開放して公園のような使い方ができるのでは
106	2	畑を作りたい人への提供、斡旋

5. その他(春日部らしさの取組に関する自由意見)

通し番号	番号	意見
107	1	植物に力を入れてほしい。 自宅ではできないが意欲のある人が植栽活動を通して楽しめる公園があるとよい
108	2	藤の花を各公園に咲かせて、春日部らしさをPRしたらよい
109	3	HPやチラシを使ったイベントPR
110	4	もっと積極的に緑化に取り組んでほしい
111	5	いまのままでよい
112	6	河川の除草をしてほしい
113	7	ゆりのき通りの緑を増やす
114	8	用水路の清掃をしてほしい
115	9	藤の花を大切に春日部らしさをアピール
116	10	まつぶし緑の丘公園のような、伸び伸びできる空間が欲しい
117	11	「1軒1本活動」をしたらよい
118	12	歴史ある古い街並みを残しつつ、今ある緑を保全することが必要
119	13	藤の保全活動に力を入れてほしい
120	14	予算が分からないので回答できない
121	15	休耕地を市が管理して貸農園に活用したらどうか
122	16	憩いの場となるような公園がないと思う。大公園、小規模公園の役割を明確にもたせるべきでは
123	17	春日部への来訪者にとって見所がない。駅前緑のデザインをよく検討してほしい
124	18	春日部の藤をもっと広げてみてはどうか
125	19	花植栽活動を積極的にやってほしい
126	20	雑草が伸び放題で放置されている空き地の活用をすとよい
127	21	子供が自然に触れ合える場所である緑は残してほしい
128	22	野鳥を守る森林を保全してほしい
129	23	クレヨンしんちゃんを活用したらよい
130	24	藤の花を増やすべき
131	25	夜間の真っ暗な街並みを改善できるよう検討してほしい
132	26	緑をもっと増やしてほしい
133	27	川をきれいにしてほしい
134	28	桜の木は景観に寄与するものであり、できるだけ保全してほしい
135	29	地元企業とタイアップした活動をしたらよい
136	30	なるべく緑は残してほしい
137	31	駅前や役所前に花壇を設置したらどうか
138	32	古くからずっと残っている春日部駅から取組みをはじめたらどうか
139	33	空き家を人が住む宅地にして、田畑を住宅地化を止めるべき
140	34	ムクドリ対策
141	35	藤の花を増やしてほしい
142	36	夜のけやき通りをライトアップしてPRしたらどうか
143	37	町通りに花があるとよい
144	38	若い人たちが住みやすい街づくりを、公園整備等で行ってほしい
145	39	緑を考える上では水(河川)もあわせて考えるべきである
146	40	市役所の裏の公園はとてよい環境だったため、一刻も早い代替公園をのぞむ
147	41	栄町、北春日部駅間の道路に街路樹を
148	42	河川が多い春日部なので、まずは川をきれいにして緑を増やしていったらどうか
149	43	市民が緑のまちづくりを知ること
150	44	春日部市中央地区には整備のいきどいた公園はないと感じる
151	45	新しく植栽するより、今ある緑の管理をしっかりしてほしい
152	46	今の取り組みをそのまま進めてほしい
153	47	自宅で家庭菜園をやるなど、個人でもできることをやっていったらよいと思う
154	48	ふじ通りの藤に元気がない
155	49	芝のグラウンドを作ったらどうか
156	50	大きな公園を整備する
157	51	川辺の並木道を整備する
158	52	日々生活している場所に花や植物があると癒される。豊春地区にも藤の花を増やしてほしい
159	53	自然の豊かさで季節を感じられる場所がほしい
160	54	緑の基本計画をもっと市民にってもらう取り組みをするべき
161	55	身近な緑がある町にしてほしい。
162	56	夏の暑い日に休める木陰を作ってほしい
163	57	避難場所としての緑地エリアの確保

164	58	市民参加による維持管理
165	59	植栽活動を、地域住民参加のイベントとして、樹木選定から植樹するのはどうか
166	60	限られた予算の中、コストをかけない緑化の取り組みが必要
167	61	取組においては、生態系(とくに鳥)との関係を考えてほしい
168	62	幅広い世代が参加できる取り組みをのぞむ
169	63	古利根川沿いの除草をして春日部が誇れる川沿いにしてほしい
170	64	人が集まる場所の緑地には行き届いた管理を、いっぽうでつかずの自然も大切と考える
171	65	農地や空き地の有効活用、遊具や広場として活用したらよい
172	66	庄和中央地区には、小学生が遊べる公園が少ないので、新しく作ってほしい
173	67	市民参加による維持管理
174	68	役所任せでなく、市民への意識付けが重要ではないか。市民農園の活動を試みたらどうか
175	69	自然のままの緑を残す、再生する空間(ビオトープのような)があるとよい
176	70	個人が自分の土地以外に植樹したものを保全育成している仕組みづくりをしてほしい
177	71	学生参加型のイベントを行い、花の種や苗木を配って教育の場としたらどうか
178	72	有名キャラクターをPRに使うのはどうか
179	73	地域の公園は増やさなくてよい。管理が行き届いていないので
180	74	公園清掃、美化活動と出店イベントをセットで行い、緑の維持活動を推進したらどうか
181	75	今ある緑は保全してほしい
182	76	緑のまちづくりよりも、今の緑の維持管理に力を入れてほしい
183	77	ふじ通りの藤を成長させ、藤まつりでPRを
184	78	春日部に今ある良さや特産物を生かした取り組み
185	79	樹木の名前を冠した通りにちなんだ街路樹の育成
186	80	春日部の藤を前面に押し出してPR
187	81	武里地区は、田んぼが宅地に変わり緑が減少している
188	82	河川沿いの桜、藤の花を保全してほしい
189	83	空地の所有者に定期的な除草をさせるような指導を市が行うとよい
190	84	クレヨンしんちゃんを活用したらよい
191	85	積極的に市民ボランティアを募る
192	86	市民農園は管理者を設置し、道具や苗を揃え気軽に利用できる環境づくりをしたらハードルが下がるのでは
193	87	積極的に市民ボランティアを募る
194	88	公園の植樹を積極的にを行い、木陰をつくるべき
195	89	小さい子供たちの遊び場を作してほしい
196	90	人を集めるレベルの緑の整備をしてほしい。ふじ通りもいま魅力に欠けると感じる
197	91	都市部は都市部、田舎は田舎らしく、住み分けのできた整備をのぞむ
198	92	高架事業に伴い春日部駅にも緑を取り入れるのはどうか
199	93	田畑の住宅化を防ぐため、市民農園にしたらどうか
200	94	駅前周辺について、緑化による景観向上を。
201	95	集客力のある、観光名所になるような場所がほしい
202	96	農産物直売所を公共施設に設置したらどうか
203	97	人目緑だけでなく、他の生態系にも考慮した緑作りをお願いする
204	98	間髪に緑を創出するのではなく、一つテーマを決めて取組んでみてはどうか
205	99	市民が気軽に参加できる取り組み
206	100	江戸川区にあるようなフラワーガーデンがあるとよい
207	101	ふじ通りの藤を手入れして、市のPRに活用したらよい
208	102	街路樹管理を地元へ委託するなどの維持管理の仕組み作り
209	103	公園にもっとふじをたくさん植えてほしい
210	104	住宅地内の公園整備
211	105	自然の豊かさを前面にアピールしてほしい
212	106	新興住宅地にも緑を確保すべき
213	107	今現在ある緑(木や花)を守っていくことも重要
214	108	空地が目立つので、公園等にできないか
215	109	遊歩道や景観を整備し、地元以外の人にも緑に触れ合う機会を与えられるようにしたらよい
216	110	藤棚を推していくのはよいと思う。下からライトアップして夜間も楽しめるような工夫を
217	111	街路樹をおしゃれに。また説明書きの名板を付けたら興味をもってもらえるのでは
218	112	ふじ通りの藤を手入れして、市のPRに活用したらよい
219	113	大通りの街路樹は市の顔であり、力を入れてほしい
220	114	行田市の田んぼアートのような、地域協業で地元が楽しめるような施策を期待する
221	115	市外の人からも興味をもってもらえるような緑の創出
222	116	四季折々の草花を植える活動
223	117	校庭の芝生化
224	118	グラウンド脇への植樹を行い、木陰を作れば、より利用しやすい場所になるのではないか
225	119	春日部駅周辺は緑が少ないので、力を入れるべき
226	120	今後ますます猛暑になることが見込まれるため、木陰を提供できる緑など、環境に配慮した取組みにすべき
227	121	藤の花をもっと植えてほしい
228	122	老朽化公園が目立つ。そういった公園を再整備するとかいのは
229	123	災害時の避難場所にもなる公園の住民周知をするべき
230	124	緑のまちづくりについて、活動内容をHP等でPRしたらよいと思う
231	125	子供向けの公園を増やしてほしい
232	126	街路樹は維持費がかさみ、さらにムクドリ問題の要因となるので、低木で十分なのでは
233	127	藤棚は季節外にもなかに活用できないか
234	128	商業施設にある緑地について管理指導する仕組みづくり
235	129	散歩コースがある公園があるとよい
236	130	春日部＝藤になるような観光名所があるとよい
237	131	16号沿いに緑豊かな道の駅をついたらどうか
238	132	子供たちに遊びを提案するプレイリーダー制度をつくとよいのでは
239	133	遊歩道の整備
240	134	市役所、病院等の公共施設緑化
241	135	生態系に配慮した緑のまちづくり
242	136	高齢化が進んでいるので、公園に散歩コースを設置してほしい
243	137	川を利用したホテルの鑑賞会
244	138	管理を視野に入れた公園整備をのぞむ
245	139	農地を活用してほしい。市民農園
246	140	一日中楽しめるような総合公園
247	141	自然の風が感じられるような並木を整えてほしい
248	142	小中学生の課外授業を通して緑の重要性を知ってもら
249	143	空地の公園化
250	144	公園に魅力的な遊具を増やし、子供を集めて緑に触れさせることが重要と考える
251	145	子供が遊べるようなアスレチック、散歩やウォーキングコースがある公園がほしい
252	146	災害に強い街を緑の観点から考えてほしい
253	147	民間商業施設の屋上緑化
254	148	街中に季節の花を植えて、華やかな街並みをつくるとよい
255	149	今ある公園の再整備
256	150	防災機能を有する緑の整備をのぞむ
257	151	健康フームなので、健康遊具を設置することで公園への集客が見込めると思う

258	152	若い人の意見を取り入れた施策を
259	153	空地の有効活用
260	154	新規開発における緑化指導(生け垣や樹木植栽の義務化など)
261	155	生垣助成金の仕組みづくり
262	156	実が食べられるような木を植えれば、緑地に対する親しみがわくのでは
263	157	ウォーキングコースの整備
264	158	空地を利用した公園整備
265	159	公園に緑を増やすことで木陰を提供できる
266	160	河川沿いの空間に緑を増やしてほしい
267	161	自治会活動として空地で農業活動/農家との交流/無人野菜販売所の設置をする場合に助成金制度を
268	162	田園風景と一体化した自然を創出してほしい
269	163	公園内に花が咲く木を植えてほしい
270	164	駅前ロータリーの緑化をのぞむ
271	165	グラウンド内に植樹して夏場の木陰としてほしい
272	166	計画を進める上では周辺住民の合意形成を
273	167	街づくりの知識経験が豊富な高齢者が気軽に参加できる催しを実施したらどうか。
		高齢者のいきがい発見にもつながる
274	168	昆虫採集、魚釣りができるような場所があるといい
275	169	住宅地とのバランス、共存を
276	170	既存の木を保全する
277	171	四季折々の草花が公園で楽しめるとうい
278	172	大枝公園のような子供が喜ぶ設備のある公園を増やすべき
279	173	駅前の緑化を推進すべき
280	174	開発に伴う緑化の義務化
281	175	庁舎の緑化
282	176	公園内で、緑に関するイベントを開催してほしい
283	177	庄和地区に力を入れて取組んでほしい
284	178	近隣の景観公園(まつぶし、しらこぼと、権現堂、加須)と比べると物足りない。
285	179	一日中楽しめるような総合公園を
286	180	植物の専門職を育成。そのための予算確保
287	181	土地は限られているため、壁面や屋上緑化を活用するとういのは
288	182	民地の木は、各所有者が責任をもって管理するように指導を徹底して、きれいな緑を整備すべき
289	183	利用しやすい公園(大規模な公園)でコミュニティの輪を広げてほしい
290	184	都心に住んでいる人が、日帰り小旅行の感覚で行きたくなる空間の創出を
291	185	内牧地区の田畑の保全と、それに伴う生態系の保全
292	186	専門家(ガーデンプランナー)等、景観のプロを交えるとういのは
293	187	各町会で有志を募るなど、地元活力を使ったらよいのでは
294	188	駅前の緑化を推進すべき
295	189	春日部は川のまち、川沿いの緑化に力を入れるべき
296	190	子供たちが花植え等を通して自然と触れ合う場を提供するとうい
297	191	公共施設の緑化
298	192	駅前西口に花を植えて賑やかにしたらどうか
299	193	大人や子供みんなで自然に触れ合える行事があるとうい
300	194	田畑の宅地化が著しい。緑地を保全するための生垣等緑化奨励金制度を推進すべき
301	195	他市で、学校の校庭が全面芝のところがある。春日部市でも実施できないか
302	196	市街化区域だけでなく調整区域にも街路樹の整備を
303	197	地元ボランティアを利用したらよい
304	198	藤のまち春日部をアピールするため、藤の保全に力を入れるべき
305	199	高齢者が安心してウォーキングできる木陰のある遊歩道を整備すべき
306	200	ただ植えるのではなく、美観を向上させるものであってほしい
307	201	春日部市の藤をPRするため、藤の苗木配布をしたらどうか
308	202	ふじ通りの藤、牛島の藤など、春日部市の売りとなっているものの保全
309	203	藤をアピールできる場を提供したらよい。たとえばジャズデイなど
310	204	田畑の保全に力を入れてほしい
311	205	越谷レイクタウンのような、公園と商業施設が複合した施設があるとうい
312	206	市のシンボルである藤や桐をもっと植えたらどうか
313	207	藤棚の藤の管理を意欲ある高齢者にボランティアとして任せたらどうか
314	208	今ある緑の施設維持管理を継続してほしい
315	209	川沿いの遊歩道整備の拡張
316	210	除草の一環として、花や樹木の植栽もやったらよいと思う
317	211	利用されていない小規模公園は、家庭菜園として活用できないか
318	212	遊歩道の整備
319	213	駅前ロータリーの緑化をのぞむ
320	214	空地の公園化
321	215	田畑が多いところに緑が多いのは当然。市街地や駅周辺の緑の確保が緑のまちづくりではないか
322	216	街路樹の緑を増やすべき
323	217	芝生を使った公園を増やしてほしい
324	218	行政は、畑、運動、趣味を提供したい人、楽しみたい人をつなぐ役割を担うべき
325	219	春日部の売りである藤の花に集中した施策を行い、観光客の呼び込みを
326	220	空地の緑化
327	221	藤の花を増やす
328	222	ふじ通りに藤以外の花を植え、藤の季節以外にも楽しめる空間づくりを。
329	223	利用頻度が少ない公園など、市民に植栽など整備を任せてみてよいのでは
330	224	利用されていない私有地を畑にし、誰もが参加できる芋ほり体験等を企画したらどうか
331	225	空地の有効活用。所有者と情報連携を密に。
332	226	春日部らしさにとらわれず他市も参考に
333	227	河川や公園、商業施設との連携
334	228	遊歩道整備
335	229	駅前の緑化
336	230	駅中心部以外は管理されていない緑。管理の徹底を
337	231	駅入り口付近に街路樹を植え、街道に春日部らしい特色を
338	232	施設を整備して終わりではなく、イベントなどソフト面での充実をのぞむ
339	233	防災のための公園整備
340	234	住宅を建てる際に緑を減らさないしくみづくり
341	235	公園と一体感のある庁舎をのぞむ
342	236	春日部は藤で有名なので、イベント時に藤の苗を無料配布したらどうか
343	237	駅前アンケートを実施して、春日部市外の人の目線も参考にするとよい
344	238	植物の専門家の講話を開催したらどうか
345	239	川や水路が多いので、それを生かしたまちづくり
346	240	手のかからない低木をメインに植栽したらどうか
347	241	しらこぼとや緑の丘公園のような芝生のある公園整備をのぞむ
348	242	緑の多い公園を増やし、夏場も自然の涼しさを感じられるようにしたらよいと思う
349	243	駅周辺の緑化
350	244	中川沿いの整備を。遊歩道など

351	245	大規模な花畑があるような公園で集客を
352	246	今ある緑を大事にするべき。管理のいきとどいたきれいな公園を維持してほしい
353	247	藤の保全
354	248	都市化と緑地化をバランスよく進めてほしい
355	249	藤棚の保全
356	250	体験学習を通して自然に触れ合う機会を設けてはどうか
357	251	藤まつりを通してふじをもっとPRしたらよい
358	252	田んぼが多いので、田んぼアートなどを実施してみたらどうか
359	253	屋上庭園の整備
360	254	緑の重要性を伝える教育イベント
361	255	新庁舎への緑地整備
362	256	駅前立体交差事業時に藤や桐をきれいに植栽してほしい
363	257	緑の基本計画をもっと市民にってもらい取り組みをするべき
364	258	植栽の見栄えをよくして、どこを見ても気持ちよくなるような街をつくってほしい
365	259	河川沿いのサクラの樹を今後も管理してほしい
366	260	駅前立体交差事業時に緑をいっぱいにしてほしい
367	261	緑の基本計画をもっと市民にってもらい取り組みをするべき
368	262	ランニングができる林間コースをつくってほしい
369	263	駅前の藤棚を今後も維持管理してほしい
370	264	駅前に子供が遊べる公園をつくってほしい
371	265	花植えを行い、皆が集いなくなるような場の創出を
372	266	事前の多い大きな公園を整備してほしい
373	267	緑の基本計画をもっと市民にってもらい取り組みをするべき
374	268	四季を感じられる緑をPRしたらどうか
375	269	ドッグラン設置の検討
376	270	今回のアンケートのように、市民と協力しながら計画をすすめていくべき
377	271	藤の花の保全
378	272	近隣他市町村まで繋がる遊歩道整備
379	273	樹木をただ植えるのではなく、植樹日をプレートに書いて育てれば親しみがわくのでは
380	274	駅高架事業のときに緑をとりいれるべき
381	275	中央町第一公園の代替公園を
382	276	自転車道や遊歩道と、それに伴った並木の整備
383	277	植木でかたどったクレヨンしんちゃん像のようなものを作って名物にしてはどうか
384	278	緑の基本計画をもっと市民にってもらい取り組みをするべき
385	279	広い芝生のある広場があるとよい
386	280	災害発生時の一時避難場所の確保
387	281	都市化と緑地化をバランスよく進めてほしい
388	282	古利根川沿いの桜並木の整備を
389	283	内牧地区のような緑が多いところに緑の重点を置くことよいのでは
390	284	空き家を緑にしたらよいと思う
391	285	グラウンドに植樹して日陰をつくってほしい
392	286	多くの人利用する駅の周りに花や木を植えることで、生活の中に緑がふえ町も華やかになると考える
393	287	子供たちがボール遊びできるような場所をつくったらどうか
394	288	ムクドリや雀が分散して住めるような緑の整備を
395	289	できるところから始めるべきであり、管理の不十分な場所の草刈り等を徹底してほしい
396	290	自然豊かなまちなので、景観を意識した整備を行って観光資源としてほしい
397	291	農地の持つ多面的な機能(環境、防災、学習、ふれあい)を発揮できるような取り組みを
398	292	越谷市では、産業祭の場などで、行政が自然との調和をアピールしていた。同じようなことをやってみたらどうか
399	293	権現堂や緑の丘公園のような手入れの行き届いた公園を
400	294	緑のまちづくりについての情報発信を積極的に
401	295	けやき通り、ふじ通り、ハクレン通りなどの街路樹を保全し、さらにPRを
402	296	河川沿いの桜並木遊歩道がよい
403	297	一日中遊べて、ウォーキングなど運動ができる公園。春日部の農産物直売所もあるとよい
404	298	藤や桐の花をもっとうえたらよい
405	299	庄和総合公園と道の駅庄和を統合したような複合施設があるとよいのでは
406	300	クレヨンしんちゃんにでてくる公園を模した施設をつくり、他市町村から人を呼び込みを
407	301	春日部の農産物を食べられる食事施設
408	302	内牧に残存する樹木は貴重。市が買い取るなどで保全すべき
409	303	駅を中心とした街づくりが重要なので、緑化も駅周辺を重点にしたらよい
410	304	国道の並びに街路樹をつけたり、騒音抑止などに効果があつてよいのでは
411	305	子育て支援の手厚さを売りにしているのならば、子供向けの利用しやすい公園を整備してほしい
412	306	緑を増やし、暑い夏でも風を感じられるようにしてほしい
413	307	中央町第一公園の代替公園を
414	308	市役所の緑化
415	309	河川沿いに休憩ができるような場所をつくる
416	310	古利根川沿いは桜だけでなく、四季折々の花が楽しめるようにしたらよい
417	311	緑が管理されていない場所は危険。安全、安心なまちを
418	312	空地が放置されているところを有効活用して、家庭菜園にして意欲のある人に貸したりしたらどうか
419	313	牛島の藤は知名度が低い。PRを強化するとよい

5. その他(自由意見)

通し番号	番号	意見
420	1	災害などに耐えうる樹木を選定するとい
421	2	ムクドリ対策をしてほしい
422	3	河川沿いの除草が定期的を実施されてよい
423	4	一日過ごせるような、緑の多い大きな公園が欲しい。
424	5	野鳥など生物が暮らしやすい自然のある町にしてほしい
425	6	ムクドリ対策をしてほしい
426	7	野田市(落ち葉を集め堆肥にし、無料配布する等)、考えてほしい
427	8	中途半端な緑が点々とあるより、施設と併合したようなまとまった緑が良い
428	9	緑についてしっかり考えてほしい
429	10	緑の構想をよく練ってほしい。役割に即した緑の配置をお願いしたい
430	11	空き地を利用した広場には何も施設がなく、子供が遊べない
431	12	個人宅や田んぼが多いが、市として緑化に取り組んでいるとは感じられない
432	13	街路樹や河川沿いの花は、心に安らぎを与えてくれるものであり満足している
433	14	緑は少なく感じる
434	15	市内の植木は整理されてないように感じる
435	16	景観に緑は確かに必要だが、後の維持管理も考えるべき
436	17	河川敷の桜を保全してほしい
437	18	駅周辺に緑を増やしたらよいが、ムクドリ対策は事前検討すべき
438	19	雑草が多い
439	20	古利根川沿いに桜をもっと植えたらどうか。植えた桜の保全も
440	21	街路樹のハナミズキは色バランスが悪い
441	22	人の多い場所に緑が少ない
442	23	緑が雑然としており整備されていない

443	24	ふじ通りの藤は咲き終わった後の楽しみがあるとよい
444	25	空地に整備した農園を開放し、農作物を販売したらどうか
445	26	内牧のサイクリングロードに季節を代表する花を植えてみたらよい
446	27	ウォーキングやランニングできる公園があるとよい
447	28	今ある樹木を大切に、極力伐採は避けるべき
448	29	南桜井地区の家の近くには公園があり、緑は多いと感じる
449	30	上沖小学校前の通りの桜がきれい
450	31	ふじ通りの藤を大切に保ちたい
451	32	豊春地区近所には緑を感じられるところがない。公園がある地区に限られている
452	33	ふじ通りの藤に元気がない
453	34	ムクドリ、カラス対策
454	35	駅から藤柳まで、大塚家具跡地が殺伐としている。緑でよい雰囲気づくりをしたらどうか
455	36	都内(大田区)と比較すると公園や緑は多いと感じる
456	37	駅前広場にきれいなシンボルツリーを植えるとよい
457	38	南桜井駅周辺に緑が不足していると感じる
458	39	管理がなされず放置された空地
459	40	休日に憩える公園整備をのぞむ
460	41	内牧地区の公園の老朽化が目立つ
461	42	公園の樹木の伐採により木陰が失われている
462	43	緑自体は多いが憩いの場(公園)に緑が少ないと感じる
463	44	内牧公園への交通アクセスが不便。利用者を増やす方法を検討してほしい
464	45	大きな樹木が残るだけの公園は必要だろうか
465	46	関西から移住してきたが、川沿いの桜はとても良いと感じる
466	47	ふじ通りの藤が弱っている
467	48	古利根川に毎年咲く桜が楽しみ
468	49	武里地区は、田んぼが宅地に変わり緑が減少している
469	50	空地の雑草に迷惑を被っており、緑に対するマイナスイメージがある
470	51	緑の基本計画により、緑が広がっていくことを期待する
471	52	散歩、ランニングができる公園がない
472	53	さいたま市、越谷市と比較すると市民目線の考えが足りないと思う
473	54	粕壁地区で、徒歩園内にある公園が住宅になって、子供の遊び場がなくなってしまった
474	55	中央町第一公園の代替公園がほしい
475	56	生垣は、高すぎると交通の支障になるケースもある
476	57	雑草が伸び放題で利用されていないような場所が見受けられる
477	58	遊歩道周りの維持管理をしっかりとしてほしい
478	59	現代社会における緑はどこか「ぜいたくなもの」に思える
479	60	桜並木がきれい
480	61	河川沿いや公園周りの桜が美しい景観に寄与している
481	62	中央町第一公園の代替公園がほしい
482	63	屋敷林が減ってしまった
483	64	木陰が少なく感じる
484	65	武里地区は街中に花が少ない
485	66	日頃の維持管理が行き届いていないと感じる
486	67	谷中公園の遊具が無くなってしまい残念
487	68	旧倉松公園は維持管理がなっていない
488	69	河川沿いの雑草がひどい
489	70	田畑の宅地化が進み寂しいと感じる
490	71	春日部はもともとの緑の多い街であり、そこまで緑不足を感じていない
491	72	ふじ通りやけやき通りは他市に比べても見劣りしないものだと思う
492	73	東口には大きな木はあるが、景観として美しくない
493	74	ふじ通りの藤が弱っている
494	75	維持管理されていない空地が目立つ
495	76	東口駅前の緑が美しくない
496	77	中央町第一公園の代替公園がほしい
497	78	管理がなされていない現状の緑にはいい印象を受けない
498	79	街中のきが減っていると感じる
499	80	雑草の手入れをやってほしい
500	81	落ち葉や雑草などを近隣で見かけると、緑に対して悪い印象を持ってしまう
501	82	道路の根上がり気になる
502	83	鳥対策で木を切るのは景観を損ねる
503	84	ムクドリ対策
504	85	桜川小近くの歩道は、木陰があって散歩に適している
505	86	龍の館の地上サッカー場は、緑のまちづくりになっている
506	87	管理の行き届かない公園が多い
507	88	街路樹の木の枝が目線の位置にあって危険。維持管理を
508	89	ふじ通り、ハクレン通りなど、花と街路樹が同居した美しい街
509	90	牛島古川公園のひまわりや桜並木がよい
510	91	市の木である桐の木を市内で見かけない
511	92	内牧近くの公園で、桜の木がきれいに咲いている
512	93	ムクドリ対策
513	94	巧大塚前の道路に緑が少ない
514	95	森林が少ない
515	96	ふじ通り、ハクレン通り、櫻通りなど、樹木の名を冠した通り名があって親しみやすい
516	97	民家の植木が管理できていないところが多い
517	98	中央第7公園は用途がわからない。
518	99	東中野公園の桜が老木になっている。もっと手入れをしてほしい
519	100	越谷と比べると緑の量は多いと感じる。緑地を活用した災害対策をのぞむ
520	101	私有地の空地で管理がなされていない土地については、所有者へ除草指導をしてほしい
521	102	公園への電源、井戸等、非常用施設を設置してほしい
522	103	公園は多いが管理が行き届いていない
523	104	街路樹、古利根沿いの桜はよいと思う。(管理はしっかりとしてほしい)
524	105	開発により緑は失われているなかで、既存の公園や広場等の緑は保全してほしい
525	106	既存の緑地の維持管理に力を入れてほしい
526	107	長期間楽しめる花があるとよい
527	108	中央町第一公園の代替公園がほしい
528	109	遊歩道周りの維持管理をしっかりとしてほしい
529	110	緑は少なく感じる。
530	111	ふじ通りは春はよいと思う
531	112	5年前よりは緑は増えたと感じる
532	113	河川や水路沿いが緑で覆われているが、悪臭がしており憩いの場とはなっていない
533	114	道路の緑化が足りないと感じる
534	115	内牧公園は暗く、あまり行きたい気分にならない
535	116	庄和総合公園は遊具が少ない。緑を増やすよりも利用させるための工夫を
536	117	内牧公園、庄和総合公園は魅力がない。(破損遊具がそのままになっている)

537	118	藤塚、牛島、緑町周辺の桜並木は、夜の照明のより夜桜が楽しめる(いまは照明がつかない)
538	119	栄町工業団地の川の管理がされていない。桜がきれいだけに残念
539	120	遊歩道は緑を楽しむために良いが、利用マナーが悪く落ち着いて歩けない。
540	121	中川沿いの除草が行き届いていない。
541	122	10年以上住んでいて、緑の量の変化は感じない
542	123	ムクドリが厄介なので、緑の整備により改善できないか
543	124	古岡田公園など、遊歩道として整備されたのに手入れされていない場所がある
544	125	市街地から離れた場所は整備されていない
545	126	植栽を増やしたい考えはあるが害虫のことを考えると躊躇ってしまう。 ハーブなどであれば害虫の心配もないので、苗木の配布等があるとうれしい
546	127	市街地の緑は不足している印象
547	128	5年以上粕壁地区に住んでいるが、緑が不足している印象はない
548	129	遊歩道沿いの桜は本数が少ない
549	130	藤通りのふじが元気がない
550	131	公園には遊具がなくなり、樹木もなくなってきた
551	132	大池親水公園の植栽が寂れており、集客力がない
552	133	春日部市は程よく田舎で、地産地消を実現できる土地である。おしやれにPRLして若い世代を呼び込むべき
553	134	ふじ通りの藤棚が壊れている
554	135	幸松地区在住、近くの公園は雑草だらけで利用者がいない。芝生や花壇があるといい
555	136	ムクドリ対策
556	137	春日部は四季を通りごとに感じる事ができる希少なまち(ゆりのき、はくれん、はなみずき通り)
557	138	ふじ通りの藤が弱っている。樹医など専門家の意見を仰いでいるのか
558	139	子供がボール遊びができるような広い広場がある公園が、春日部にはない
559	140	他都市と比較すると公園内の樹木が多く、結果見通しが悪くなっている
560	141	駅前に花壇があるととてもさみしい
561	142	道路の雑草が多い
562	143	ドッグランが利用できる公園がない
563	144	河川近くの遊歩道、公園がドラマのロケ地となっていた。もっと使ってPRLしてもらいたい
564	145	桜並木の植樹時期を、30年ごと等適切に設定して、孫の代以降もずっと楽しめるようにしてほしい
565	146	粕壁地区では、藤棚がとてもよい。夏場の木陰となって気持ちがいい
566	147	庄和北地区では十分な緑がある。この緑を上手に活用してほしい
567	148	緑がどんどん減っている
568	149	緑がどんどん減っている
569	150	緑が不足しているとは感じない。が管理不足
570	151	古利根川の桜がとてもみごとです
571	152	田んぼが減った
572	153	子供が遊べる場が少ないと思う
573	154	公園遊具の老朽化で遊びにくい印象。大公園だけでも管理を。
574	155	公園には雑草が多いが、日陰を与えてくれる木はない
575	156	豊春地区には広場公園が少ない
576	157	春日部駅東西口共に緑化を推進してほしい
577	158	田んぼが減った
578	159	小規模公園が多数あるので、集約化した方がいい
579	160	中心市街地の緑化を促進してほしい
580	161	河川沿いの桜を大切に育ててほしい
581	162	藤通りなどの街路名と街路樹がリンクしていて素晴らしい
582	163	日頃から緑に親しんでいる人、親しんでいない人には地域差があると思う
583	164	緑中付近の古利根川沿いの桜は元気がない
584	165	市内の緑は管理が行き届いていない感がある
585	166	最近の猛暑で、日陰が重要だと思う。市内には日陰ができるような木が公園にはあまりない。
586	167	遊歩道の管理(除草等)が不十分
587	168	記念樹交換券は面倒
588	169	市全体としては緑は多いほうでは、だが駅前には少ないと感じる
589	170	他県比で歩道の街路樹の本数が少ないと感じる
590	171	ムクドリ対策
591	172	緑はこれ以上増やさなくても、現状のままでよいのでは
592	173	住宅地にもう少し緑がほしいです。
593	174	緑は多いが管理がなされていないので、よい印象がない
594	175	藤通りのふじが元気がない
595	176	街路樹の枯れが目立つ
596	177	20年前は立派な藤だったのが、今は元気がない
597	178	ぼつとしない町と感じる。春日部といえど公園が一つくらいあってもよいかと思う
598	179	手入れされていない緑が多い
599	180	ふじ通りの藤はきれいに手入れされていると感じる
600	181	緑は減ってきていると思う
601	182	古利根川沿いの桜がいい。遊歩道もよい
602	183	出産祝いの記念樹はよい
603	184	昔あった春日部の魅力は失われている。田んぼや四季を感じられる植物などが消えてしまった。 都市部になくて、春日部にはあった魅力だと思う
604	185	豊春地区において、身近な公園には魅力を感じない。子育てしづらく感じる
605	186	全体的に街中に緑は少ない。涼しくなるくらいの量があるとよい
606	187	栄町一丁目付近の川沿いの桜はきれいだ、川べりの整備がされていないことで美観を損なっている
607	188	藤通りのふじが元気がない
608	189	昔に比べ、緑は減っている
609	190	緑が少ないとは思わないが、駅前には寂しいと感じる
610	191	旧倉松公園は暗い。利用しづらい
611	192	緑が多いところと少ないところの差がはげしい
612	193	全体的に天然芝が少ない
613	194	内牧公園の緑は手入れがされていないと感じる
614	195	森林が少ない
615	196	旧4号の緑がさびしい